

令和5年度
「市民による市政評価」
結果報告書

令和5年12月

大仙市 企画部 総合政策課

1 はじめに

| | |
|---------------------|---|
| 1.1 市政評価について | 1 |
| 1.2 調査の種類 | 1 |
| 1.3 調査の手法 | 2 |
| 1.4 調査票 | 2 |
| 1.5 調査期間 | 2 |
| 1.6 集計・分析上の注意事項について | 2 |

2 市民による市政評価

| | |
|------------------------------|----|
| 2.1 調査対象 | 4 |
| 2.2 回収率 | 4 |
| 2.3 回答者の属性 | 5 |
| 2.4 満足度及び重要度 | 8 |
| 2.4.1 満足の度合い | 8 |
| 2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合 | 10 |
| 2.4.3 満足度における属性別比較 | 11 |
| 2.4.4 重要の度合い | 15 |
| 2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合 | 17 |
| 2.4.6 重要度における属性別比較 | 18 |
| 2.4.7 項目別要望度 | 22 |
| 2.4.8 満足度、重要度の総括 | 24 |
| 2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較 | 25 |
| 2.5 さらに推進すべき取組 | 27 |
| 2.5.1 産業分野に関する設問について | 27 |
| 2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について | 30 |

| | | |
|----------|-------------------------------|------------|
| 2.5.3 | 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について | 33 |
| 2.5.4 | 環境安全分野に関する設問について | 36 |
| 2.5.5 | 都市基盤分野に関する設問について | 39 |
| 2.5.6 | 教育・交流分野に関する設問について | 42 |
| 2.5.7 | 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について | 45 |
| 2.5.8 | さらに推進すべき取組の総括 | 48 |
| 2.6 | 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について | 53 |
| 2.6.1 | 市政情報の入手手段に関する設問について | 53 |
| 2.6.2 | 市が行っている行政サービスに関する設問について | 56 |
| 2.7 | あなたが思う大仙市について | 61 |
| 2.7.1 | 市内在住の経緯に関する設問について | 61 |
| 2.7.2 | 「住みやすさ」に関する設問について | 63 |
| 2.8 | 経年比較 | 67 |
| 3 | 市民による個別事業評価 | |
| 3.1 | 個別事業評価 | 81 |
| 3.1.1 | SDGsについて | 81 |
| 3.1.2 | 出会い・結婚について | 99 |
| 4 | 自由意見 | 111 |
| 5 | 資料（調査票） | |

令和5年度「市民による市政評価」調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さまの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、平成18年度から「市民による市政評価」を継続的に実施している。

平成28年度からは、市政評価とあわせて個別の事務事業に関する評価や意見等を伺う「個別事業評価」を実施しており、より市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想の体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- 満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- 重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）
- 今後、さらに推進すべき取組

また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政のデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行った。

(2) 個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、市民のニーズをふまえた施策の推進や事業の見直しを進めるため、次の2つのテーマについて調査した。

| No. | テーマ |
|-----|------------|
| 1 | SDGsについて |
| 2 | 出会い・結婚について |

1.3 調査の手法

調査票を郵送したうえで、郵送かインターネットを選択していただく方式とした。

1.4 調査票

本調査は、次の調査票により実施した。

○令和5年度「市民による市政評価」（「個別事業評価」の2テーマを含む）

※「5 資料（調査票）」参照

1.5 調査期間

令和5年5月12日（金）～6月16日（金）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めめるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、設問により母数となる回答者数「n」は異なる場合がある。
- 属性等とのクロス集計では、属性等が不明な回答を除いているため、属性等の項目ごとに集計した対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しない場合がある。
- 市政評価における満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問の構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者数に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

16歳以上^{*}、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

※今年度から対象年齢を「18歳以上」から「16歳以上」に引き下げ

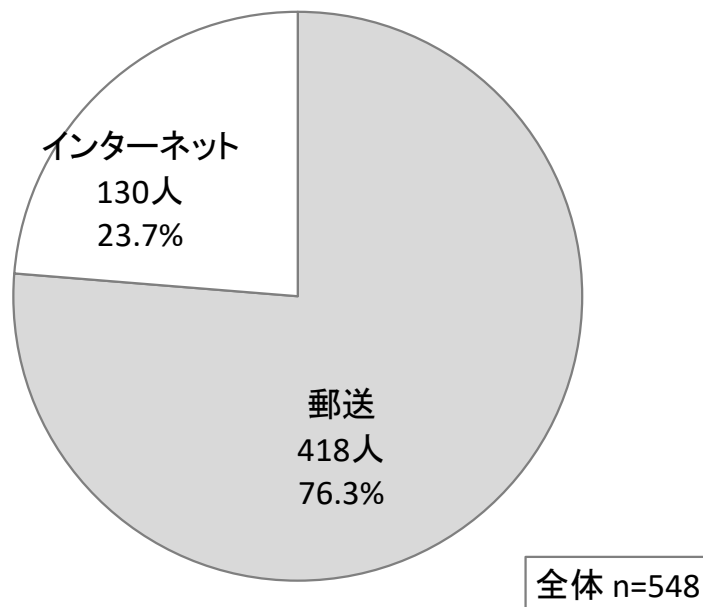
2.2 回収率

送付者数・・・1,000人

回答者数・・・548人

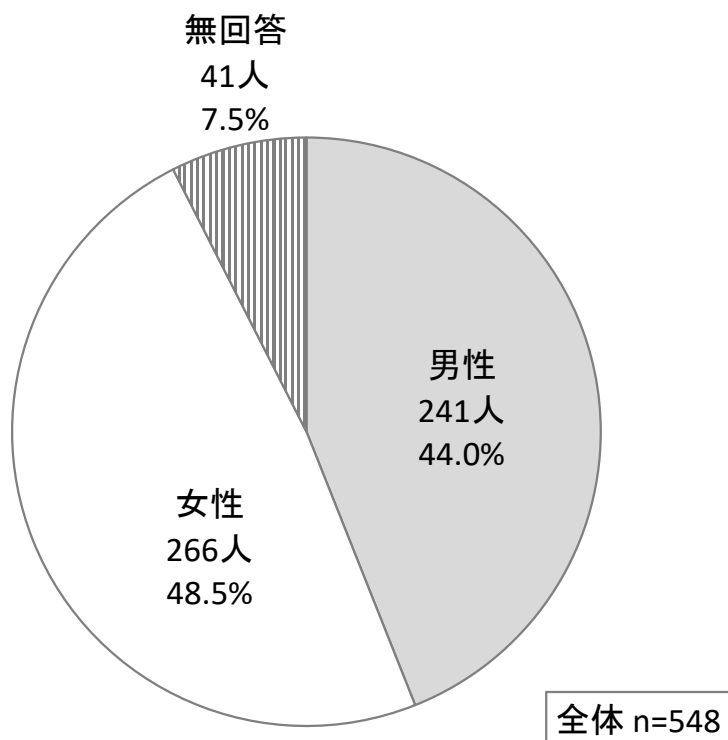
回収率・・・54.8%

図表1 回答方法の内訳

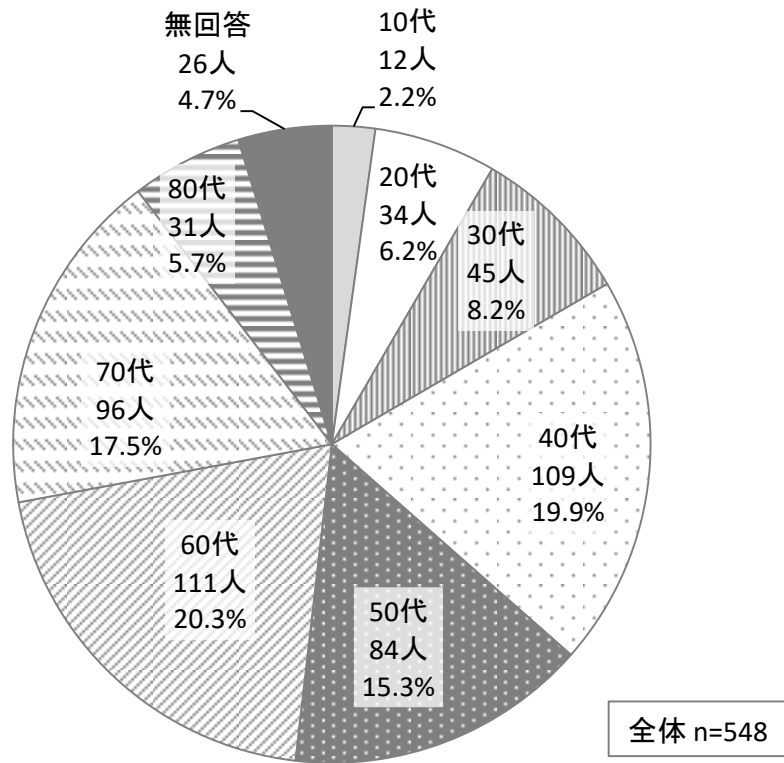


2.3 回答者の属性

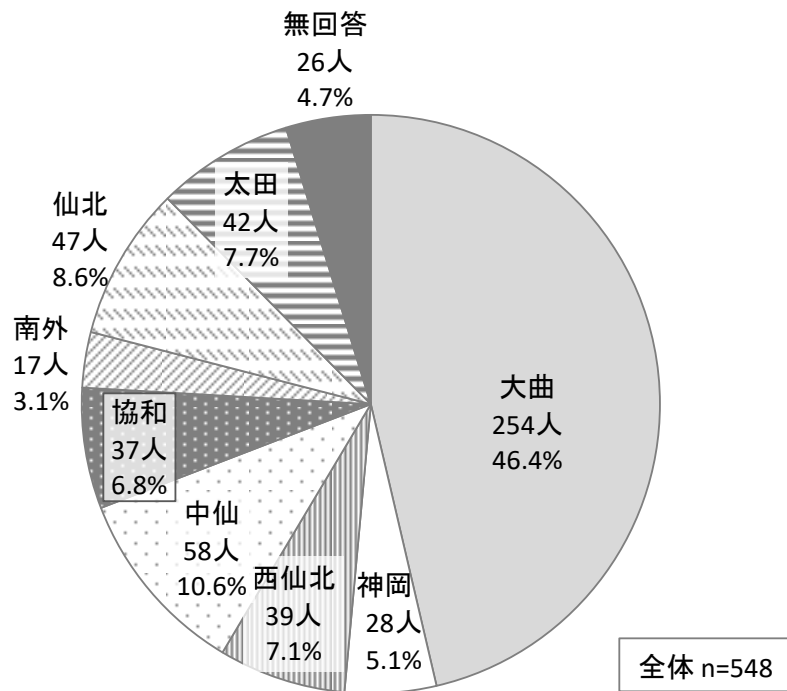
図表 2 回答者の性別の内訳



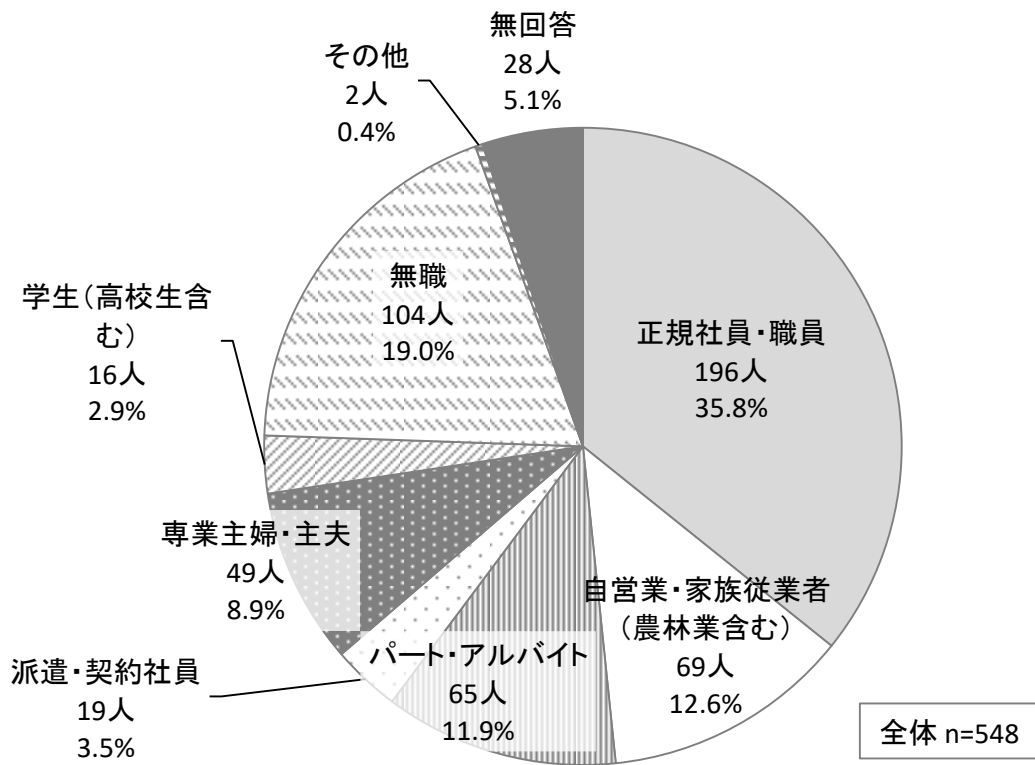
図表3 回答者の年代の内訳



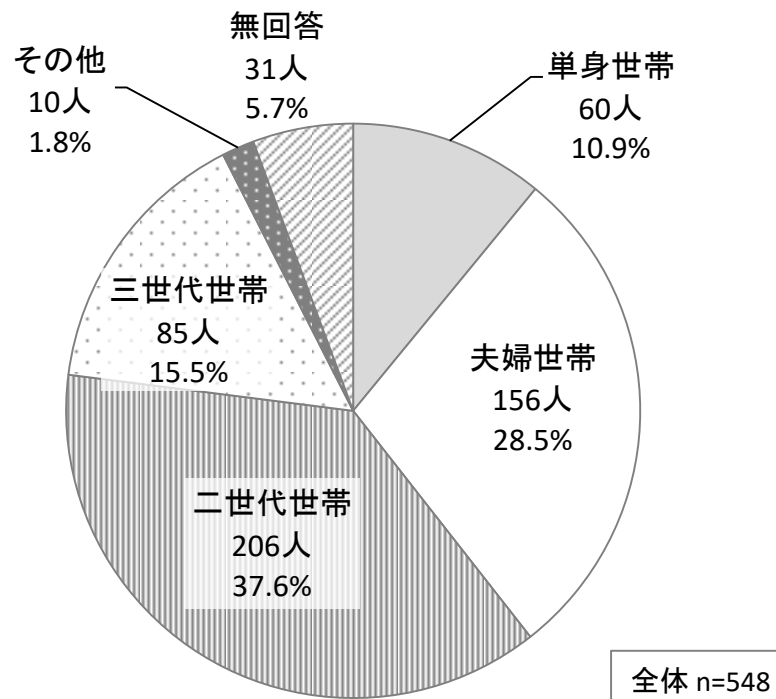
図表4 回答者の居住地の内訳



図表5 回答者の就業状況の内訳



図表6 回答者の世帯構成の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.70（昨年度3.71）、「安全・安心体制」が3.51（昨年度3.46）、「子育て」が3.48（昨年度3.60）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「商工業」が2.77（昨年度2.85）、「雇用・就労」が2.78（昨年度2.84）、「市街地」が2.81（昨年度2.96）の順となっている。

上位項目では、「安全・安心体制」が昨年度6位から2位に上昇しており、昨年度3位の「自然・衛生環境」が同順4位に下降している。下位項目では、「市街地」が昨年度25位から27位に下降しており、昨年度27位の「空き家対策」が26位に上昇している。

昨年度と比較すると、全体的な順位に大きな変動は無いものの、29項目中、22項目で満足度が低下しているほか、変動が無かったのは3項目、上昇したのは4項目となっており、全体的に満足度が低下している。中でも0.05ポイント以上低下した項目は、3.28で同順11位の「花火産業構想」（0.15減）、2.81で27位の「市街地」（0.15減）、3.48で3位の「子育て」（0.12減）、3.29で10位の「社会保障」（0.12減）、3.31で9位の「社会福祉」（0.11減）、3.09で22位の「観光」（0.08減）、2.77で29位の「商工業」（0.08減）、3.17で18位の「住環境」（0.07減）、3.16で19位の「公共交通」（0.07減）、2.78で28位の「雇用・就労」（0.06減）、3.47で同順4位の「自然・衛生環境」（0.05減）、3.07で24位の「移住・定住」（0.05減）の12項目となっている。

一方、0.05ポイント以上上昇した項目は、3.51で2位の「安全・安心体制」（0.05増）のみとなっている。

その他の16項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 7 満足度（点数順）

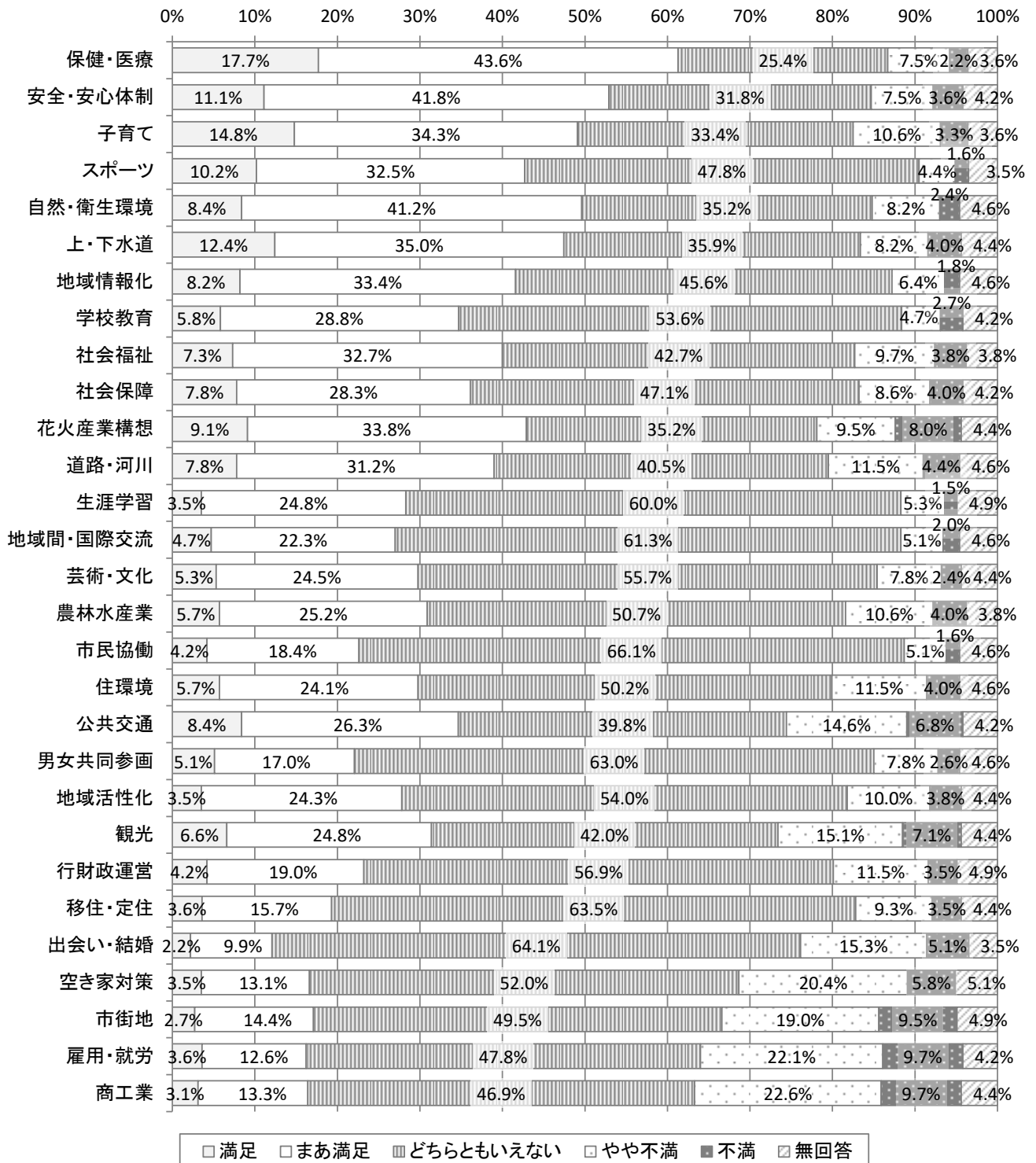
| 順位 | | 項目 | 満足度 ※ | | | |
|----|----|--|-------|------|------|---------------|
| R5 | R4 | | | R5 | R4 | 増減 (R5-R4) |
| 1 | 1 | 【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。 | ← | 3.70 | 3.71 | ▲ 0.01 |
| 2 | 6 | 【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。 | ↔ | 3.51 | 3.46 | 0.05 |
| 3 | 2 | 【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。 | ✓ | 3.48 | 3.60 | ▲ 0.12 |
| 4 | 5 | 【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。 | ← | 3.47 | 3.47 | 0.00 |
| 4 | 3 | 【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。 | ✓ | 3.47 | 3.52 | ▲ 0.05 |
| 6 | 4 | 【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。 | ← | 3.46 | 3.49 | ▲ 0.03 |
| 7 | 7 | 【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。 | ← | 3.42 | 3.45 | ▲ 0.03 |
| 8 | 11 | 【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。 | ← | 3.32 | 3.34 | ▲ 0.02 |
| 9 | 9 | 【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に取り組んでいます。 | ✓ | 3.31 | 3.42 | ▲ 0.11 |
| 10 | 10 | 【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に取り組んでいます。 | ✓ | 3.29 | 3.41 | ▲ 0.12 |
| 11 | 8 | 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。 | ↓ | 3.28 | 3.43 | ▲ 0.15 |
| 11 | 13 | 【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。 | ← | 3.28 | 3.27 | 0.01 |
| 13 | 12 | 【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。 | ← | 3.25 | 3.29 | ▲ 0.04 |
| 14 | 14 | 【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。 | ← | 3.24 | 3.26 | ▲ 0.02 |
| 15 | 15 | 【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。 | ← | 3.23 | 3.24 | ▲ 0.01 |
| 16 | 18 | 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。 | ← | 3.19 | 3.19 | 0.00 |
| 16 | 19 | 【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。 | ← | 3.19 | 3.18 | 0.01 |
| 18 | 15 | 【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。 | ✓ | 3.17 | 3.24 | ▲ 0.07 |
| 19 | 17 | 【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。 | ✓ | 3.16 | 3.23 | ▲ 0.07 |
| 20 | 20 | 【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。 | ← | 3.15 | 3.17 | ▲ 0.02 |
| 21 | 20 | 【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。 | ← | 3.14 | 3.17 | ▲ 0.03 |
| 22 | 20 | 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。 | ✓ | 3.09 | 3.17 | ▲ 0.08 |
| 22 | 24 | 【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。 | ← | 3.09 | 3.08 | 0.01 |
| 24 | 23 | 【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。 | ✓ | 3.07 | 3.12 | ▲ 0.05 |
| 25 | 26 | 【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝い、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。 | ← | 2.88 | 2.92 | ▲ 0.04 |
| 26 | 27 | 【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。 | ← | 2.87 | 2.87 | 0.00 |
| 27 | 25 | 【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。 | ↓ | 2.81 | 2.96 | ▲ 0.15 |
| 28 | 29 | 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。 | ✓ | 2.78 | 2.84 | ▲ 0.06 |
| 29 | 28 | 【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。 | ✓ | 2.77 | 2.85 | ▲ 0.08 |

※満足度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↔ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ✓ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 8 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、上位項目については、男性は「子育て」が上位5項目から外れており（7位）、4位に全体7位の「地域情報化」が挙げられている。女性は全体の上位5項目と同じ項目が挙げられている。下位項目については、順位の入れ替わりはあるが、男女ともに全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」が挙げられており、30代以上では1位となっている。また、10代、20代、50代、70代以上で「自然・衛生環境」、30代から70代で「子育て」、40代以上で「安全・安心体制」が挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「出会い・結婚」「市街地」が挙げられており、20代以上で「商工業」「雇用・就労」、10代と40代以上で「空き家対策」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」「安全・安心体制」が挙げられており、西仙北・南外地域以外で「自然・衛生環境」、神岡・西仙北・太田地域以外で「子育て」が挙げられている。

下位項目については、神岡地域以外で「商工業」、協和地域以外で「市街地」、南外地域以外で「空き家対策」、仙北地域以外で「出会い・結婚」が挙げられており、中仙・太田地域以外で「雇用・就労」が挙げられている。

図表9 性別による満足度

| ■男性 (上位) | | | (下位) | | |
|----------|---------|------|------|--------|------|
| 順位 | 項目 | 満足度 | 順位 | 項目 | 満足度 |
| 1 | 保健・医療 | 3.64 | 25 | 空き家対策 | 2.84 |
| 2 | 安全・安心体制 | 3.52 | 26 | 出会い・結婚 | 2.79 |
| 3 | 自然・衛生環境 | 3.45 | 27 | 市街地 | 2.75 |
| 4 | 地域情報化 | 3.44 | 28 | 雇用・就労 | 2.72 |
| 5 | スポーツ | 3.41 | 29 | 商工業 | 2.69 |

| ■女性 (上位) | | | (下位) | | |
|----------|---------|------|------|--------|------|
| 順位 | 項目 | 満足度 | 順位 | 項目 | 満足度 |
| 1 | 保健・医療 | 3.80 | 25 | 出会い・結婚 | 2.98 |
| 2 | 子育て | 3.63 | 26 | 空き家対策 | 2.90 |
| 3 | スポーツ | 3.56 | 27 | 市街地 | 2.88 |
| 4 | 自然・衛生環境 | 3.53 | 28 | 商工業 | 2.87 |
| 5 | 安全・安心体制 | 3.51 | 29 | 雇用・就労 | 2.83 |

図表 10 年代別による満足度

■10代 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|----------------|------|
| 1 | 花火産業構想 | 4.33 |
| 2 | 農林水産業 | 4.08 |
| 3 | 保健・医療 | 4.00 |
| | 地域情報化 | 4.00 |
| 5 | 自然・衛生環境 住環境 | 3.83 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|-------------|------|
| 25 | 地域活性化 | 3.08 |
| 26 | 空き家対策 | 3.00 |
| 27 | 出会い・結婚 | 2.75 |
| 28 | 公共交通 市街地 | 2.67 |

■20代 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 地域情報化 | 3.84 |
| 2 | スポーツ | 3.81 |
| 3 | 保健・医療 | 3.78 |
| | 自然・衛生環境 | 3.78 |
| 5 | 芸術・文化 | 3.72 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 出会い・結婚 | 3.09 |
| 26 | 住環境 | 3.06 |
| 27 | 市街地 | 3.00 |
| 28 | 商工業 | 2.88 |
| 29 | 雇用・就労 | 2.84 |

■30代 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.61 |
| 2 | 上・下水道 | 3.52 |
| 3 | 子育て | 3.45 |
| 4 | スポーツ | 3.41 |
| | 花火産業構想 | 3.41 |
| | 道路・河川 | 3.41 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 地域活性化 | 2.95 |
| 26 | 出会い・結婚 | 2.93 |
| 27 | 商工業 | 2.86 |
| 28 | 市街地 | 2.79 |
| 29 | 雇用・就労 | 2.61 |

■40代 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.61 |
| 2 | 子育て | 3.48 |
| 3 | 安全・安心体制 | 3.46 |
| 4 | 上・下水道 | 3.44 |
| 5 | 地域情報化 | 3.42 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 出会い・結婚 | 2.80 |
| 26 | 空き家対策 | 2.76 |
| 27 | 市街地 | 2.73 |
| 28 | 商工業 | 2.71 |
| 29 | 雇用・就労 | 2.69 |

■50代 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.58 |
| 2 | 自然・衛生環境 | 3.48 |
| 3 | スポーツ | 3.45 |
| 4 | 子育て | 3.43 |
| 5 | 安全・安心体制 | 3.36 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------------|------|
| 25 | 出会い・結婚 | 2.89 |
| 26 | 空き家対策 | 2.70 |
| 27 | 市街地 | 2.66 |
| 28 | 雇用・就労 商工業 | 2.63 |

■60代 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.62 |
| 2 | 子育て | 3.44 |
| 3 | スポーツ | 3.43 |
| 4 | 安全・安心体制 | 3.39 |
| 5 | 地域情報化 | 3.30 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 出会い・結婚 | 2.81 |
| 26 | 市街地 | 2.75 |
| 27 | 空き家対策 | 2.73 |
| 28 | 雇用・就労 | 2.68 |
| 29 | 商工業 | 2.67 |

■70代 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.89 |
| 2 | 安全・安心体制 | 3.80 |
| 3 | 子育て | 3.66 |
| | 自然・衛生環境 | 3.66 |
| 5 | 上・下水道 | 3.63 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 空き家対策 | 3.08 |
| | 雇用・就労 | 3.08 |
| 27 | 市街地 | 3.00 |
| 28 | 商工業 | 2.94 |
| 29 | 出会い・結婚 | 2.93 |

■80代 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.11 |
| 2 | 上・下水道 | 3.85 |
| 3 | 自然・衛生環境 | 3.82 |
| | 社会福祉 | 3.82 |
| 5 | 安全・安心体制 | 3.81 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 出会い・結婚 | 3.10 |
| 26 | 空き家対策 | 3.04 |
| 27 | 市街地 | 3.00 |
| 28 | 雇用・就労 | 2.93 |
| 29 | 商工業 | 2.78 |

図表 11 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.74 |
| 2 | 子育て | 3.53 |
| 3 | 上・下水道 | 3.48 |
| | 自然・衛生環境 | 3.48 |
| 5 | 地域情報化 | 3.46 |
| | 安全・安心体制 | 3.46 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 空き家対策 | 2.91 |
| 26 | 出会い・結婚 | 2.90 |
| 27 | 市街地 | 2.80 |
| 28 | 商工業 | 2.73 |
| 29 | 雇用・就労 | 2.72 |

■神岡地域 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 上・下水道 | 3.65 |
| 2 | 自然・衛生環境 | 3.62 |
| | スポーツ | 3.62 |
| 4 | 安全・安心体制 | 3.58 |
| 5 | 保健・医療 | 3.56 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 市街地 | 2.77 |
| 26 | 空き家対策 | 2.73 |
| | 出会い・結婚 | 2.73 |
| 28 | 移住・定住 | 2.62 |
| 29 | 雇用・就労 | 2.56 |

■西仙北地域 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|----------|------|
| 1 | スポーツ | 3.78 |
| 2 | 保健・医療 | 3.69 |
| 3 | 上・下水道 | 3.58 |
| 4 | 地域間・国際交流 | 3.56 |
| 5 | 安全・安心体制 | 3.54 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 雇用・就労 | 2.92 |
| 26 | 出会い・結婚 | 2.91 |
| 27 | 商工業 | 2.83 |
| 28 | 空き家対策 | 2.71 |
| 29 | 市街地 | 2.64 |

■中仙地域 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.73 |
| 2 | 子育て | 3.55 |
| 3 | 安全・安心体制 | 3.54 |
| 4 | 自然・衛生環境 | 3.44 |
| 5 | 社会福祉 | 3.41 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 男女共同参画 | 2.98 |
| 26 | 市街地 | 2.96 |
| 27 | 空き家対策 | 2.85 |
| 28 | 出会い・結婚 | 2.78 |
| | 商工業 | 2.78 |

■協和地域 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.79 |
| 2 | 上・下水道 | 3.77 |
| 3 | 安全・安心体制 | 3.71 |
| 4 | 自然・衛生環境 | 3.69 |
| 5 | 子育て 花火産業構想 | 3.65 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 25 | 雇用・就労 | 2.94 |
| 26 | 公共交通 | 2.91 |
| 27 | 出会い・結婚 | 2.89 |
| 28 | 商工業 | 2.85 |
| 29 | 空き家対策 | 2.79 |

■南外地域 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.40 |
| 2 | スポーツ | 3.33 |
| 3 | 安全・安心体制 | 3.27 |
| | 子育て | 3.27 |
| | 社会保障 | 3.27 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 24 | 地域活性化 | 2.87 |
| | 移住・定住 | 2.87 |
| | 市街地 | 2.87 |
| 27 | 雇用・就労 | 2.80 |
| 28 | 出会い・結婚 | 2.73 |
| 29 | 商工業 | 2.60 |

■仙北地域 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | スポーツ | 3.63 |
| 2 | 保健・医療 | 3.59 |
| | 安全・安心体制 | 3.59 |
| 4 | 自然・衛生環境 | 3.57 |
| 5 | 子育て | 3.39 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|-------|------|
| 25 | 空き家対策 | 2.89 |
| | 観光 | 2.89 |
| 27 | 商工業 | 2.78 |
| 28 | 市街地 | 2.67 |
| 29 | 雇用・就労 | 2.48 |

■太田地域 (上位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 3.69 |
| 2 | 道路・河川 | 3.57 |
| 3 | 安全・安心体制 | 3.55 |
| | 自然・衛生環境 | 3.55 |
| 5 | 地域情報化 | 3.45 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 満足度 |
|----|--------|------|
| 24 | 社会保障 | 3.00 |
| | 移住・定住 | 3.00 |
| | 出会い・結婚 | 3.00 |
| 27 | 商工業 | 2.98 |
| 28 | 空き家対策 | 2.90 |
| 29 | 市街地 | 2.80 |

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が4.49（昨年度4.39）、「子育て」が4.42（昨年度4.36）、「雇用・就労」が4.41（昨年度4.34）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.35（昨年度3.38）、「スポーツ」が3.47（昨年度3.43）、「芸術・文化」が3.54（昨年度3.57）の順となっている。

上位項目、下位項目のどちらも順位、項目は昨年度と同様となっている。

昨年度と比較すると、満足度同様、全体的な順位に大きな変動は無いものの、29項目中、22項目で重要度が上昇しているほか、変動が無かったのは1項目、低下したのは6項目となっており、全体的に重要度が上昇している。中でも0.05ポイント以上上昇した項目は、4.08で13位の「公共交通」（0.12増）、4.49で1位の「保健・医療」（0.10増）、4.15で11位の「自然・衛生環境」（0.09増）、4.41で3位の「雇用・就労」（0.07増）、4.19で10位の「上・下水道」（0.07増）、3.85で19位の「市街地」（0.07増）、4.42で2位の「子育て」（0.06増）、4.29で6位の「社会保障」（0.06増）、4.23で同順7位の「商工業」（0.05増）、4.00で14位の「空き家対策」（0.05増）、3.91で15位の「出会い・結婚」（0.05増）、3.87で18位の「移住・定住」（0.05増）の12項目となっている。

一方、0.05ポイント以上低下した項目は、3.81で20位の「行財政運営」（0.14減）のみとなっている。

その他の16項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 12 重要度（点数順）

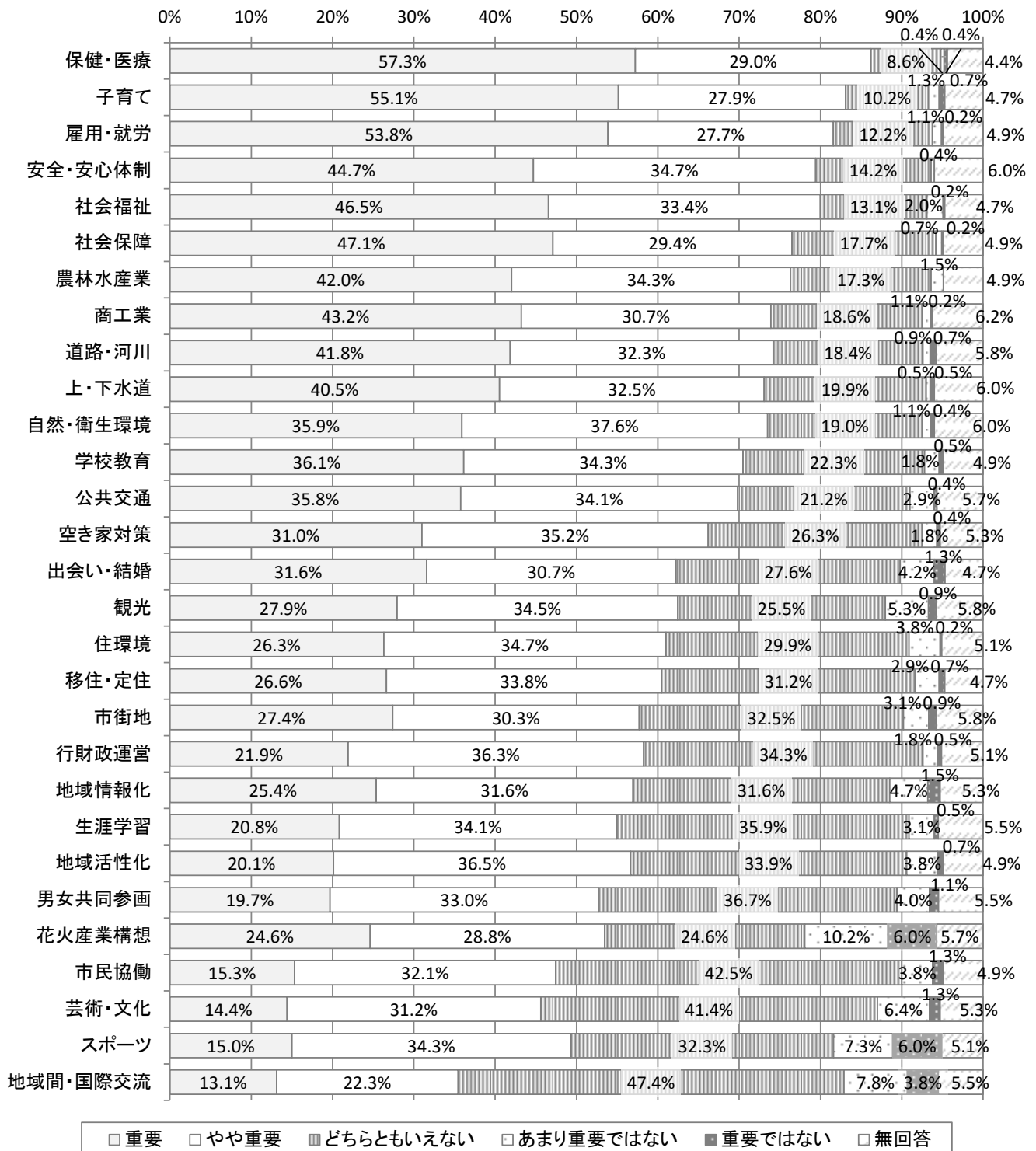
| 順位 | | 項目 | 重要度 ※ | | | |
|----|----|--|-------|------|---------|-------|
| R5 | R4 | | R5 | R4 | 増減 | |
| | | | | | (R5-R4) | |
| 1 | 1 | 【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。 | ↖ | 4.49 | 4.39 | 0.10 |
| 2 | 2 | 【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。 | ↖ | 4.42 | 4.36 | 0.06 |
| 3 | 3 | 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。 | ↖ | 4.41 | 4.34 | 0.07 |
| 4 | 5 | 【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。 | ← | 4.31 | 4.30 | 0.01 |
| 5 | 4 | 【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。 | ← | 4.30 | 4.31 | ▲0.01 |
| 6 | 6 | 【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。 | ↖ | 4.29 | 4.23 | 0.06 |
| 7 | 7 | 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。 | ← | 4.23 | 4.19 | 0.04 |
| 7 | 8 | 【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。 | ↖ | 4.23 | 4.18 | 0.05 |
| 9 | 8 | 【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。 | ← | 4.21 | 4.18 | 0.03 |
| 10 | 10 | 【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。 | ↖ | 4.19 | 4.12 | 0.07 |
| 11 | 12 | 【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。 | ↖ | 4.15 | 4.06 | 0.09 |
| 12 | 11 | 【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。 | ← | 4.09 | 4.09 | 0.00 |
| 13 | 13 | 【公共交通】 地域の実情に合わせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。 | ↖ | 4.08 | 3.96 | 0.12 |
| 14 | 14 | 【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。 | ↖ | 4.00 | 3.95 | 0.05 |
| 15 | 16 | 【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。 | ↖ | 3.91 | 3.86 | 0.05 |
| 16 | 17 | 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。 | ← | 3.88 | 3.85 | 0.03 |
| 16 | 17 | 【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。 | ← | 3.88 | 3.85 | 0.03 |
| 18 | 19 | 【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。 | ↖ | 3.87 | 3.82 | 0.05 |
| 19 | 20 | 【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。 | ↖ | 3.85 | 3.78 | 0.07 |
| 20 | 14 | 【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。 | ↘ | 3.81 | 3.95 | ▲0.14 |
| 21 | 22 | 【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。 | ← | 3.79 | 3.75 | 0.04 |
| 22 | 21 | 【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。 | ← | 3.76 | 3.77 | ▲0.01 |
| 23 | 23 | 【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。 | ← | 3.75 | 3.73 | 0.02 |
| 24 | 24 | 【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。 | ← | 3.70 | 3.69 | 0.01 |
| 25 | 26 | 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。 | ← | 3.59 | 3.58 | 0.01 |
| 25 | 25 | 【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。 | ← | 3.59 | 3.60 | ▲0.01 |
| 27 | 27 | 【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。 | ← | 3.54 | 3.57 | ▲0.03 |
| 28 | 28 | 【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。 | ← | 3.47 | 3.43 | 0.04 |
| 29 | 29 | 【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。 | ← | 3.35 | 3.38 | ▲0.03 |

※重要度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↖ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↘ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 13 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、多少の差異はあるものの、男女で概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性は全体の上位5項目に挙げられている項目と同じだが、男性では4位に全体で同順7位の「商工業」、同順5位に全体で6位の「社会保障」と全体で同順7位の「農林水産業」が挙げられている。

下位項目については、男性は全体の下位5項目に挙げられている項目と同じだが、女性では25位に全体で24位の「男女共同参画」が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」、80代以外で「子育て」、10代と70代以上を除く年代で「雇用・就労」が挙げられており、「保健・医療」は10代から30代と60代以上で、「雇用・就労」は40代と50代で1位となっている。また、40代、50代、70代以上で「社会保障」が挙げられており、全体5位の「社会福祉」は50代と70代で上位となっている。

下位項目については、全ての年代で「地域間・国際交流」、20代以外で「芸術・文化」、20代から70代で「スポーツ」、10代から50代と70代で「市民協働」が挙げられている。そのほか、20代、40代、60代、80代では「花火産業構想」が挙げられており、10代と30代で「地域情報化」、10代と20代で「出会い・結婚」、10代と50代で「男女共同参画」、60代と80代で「市街地」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」「子育て」が挙げられており、「保健・医療」は南外・仙北地域以外で1位となっている。また、協和地域以外では「雇用・就労」が挙げられており、南外・仙北地域で1位となっている。そのほか、大曲・西仙北・協和・南外・太田地域で「社会福祉」、大曲・中仙・仙北・太田地域で「社会保障」、神岡・協和・仙北・太田地域で「農林水産業」、大曲・神岡・太田地域で「安全・安心体制」がそれぞれ挙げられている。

下位項目については、南外地域以外で「地域間・国際交流」「スポーツ」「芸術・文化」が挙げられている。また、神岡・南外地域以外で「市民協働」、西仙北・協和地域以外で「花火産業構想」が挙げられている。そのほか、協和・南外地域で「市街地」「地域情報化」「男女共同参画」が挙げられている。

図表 14 性別による重要度

| ■男性 (上位) | | | (下位) | | |
|----------|---------|------|------|----------|------|
| 順位 | 項目 | 重要度 | 順位 | 項目 | 重要度 |
| 1 | 子育て | 4.47 | 25 | 芸術・文化 | 3.49 |
| 2 | 雇用・就労 | 4.45 | 26 | 市民協働 | 3.48 |
| 3 | 保健・医療 | 4.42 | 27 | 花火産業構想 | 3.44 |
| 4 | 商工業 | 4.33 | 28 | スポーツ | 3.40 |
| 5 | 安全・安心体制 | 4.28 | 29 | 地域間・国際交流 | 3.32 |
| | 社会保障 | 4.28 | | | |
| | 農林水産業 | 4.28 | | | |
| | 社会福祉 | 4.28 | | | |

| ■女性 (上位) | | | (下位) | | |
|----------|---------|------|------|----------|------|
| 順位 | 項目 | 重要度 | 順位 | 項目 | 重要度 |
| 1 | 保健・医療 | 4.60 | 25 | 男女共同参画 | 3.72 |
| 2 | 子育て | 4.44 | 26 | 市民協働 | 3.69 |
| 3 | 雇用・就労 | 4.40 | 27 | 芸術・文化 | 3.61 |
| 4 | 安全・安心体制 | 4.35 | 28 | スポーツ | 3.58 |
| | 社会福祉 | 4.35 | 29 | 地域間・国際交流 | 3.39 |

図表 15 年代による重要度

| ■10代 (上位) | | | (下位) | | |
|-----------|---------|------|------|----------|------|
| 順位 | 項目 | 重要度 | 順位 | 項目 | 重要度 |
| 1 | 保健・医療 | 4.83 | 24 | 地域情報化 | 4.17 |
| | 子育て | 4.83 | | 出会い・結婚 | 4.17 |
| | 公共交通 | 4.83 | | 地域間・国際交流 | 4.17 |
| 4 | 安全・安心体制 | 4.75 | 27 | 男女共同参画 | 4.08 |
| | 上・下水道 | 4.75 | | 市民協働 | 4.08 |
| | 自然・衛生環境 | 4.75 | 29 | 芸術・文化 | 3.75 |
| | 観光 | 4.75 | | | |

| ■20代 (上位) | | | (下位) | | |
|-----------|---------|------|------|----------|------|
| 順位 | 項目 | 重要度 | 順位 | 項目 | 重要度 |
| 1 | 保健・医療 | 4.65 | 25 | 市民協働 | 3.87 |
| 2 | 子育て | 4.61 | 26 | 花火産業構想 | 3.74 |
| 3 | 雇用・就労 | 4.55 | 27 | 出会い・結婚 | 3.61 |
| 4 | 安全・安心体制 | 4.48 | 28 | 地域間・国際交流 | 3.42 |
| | 道路・河川 | 4.48 | 29 | スポーツ | 3.26 |

| ■30代 (上位) | | | (下位) | | |
|-----------|---------|------|------|----------|------|
| 順位 | 項目 | 重要度 | 順位 | 項目 | 重要度 |
| 1 | 保健・医療 | 4.48 | 25 | 地域情報化 | 3.64 |
| 2 | 子育て | 4.47 | 26 | 市民協働 | 3.61 |
| 3 | 雇用・就労 | 4.36 | 27 | スポーツ | 3.35 |
| 4 | 安全・安心体制 | 4.33 | 28 | 芸術・文化 | 3.34 |
| 5 | 上・下水道 | 4.25 | | 地域間・国際交流 | 3.34 |

■40代 (上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|-------|------|
| 1 | 雇用・就労 | 4.51 |
| 2 | 子育て | 4.49 |
| 3 | 保健・医療 | 4.41 |
| 4 | 社会保障 | 4.36 |
| 5 | 農林水産業 | 4.28 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 芸術・文化 | 3.56 |
| 26 | 市民協働 | 3.53 |
| 27 | 花火産業構想 | 3.44 |
| 28 | スポーツ | 3.40 |
| 29 | 地域間・国際交流 | 3.21 |

■50代 (上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|-------|------|
| 1 | 雇用・就労 | 4.56 |
| 2 | 保健・医療 | 4.52 |
| 3 | 社会福祉 | 4.48 |
| 4 | 子育て | 4.39 |
| 5 | 社会保障 | 4.34 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 男女共同参画 | 3.64 |
| 26 | 芸術・文化 | 3.59 |
| 27 | スポーツ | 3.53 |
| 28 | 市民協働 | 3.52 |
| 29 | 地域間・国際交流 | 3.25 |

■60代 (上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.39 |
| 2 | 子育て | 4.35 |
| 3 | 雇用・就労 | 4.32 |
| 4 | 安全・安心体制 | 4.25 |
| | 商工業 | 4.25 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 市街地 | 3.51 |
| 26 | 芸術・文化 | 3.43 |
| 27 | 花火産業構想 | 3.37 |
| 28 | スポーツ | 3.33 |
| 29 | 地域間・国際交流 | 3.22 |

■70代 (上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|-------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.52 |
| 2 | 子育て | 4.42 |
| 3 | 農林水産業 | 4.41 |
| 4 | 社会福祉 | 4.40 |
| 5 | 社会保障 | 4.31 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | スポーツ | 3.64 |
| 26 | 生涯学習 | 3.61 |
| 27 | 芸術・文化 | 3.57 |
| 28 | 地域間・国際交流 | 3.55 |
| 29 | 市民協働 | 3.51 |

■80代 (上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.69 |
| 2 | 安全・安心体制 | 4.54 |
| 3 | 公共交通 | 4.48 |
| 4 | 社会保障 | 4.38 |
| 5 | 自然・衛生環境 | 4.36 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 地域間・国際交流 | 3.67 |
| 26 | 市街地 | 3.65 |
| 27 | 観光 | 3.62 |
| 28 | 芸術・文化 | 3.54 |
| 29 | 花火産業構想 | 3.33 |

図表 16 地域による重要度

■大曲地域

(上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.52 |
| 2 | 子育て | 4.48 |
| 3 | 雇用・就労 | 4.44 |
| 4 | 安全・安心体制 | 4.38 |
| 5 | 社会保障 | 4.30 |
| | 社会福祉 | 4.30 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 花火産業構想 | 3.72 |
| 26 | 市民協働 | 3.59 |
| | 芸術・文化 | 3.59 |
| 28 | スポーツ | 3.47 |
| 29 | 地域間・国際交流 | 3.24 |

■神岡地域

(上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.46 |
| | 雇用・就労 | 4.46 |
| | 安全・安心体制 | 4.46 |
| 4 | 子育て | 4.42 |
| | 農林水産業 | 4.42 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 生涯学習 | 3.58 |
| 26 | 地域間・国際交流 | 3.54 |
| 27 | 芸術・文化 | 3.38 |
| 28 | スポーツ | 3.35 |
| 29 | 花火産業構想 | 3.32 |

■西仙北地域

(上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|-------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.57 |
| 2 | 雇用・就労 | 4.50 |
| 3 | 子育て | 4.49 |
| | 社会福祉 | 4.49 |
| 5 | 商工業 | 4.41 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 市民協働 | 3.81 |
| 26 | 地域活性化 | 3.78 |
| 27 | スポーツ | 3.74 |
| 28 | 芸術・文化 | 3.69 |
| 29 | 地域間・国際交流 | 3.54 |

■中仙地域

(上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|-------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.48 |
| 2 | 道路・河川 | 4.43 |
| 3 | 雇用・就労 | 4.40 |
| 4 | 子育て | 4.31 |
| 5 | 社会保障 | 4.30 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 市民協働 | 3.53 |
| 26 | 芸術・文化 | 3.49 |
| 27 | 地域間・国際交流 | 3.38 |
| 28 | スポーツ | 3.37 |
| 29 | 花火産業構想 | 3.25 |

■協和地域

(上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|-------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.33 |
| | 子育て | 4.33 |
| 3 | 社会福祉 | 4.25 |
| 4 | 商工業 | 4.24 |
| | 農林水産業 | 4.24 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 23 | 市街地 | 3.70 |
| | 芸術・文化 | 3.70 |
| | スポーツ | 3.70 |
| 26 | 地域情報化 | 3.66 |
| 27 | 男女共同参画 | 3.64 |
| 28 | 市民協働 | 3.61 |
| 29 | 地域間・国際交流 | 3.55 |

■南外地域

(上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|-------|------|
| 1 | 雇用・就労 | 4.50 |
| 2 | 保健・医療 | 4.40 |
| 3 | 子育て | 4.27 |
| | 社会福祉 | 4.27 |
| 5 | 上・下水道 | 4.20 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|--------|------|
| 25 | 空き家対策 | 3.50 |
| | 花火産業構想 | 3.50 |
| 27 | 地域情報化 | 3.33 |
| 28 | 市街地 | 3.27 |
| 29 | 男女共同参画 | 3.00 |

■仙北地域

(上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|-------|------|
| 1 | 雇用・就労 | 4.50 |
| | 子育て | 4.50 |
| 3 | 保健・医療 | 4.43 |
| 4 | 社会保障 | 4.31 |
| 5 | 農林水産業 | 4.30 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 芸術・文化 | 3.59 |
| 26 | 市民協働 | 3.57 |
| 27 | 花火産業構想 | 3.51 |
| 28 | スポーツ | 3.42 |
| 29 | 地域間・国際交流 | 3.30 |

■太田地域

(上位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|---------|------|
| 1 | 保健・医療 | 4.52 |
| 2 | 社会福祉 | 4.40 |
| 3 | 安全・安心体制 | 4.32 |
| 4 | 子育て | 4.29 |
| 5 | 雇用・就労 | 4.21 |
| | 社会保障 | 4.21 |
| | 農林水産業 | 4.21 |

(下位)

| 順位 | 項目 | 重要度 |
|----|----------|------|
| 25 | 市民協働 | 3.54 |
| 26 | 地域間・国際交流 | 3.50 |
| 27 | スポーツ | 3.34 |
| 28 | 花火産業構想 | 3.33 |
| 29 | 芸術・文化 | 3.24 |

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.63（昨年度1.50）、「商工業」が1.46（昨年度1.33）、「空き家対策」が1.13（昨年度1.08）の順となっており、上位4項目までは昨年度と同じ順位となっている。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が0.00（昨年度-0.04）、「地域間・国際交流」が0.11（昨年度0.12）、「芸術・文化」（昨年度0.33）と「花火産業構想」（昨年度0.15）が0.31の順となっており、下位2項目は昨年度と同じ順位、昨年度25位の「芸術・文化」と昨年度27位の「花火産業構想」が同順26位に、昨年度26位の地域情報化が25位に上昇している。

昨年度と比較すると、満足度が全体的に低下し、重要度が全体的に上昇したため、要望度は全体的に上昇している。

要望度が0.15ポイント以上上昇した項目は、1.04で5位の「市街地」（昨年度から0.22ポイント増）、0.92で11位の「公共交通」（昨年度から0.19ポイント増）、1.00で7位の「社会保障」（昨年度から0.18ポイント増）、0.94で9位の「子育て」（昨年度から0.18ポイント増）、0.31で26位の「花火産業構想」（昨年度から0.16ポイント増）となっている。一方、0.15ポイント以上低下した項目は、0.72で18位の「行財政運営」となっており、昨年度の8位から大きく順位を下げている。

図表 17 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

| 順位 | | 項目 | 要望度 ※ | | | |
|----|----|--|-------|------|---------------|-------|
| R5 | R4 | | R5 | R4 | 増減 (R5-R4) | |
| 1 | 1 | 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。 | ↖ | 1.63 | 1.50 | 0.13 |
| 2 | 2 | 【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。 | ↖ | 1.46 | 1.33 | 0.13 |
| 3 | 3 | 【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。 | ↖ | 1.13 | 1.08 | 0.05 |
| 4 | 4 | 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。 | ← | 1.04 | 1.00 | 0.04 |
| 4 | 10 | 【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。 | ↑ | 1.04 | 0.82 | 0.22 |
| 6 | 5 | 【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。 | ↖ | 1.03 | 0.94 | 0.09 |
| 7 | 10 | 【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。 | ↑ | 1.00 | 0.82 | 0.18 |
| 8 | 7 | 【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。 | ↖ | 0.99 | 0.89 | 0.10 |
| 9 | 12 | 【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。 | ↑ | 0.94 | 0.76 | 0.18 |
| 10 | 6 | 【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。 | ← | 0.93 | 0.91 | 0.02 |
| 11 | 14 | 【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。 | ↑ | 0.92 | 0.73 | 0.19 |
| 12 | 15 | 【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。 | ↖ | 0.80 | 0.70 | 0.10 |
| 12 | 9 | 【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。 | ← | 0.80 | 0.84 | ▲0.04 |
| 14 | 16 | 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。 | ↖ | 0.79 | 0.68 | 0.11 |
| 14 | 16 | 【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。 | ↖ | 0.79 | 0.68 | 0.11 |
| 16 | 13 | 【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。 | ← | 0.77 | 0.75 | 0.02 |
| 17 | 18 | 【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。 | ↖ | 0.73 | 0.63 | 0.10 |
| 18 | 8 | 【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。 | ↓ | 0.72 | 0.87 | ▲0.15 |
| 19 | 19 | 【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。 | ↖ | 0.71 | 0.61 | 0.10 |
| 20 | 21 | 【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。 | ↖ | 0.68 | 0.54 | 0.14 |
| 21 | 20 | 【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。 | ↖ | 0.61 | 0.56 | 0.05 |
| 22 | 22 | 【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。 | ← | 0.55 | 0.52 | 0.03 |
| 23 | 23 | 【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。 | ← | 0.51 | 0.48 | 0.03 |
| 24 | 24 | 【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。 | ← | 0.40 | 0.42 | ▲0.02 |
| 25 | 26 | 【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。 | ↖ | 0.37 | 0.30 | 0.07 |
| 26 | 27 | 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。 | ↑ | 0.31 | 0.15 | 0.16 |
| 26 | 25 | 【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。 | ← | 0.31 | 0.33 | ▲0.02 |
| 28 | 28 | 【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。 | ← | 0.11 | 0.12 | ▲0.01 |
| 29 | 29 | 【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。 | ← | 0.00 | -0.04 | 0.04 |

※要望度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↖ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↙ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

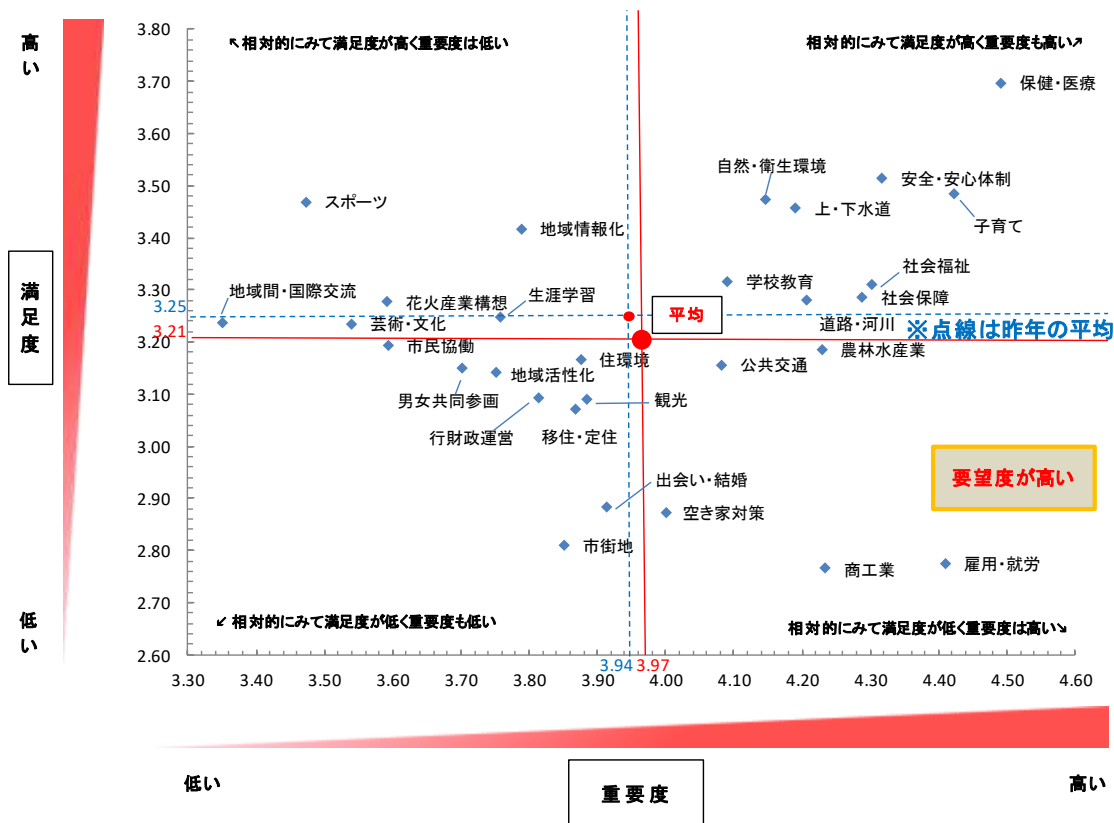
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 18 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目であり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望度が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望度が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 18 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

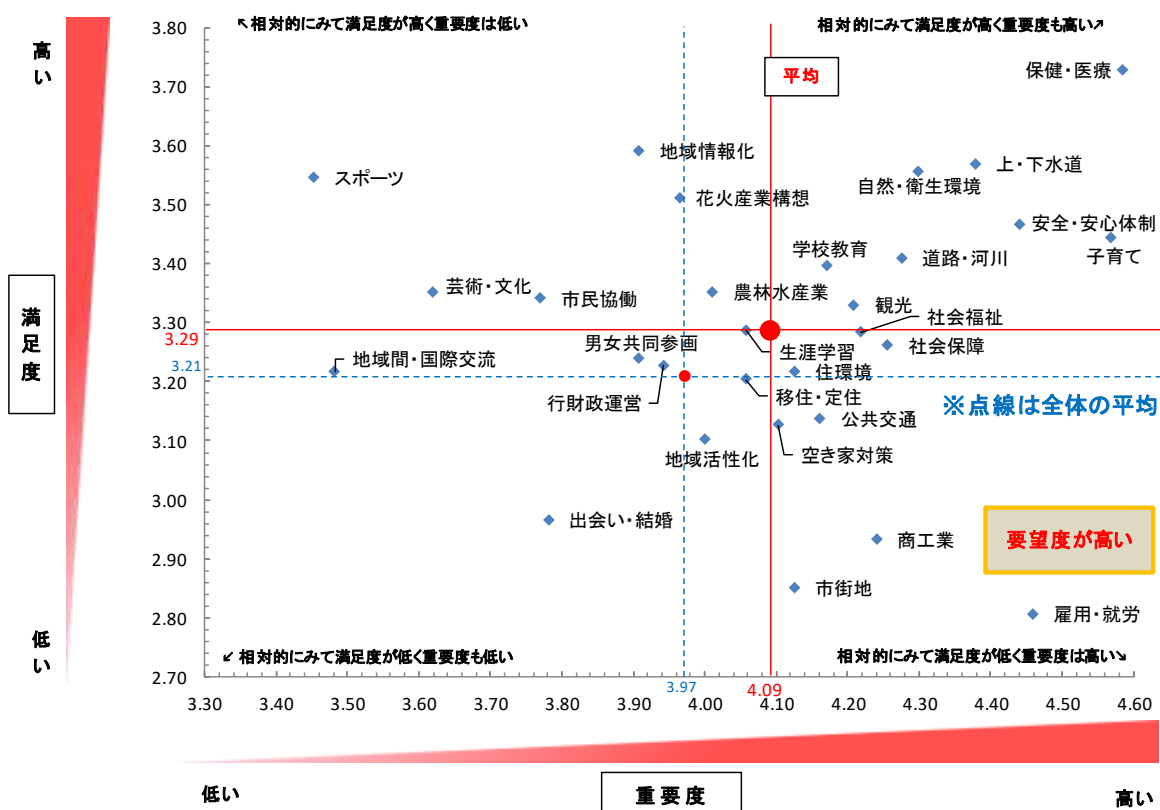
18歳から39歳まで(図表19)、40歳から64歳まで(図表20)、65歳以上(図表21)の3つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

18歳から39歳までの年齢層では、全般的に重要度が高くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」「市街地」となっている。満足度、重要度ともに「保健・医療」が最も高くなっており、また、他の年齢層では満足度は「商工業」、重要度は「地域間・国際交流」が最も低くなっているのに対し、満足度は「雇用・就労」、重要度は「スポーツ」が最も低くなっている。

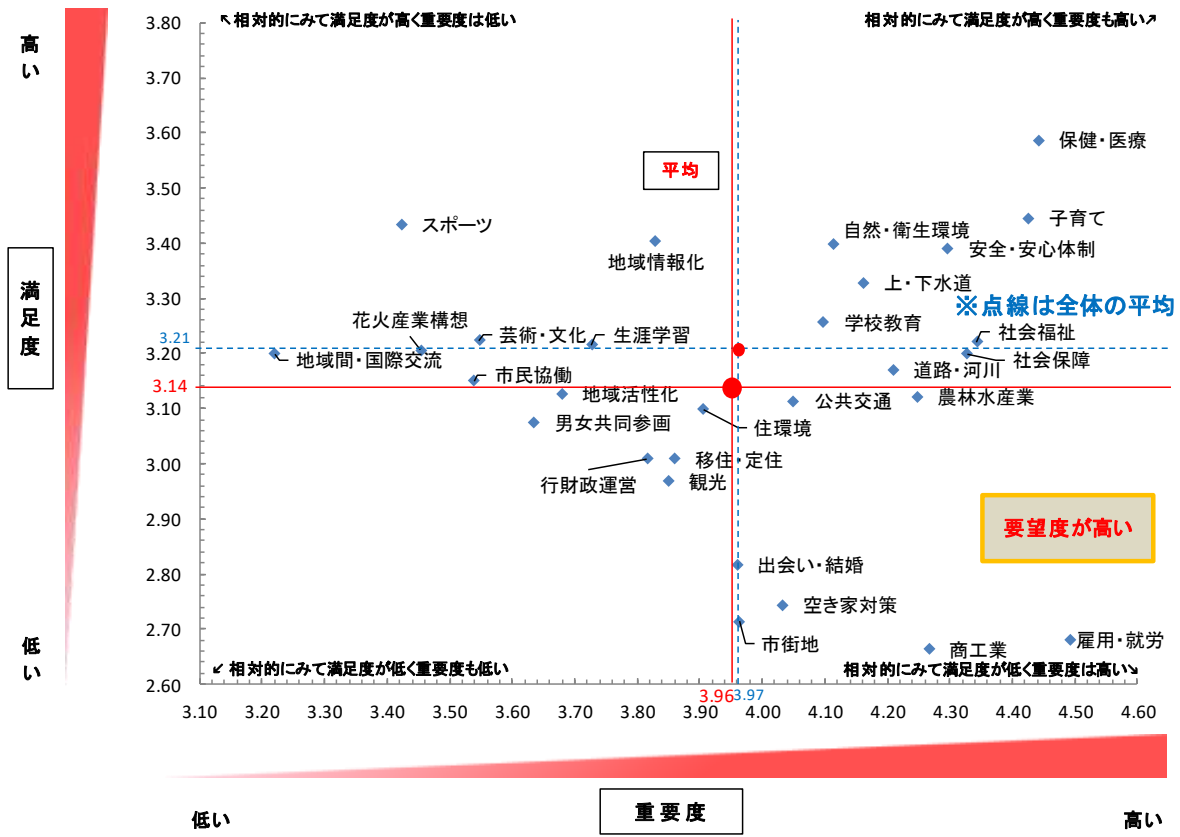
40歳から64歳までの年齢層では、全般的に満足度が低くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」「空き家対策」「市街地」となっている。重要度は他の年齢層では「保健・医療」が最も高くなっているのに対し、「雇用・就労」が最も高くなっている。

65歳以上の年齢層では、全般的に重要度が低くなっており、相対的に要望度が高い項目は、他の年齢層同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

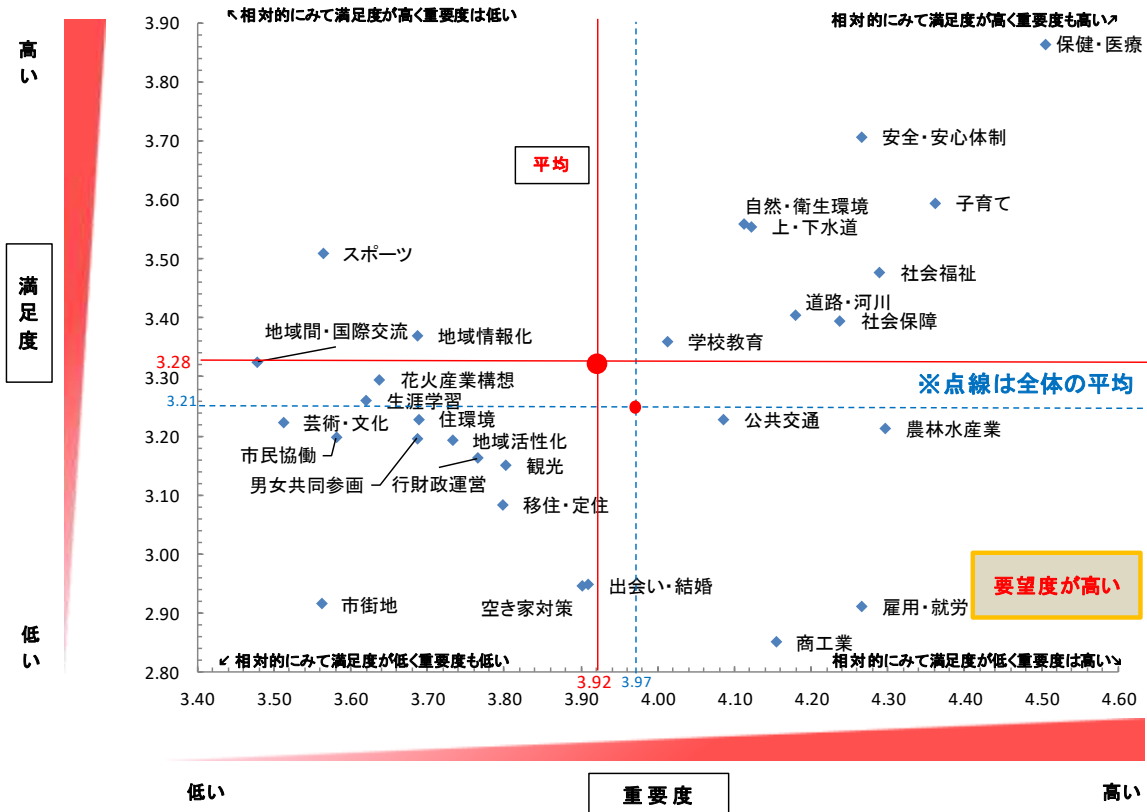
図表19 満足度・重要度の項目別比較(18歳から39歳)



図表 20 満足度・重要度の項目別比較（40歳から64歳）



図表 21 満足度・重要度の項目別比較（65歳以上）



2.5 さらに推進すべき取組

2.5.1 産業分野に関する設問について

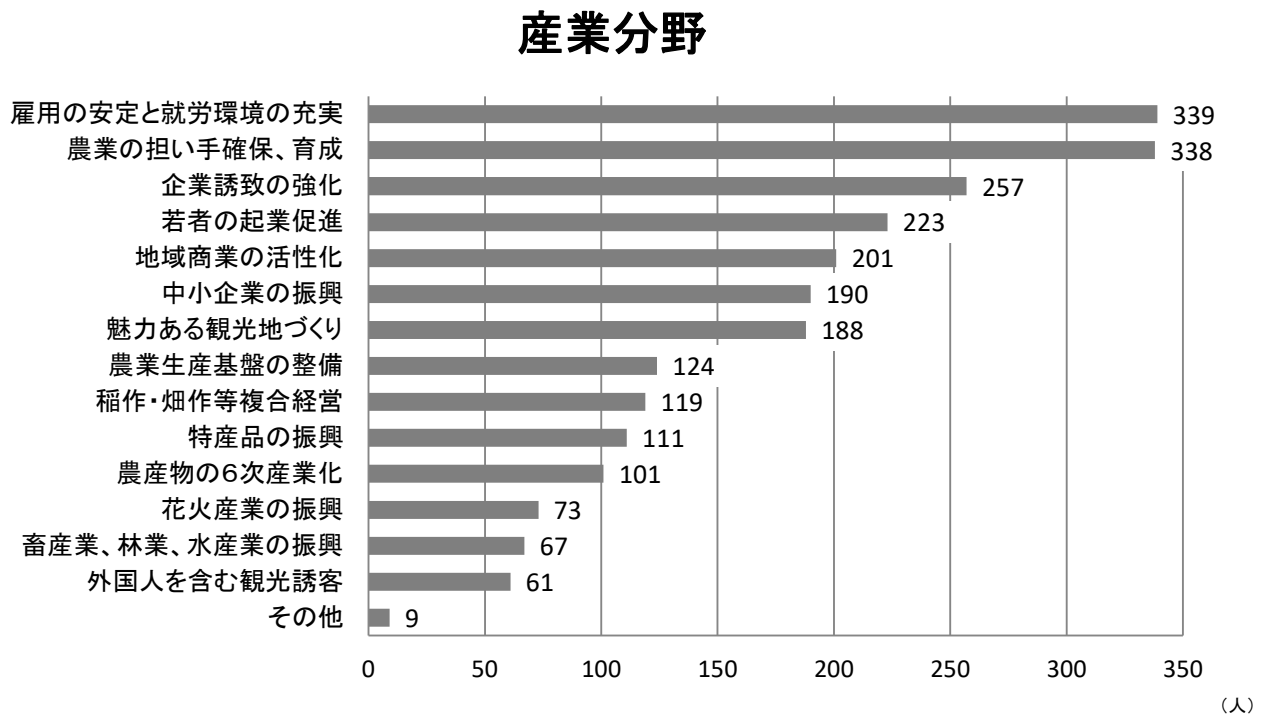
さらに推進すべき取組の上位は、「雇用の安定と就労環境の充実」「農業の担い手確保、育成」「企業誘致の強化」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客」「畜産業、林業、水産業の振興」「花火産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、50代以下で「雇用の安定と就労環境の充実」、60代以上で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっており、20代から40代と60代で「中小企業の振興」、10代から30代で「魅力ある観光地づくり」が上位に入っている。

地域別で見ると、協和地域を除く各地域の上位2項目は「雇用の安定と就労環境の充実」「農業の担い手確保、育成」となっており、協和地域では「若者の起業促進」が2番目になっている。西仙北・中仙・南外・仙北・太田地域で「中小企業の振興」、神岡・協和地域で「魅力ある観光地づくり」が上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 7 |
| 2 | 農業の担い手確保、育成 | 6 |
| | 若者の起業促進 | 6 |
| | 魅力ある観光地づくり | 6 |
| | 農業生産基盤の整備 | 6 |

■20代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 21 |
| 2 | 農業の担い手確保、育成 | 19 |
| 3 | 中小企業の振興 | 18 |
| 4 | 魅力ある観光地づくり | 16 |
| 5 | 若者の起業促進 | 15 |

■30代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 33 |
| 2 | 農業の担い手確保、育成 | 27 |
| 3 | 地域商業の活性化 | 23 |
| 4 | 中小企業の振興 | 19 |
| | 魅力ある観光地づくり | 19 |
| | 企業誘致の強化 | 19 |

■40代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 72 |
| 2 | 農業の担い手確保、育成 | 66 |
| 3 | 企業誘致の強化 | 57 |
| 4 | 中小企業の振興 | 47 |
| 5 | 地域商業の活性化 | 45 |

■50代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 56 |
| 2 | 農業の担い手確保、育成 | 44 |
| 3 | 企業誘致の強化 | 41 |
| 4 | 地域商業の活性化 | 36 |
| 5 | 若者の起業促進 | 33 |

■60代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 76 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 72 |
| 3 | 企業誘致の強化 | 54 |
| 4 | 若者の起業促進 | 46 |
| 5 | 中小企業の振興 | 27 |

■70代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 66 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 49 |
| 3 | 若者の起業促進 | 44 |
| 4 | 企業誘致の強化 | 43 |
| 5 | 地域商業の活性化 | 39 |

■80代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 22 |
| 2 | 企業誘致の強化 | 16 |
| | 稲作・畑作等複合経営 | 16 |
| 4 | 若者の起業促進 | 15 |
| 5 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 14 |

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 157 |
| 2 | 農業の担い手確保、育成 | 148 |
| 3 | 企業誘致の強化 | 120 |
| 4 | 地域商業の活性化 | 107 |
| 5 | 若者の起業促進 | 105 |

■西仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 24 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 21 |
| 3 | 若者の起業促進 | 19 |
| 4 | 企業誘致の強化 | 18 |
| 5 | 中小企業の振興 | 15 |

■協和地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 26 |
| 2 | 若者の起業促進 | 18 |
| 3 | 農業の担い手確保、育成 | 17 |
| | 企業誘致の強化 | 17 |
| 5 | 魅力ある観光地づくり | 14 |

■仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 33 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 31 |
| 3 | 企業誘致の強化 | 26 |
| 4 | 中小企業の振興 | 19 |
| | 地域商業の活性化 | 19 |

■神岡地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 19 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 16 |
| 3 | 若者の起業促進 | 14 |
| 4 | 企業誘致の強化 | 13 |
| 5 | 魅力ある観光地づくり | 10 |

■中仙地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 42 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 36 |
| 3 | 企業誘致の強化 | 26 |
| 4 | 若者の起業促進 | 20 |
| | 中小企業の振興 | 19 |
| 5 | 地域商業の活性化 | 19 |
| | 農業生産基盤の整備 | 19 |

■南外地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 11 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 10 |
| 3 | 企業誘致の強化 | 8 |
| | 特産品の振興 | 8 |
| 5 | 中小企業の振興 | 7 |

■太田地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 31 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 27 |
| 3 | 若者の起業促進 | 20 |
| 4 | 企業誘致の強化 | 17 |
| 5 | 中小企業の振興 | 16 |
| | 地域商業の活性化 | 16 |

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

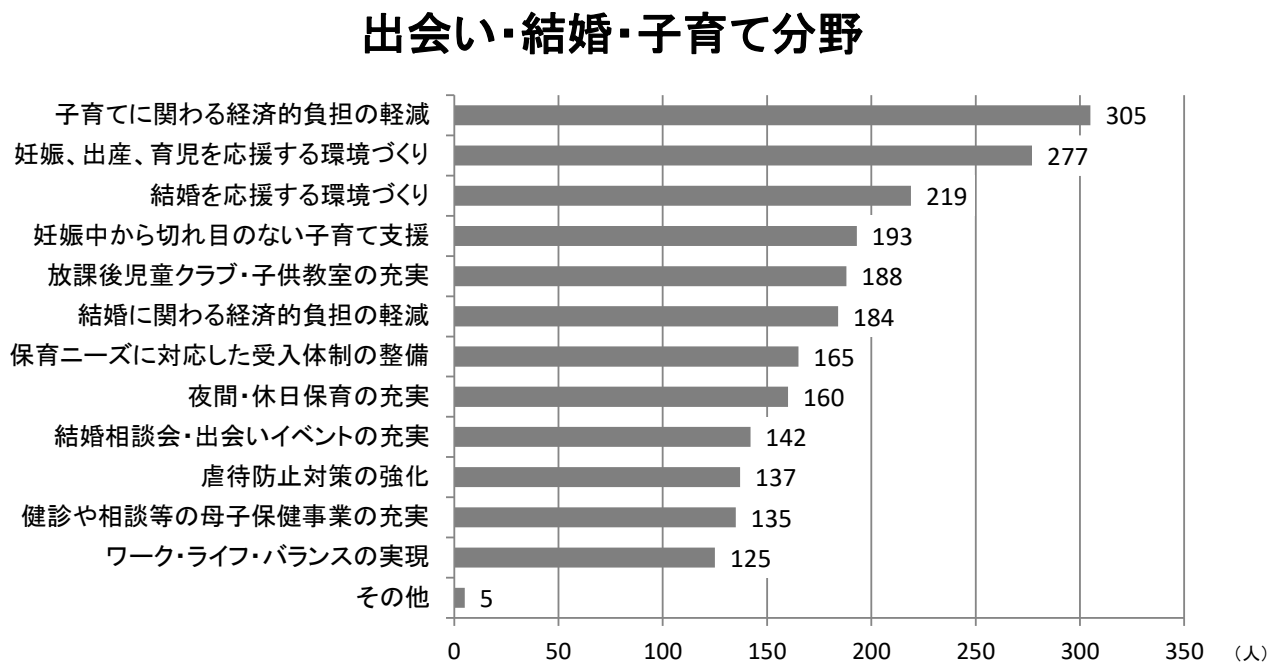
さらに推進すべき取組の上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「結婚を応援する環境づくり」の順となっている。

一方、下位は、「ワーク・ライフ・バランスの実現」「健診や相談等の母子保健事業の充実」「虐待防止対策の強化」の順となっている。

年代別で見ると、80代以外で「子育てに関わる経済的負担の軽減」が最も多くなっているが、80代では「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっている。また、30代と70代を除いた年代で全体の上位5項目に入っていない「結婚に関わる経済的負担の軽減」が上位に入っている。40代以下よりも50代以上で結婚に関わる項目が多く挙げられている。

地域別で見ると、協和・南外・太田地域では結婚に関わる項目が多く挙げられている。

図表 25 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 8 |
| | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 8 |
| | 夜間・休日保育の充実 | 8 |
| 4 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 7 |
| | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 6 |

■20代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 25 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 20 |
| 3 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 18 |
| 4 | 健診や相談等の母子保健事業の充実 | 16 |
| 5 | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 15 |
| | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 15 |
| | 虐待防止対策の強化 | 15 |

■30代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 34 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 33 |
| 3 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 26 |
| 4 | 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 21 |
| 5 | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 19 |

■40代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 65 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 59 |
| 3 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 44 |
| 4 | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 40 |
| | 夜間・休日保育の充実 | 40 |

■50代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 46 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 43 |
| 3 | 結婚を応援する環境づくり | 33 |
| 4 | 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 30 |
| 5 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 27 |
| | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 27 |
| | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 27 |

■60代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 56 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 54 |
| 3 | 結婚を応援する環境づくり | 45 |
| 4 | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 36 |
| 5 | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 34 |

■70代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 50 |
| | 結婚を応援する環境づくり | 50 |
| 3 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 44 |
| 4 | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 34 |
| 5 | 夜間・休日保育の充実 | 28 |

■80代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 結婚を応援する環境づくり | 18 |
| 2 | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 13 |
| 3 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 12 |
| 4 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 11 |
| 5 | 虐待防止対策の強化 | 10 |
| | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 10 |
| | 結婚相談会・出会いイベントの充実 | 10 |

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 147 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 132 |
| 3 | 結婚を応援する環境づくり | 101 |
| 4 | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 97 |
| 5 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 85 |

■西仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 23 |
| 2 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 21 |
| 3 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 16 |
| 4 | 夜間・休日保育の充実 | 14 |
| | 結婚相談会・出会いイベントの充実 | 14 |

■協和地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 22 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 18 |
| 3 | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 13 |
| 4 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 12 |
| 5 | 結婚を応援する環境づくり | 11 |
| | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 11 |

■仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 24 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 22 |
| 3 | 結婚を応援する環境づくり | 21 |
| 4 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 19 |
| 5 | 夜間・休日保育の充実 | 18 |
| | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 18 |

■神岡地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 17 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 16 |
| 3 | 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 11 |
| | 健診や相談等の母子保健事業の充実 | 11 |
| | 虐待防止対策の強化 | 11 |

■中仙地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 31 |
| 2 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 30 |
| 3 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 28 |
| | 結婚を応援する環境づくり | 28 |
| 5 | 放課後児童クラブ・子供教室の充実 | 23 |

■南外地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 10 |
| | 結婚を応援する環境づくり | 10 |
| 3 | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 8 |
| | 結婚相談会・出会いイベントの充実 | 8 |
| 5 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 7 |

■太田地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 26 |
| 2 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 23 |
| | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 20 |
| 4 | 結婚を応援する環境づくり | 17 |
| 5 | 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 16 |

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

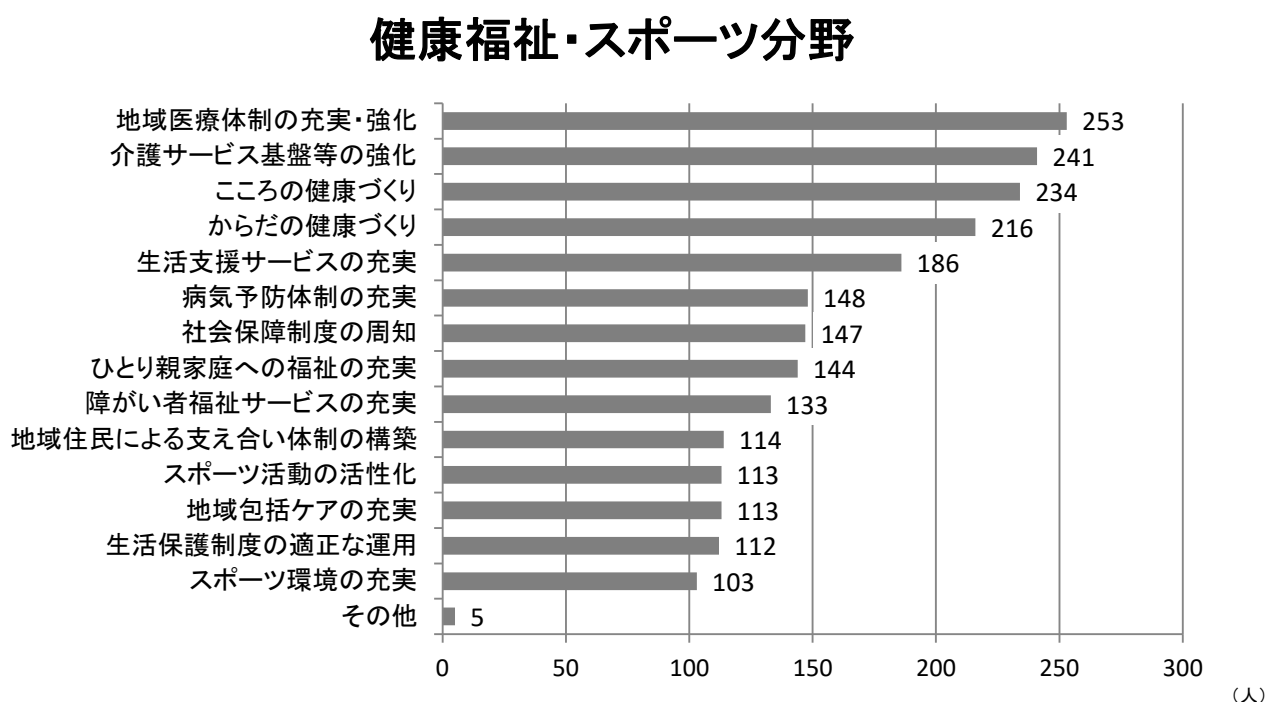
さらに推進すべき取組の上位は、「地域医療体制の充実・強化」「介護サービス基盤等の強化」「こころの健康づくり」の順となっている。

一方、下位は、「スポーツ環境の充実」「生活保護制度の適正な運用」「地域包括ケアの充実」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「地域医療体制の充実・強化」「こころの健康づくり」、10代以外で「介護サービス基盤等の強化」、20代以外で「からだの健康づくり」、20代、30代、60代、70代で「生活支援サービスの充実」が上位に入っている。また、70代以上では「からだの健康づくり」が「こころの健康づくり」よりも上位となっている。そのほか、20代、30代、80代で「ひとり親家庭への福祉の充実」、20代、50代では「障がい者福祉サービスの充実」が上位に入っており、10代では全体の下位5項目に入っている「スポーツ活動の活性化」や「生活保護制度の適正な運用」が上位に入っている。

地域別で見ると、神岡・南外地域以外で全体の上位3項目に入っている項目が上位に入っている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として、神岡・中仙・太田地域で「社会保障制度の周知」、南外・仙北地域で「病気予防体制の充実」、南外地域で「地域包括ケアの充実」「生活保護制度の適正な運用」が上位に入っている。

図表 28 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | こころの健康づくり | 7 |
| | からだの健康づくり | 7 |
| | スポーツ活動の活性化 | 7 |
| 4 | 地域医療体制の充実・強化 | 6 |
| 5 | 生活保護制度の適正な運用 | 5 |

■20代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 13 |
| | 生活支援サービスの充実 | 13 |
| | ひとり親家庭への福祉の充実 | 13 |
| 4 | こころの健康づくり | 11 |
| | 介護サービス基盤等の強化 | 11 |
| | 障がい者福祉サービスの充実 | 11 |

■30代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 22 |
| 2 | ひとり親家庭への福祉の充実 | 18 |
| 3 | こころの健康づくり | 16 |
| | からだの健康づくり | 16 |
| 5 | 生活支援サービスの充実 | 15 |
| | 介護サービス基盤等の強化 | 15 |

■40代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 60 |
| 2 | こころの健康づくり | 50 |
| 3 | 介護サービス基盤等の強化 | 48 |
| 4 | からだの健康づくり | 38 |
| 5 | スポーツ環境の充実 | 34 |

■50代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 42 |
| 2 | 介護サービス基盤等の強化 | 37 |
| 3 | こころの健康づくり | 36 |
| 4 | からだの健康づくり | 33 |
| 5 | 障がい者福祉サービスの充実 | 27 |

■60代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 49 |
| | こころの健康づくり | 49 |
| 3 | 介護サービス基盤等の強化 | 48 |
| 4 | からだの健康づくり | 41 |
| 5 | 生活支援サービスの充実 | 39 |

■70代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 介護サービス基盤等の強化 | 50 |
| 2 | からだの健康づくり | 48 |
| 3 | こころの健康づくり | 41 |
| 4 | 地域医療体制の充実・強化 | 40 |
| 5 | 生活支援サービスの充実 | 37 |

■80代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | からだの健康づくり | 17 |
| 2 | 介護サービス基盤等の強化 | 16 |
| 3 | 地域医療体制の充実・強化 | 15 |
| 4 | こころの健康づくり | 12 |
| 5 | ひとり親家庭への福祉の充実 | 10 |

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 122 |
| 2 | 介護サービス基盤等の強化 | 110 |
| | こころの健康づくり | 110 |
| 4 | からだの健康づくり | 89 |
| 5 | 生活支援サービスの充実 | 81 |

■神岡地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 14 |
| 2 | 介護サービス基盤等の強化 | 12 |
| 3 | 社会保障制度の周知 | 10 |
| | こころの健康づくり | 9 |
| 4 | 生活支援サービスの充実 | 9 |
| | ひとり親家庭への福祉の充実 | 9 |

■西仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 介護サービス基盤等の強化 | 22 |
| 2 | 地域医療体制の充実・強化 | 17 |
| | からだの健康づくり | 17 |
| 4 | こころの健康づくり | 15 |
| 5 | 生活支援サービスの充実 | 13 |

■中仙地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 介護サービス基盤等の強化 | 34 |
| 2 | 地域医療体制の充実・強化 | 29 |
| | からだの健康づくり | 29 |
| 4 | こころの健康づくり | 26 |
| 5 | 社会保障制度の周知 | 22 |

■協和地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 15 |
| 2 | からだの健康づくり | 14 |
| 3 | こころの健康づくり | 13 |
| 4 | 生活支援サービスの充実 | 12 |
| 5 | 介護サービス基盤等の強化 | 11 |

■南外地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | こころの健康づくり | 12 |
| 2 | からだの健康づくり | 11 |
| 3 | 生活支援サービスの充実 | 8 |
| | 病気予防体制の充実 | 6 |
| 4 | 地域包括ケアの充実 | 6 |
| | 生活保護制度の適正な運用 | 6 |

■仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | からだの健康づくり | 24 |
| 2 | 地域医療体制の充実・強化 | 22 |
| 3 | こころの健康づくり | 21 |
| 4 | 介護サービス基盤等の強化 | 20 |
| | 病気予防体制の充実 | 17 |

■太田地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 地域医療体制の充実・強化 | 23 |
| 2 | 生活支援サービスの充実 | 21 |
| 3 | からだの健康づくり | 17 |
| 4 | 介護サービス基盤等の強化 | 16 |
| 5 | こころの健康づくり | 15 |
| | 社会保障制度の周知 | 15 |

2.5.4 環境安全分野に関する設問について

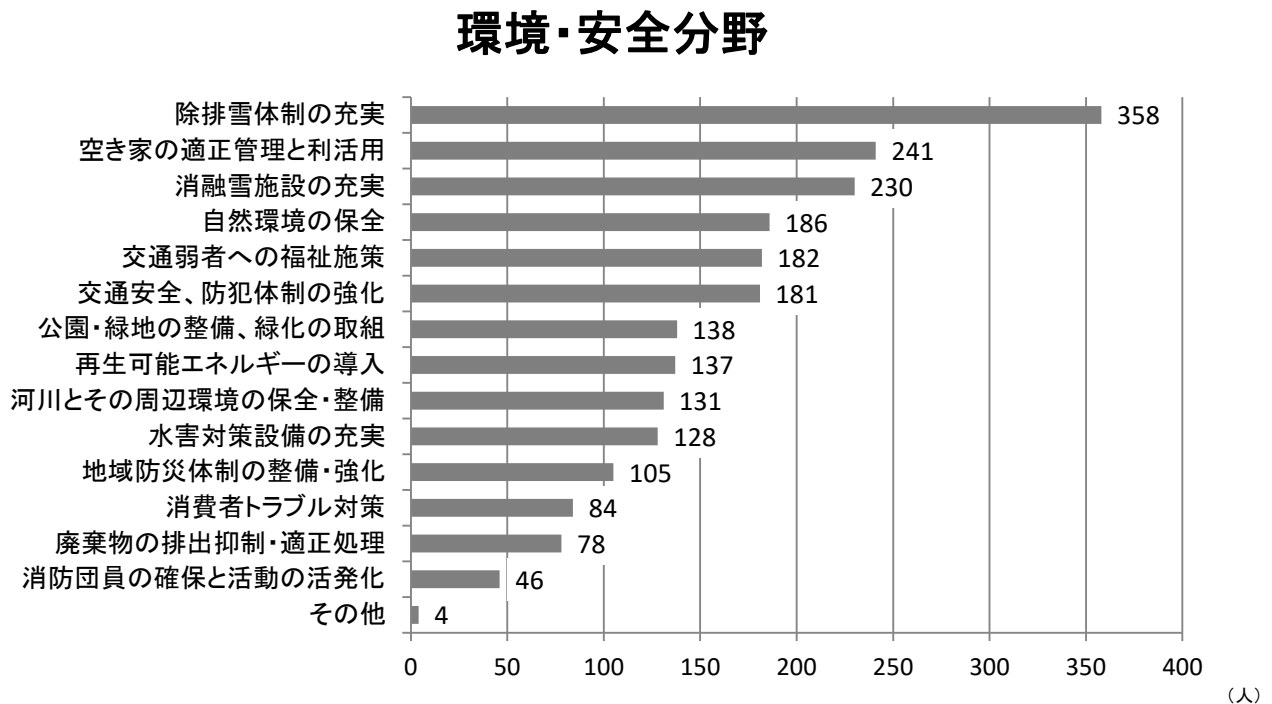
さらに推進すべき取組の上位は、「除排雪体制の充実」「空き家の適正管理と利活用」「消融雪施設の充実」の順となっている。

一方、下位は、「消防団員の確保と活動の活発化」「廃棄物の排出抑制・適正処理」「消費者トラブル対策」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、「消融雪施設の充実」も上位に入っている。また、80代以外で「空き家の適正管理と利活用」、20代、40代、60代以上で「交通弱者への福祉施策」、20代以下、50代、60代、80代で「交通安全、防犯体制の強化」が上位に入っている。

地域別で見ると、南外地域以外で「除排雪体制の充実」が最も多く、「空き家の適正管理と利活用」も上位に入っている。南外地域では「自然環境の保全」が最も多くなっている。また、西仙北地域以外で「交通弱者への福祉施策」、南外・太田地域以外で「消融雪施設の充実」、神岡・南外地域以外で「交通安全、防犯体制の強化」が上位に入っている。

図表 31 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|----------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 7 |
| | 空き家の適正管理と利活用 | 7 |
| 3 | 公園・緑地の整備、緑化の取組 | 6 |
| | 再生可能エネルギーの導入 | 6 |
| 5 | 消融雪施設の充実 | 5 |
| | 交通安全、防犯体制の強化 | 5 |
| | 廃棄物の排出抑制・適正処理 | 5 |

■20代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 22 |
| 2 | 消融雪施設の充実 | 15 |
| 3 | 空き家の適正管理と利活用 | 11 |
| | 交通弱者への福祉施策 | 11 |
| 5 | 交通安全、防犯体制の強化 | 10 |

■30代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|----------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 29 |
| 2 | 消融雪施設の充実 | 26 |
| 3 | 空き家の適正管理と利活用 | 24 |
| 4 | 公園・緑地の整備、緑化の取組 | 20 |
| 5 | 水害対策設備の充実 | 14 |
| | 再生可能エネルギーの導入 | 14 |

■40代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 80 |
| 2 | 消融雪施設の充実 | 52 |
| 3 | 空き家の適正管理と利活用 | 45 |
| 4 | 自然環境の保全 | 44 |
| 5 | 交通弱者への福祉施策 | 41 |

■50代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 53 |
| 2 | 消融雪施設の充実 | 42 |
| 3 | 空き家の適正管理と利活用 | 34 |
| 4 | 交通安全、防犯体制の強化 | 33 |
| 5 | 自然環境の保全 | 29 |

■60代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 72 |
| 2 | 空き家の適正管理と利活用 | 57 |
| 3 | 交通安全、防犯体制の強化 | 39 |
| 4 | 消融雪施設の充実 | 34 |
| 5 | 交通弱者への福祉施策 | 33 |

■70代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 57 |
| 2 | 空き家の適正管理と利活用 | 46 |
| 3 | 交通弱者への福祉施策 | 40 |
| | 自然環境の保全 | 40 |
| 5 | 消融雪施設の充実 | 37 |

■80代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 18 |
| 2 | 交通弱者への福祉施策 | 14 |
| | 交通安全、防犯体制の強化 | 14 |
| 4 | 自然環境の保全 | 12 |
| 5 | 消融雪施設の充実 | 11 |

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 170 |
| 2 | 消融雪施設の充実 | 134 |
| 3 | 空き家の適正管理と利活用 | 101 |
| 4 | 交通安全、防犯体制の強化 | 87 |
| 5 | 交通弱者への福祉施策 | 81 |

■西仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 31 |
| 2 | 空き家の適正管理と利活用 | 18 |
| 3 | 消融雪施設の充実 | 15 |
| 4 | 交通安全、防犯体制の強化 | 14 |
| 5 | 水害対策設備の充実 | 13 |

■協和地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 24 |
| 2 | 空き家の適正管理と利活用 | 19 |
| 3 | 交通安全、防犯体制の強化 | 14 |
| 4 | 消融雪施設の充実 | 13 |
| | 交通弱者への福祉施策 | 13 |

■仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 27 |
| 2 | 空き家の適正管理と利活用 | 26 |
| 3 | 自然環境の保全 | 23 |
| 4 | 交通弱者への福祉施策 | 16 |
| | 交通安全、防犯体制の強化 | 15 |
| 5 | 消融雪施設の充実 | 15 |
| | 水害対策設備の充実 | 15 |

■神岡地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 16 |
| 2 | 空き家の適正管理と利活用 | 15 |
| | 交通弱者への福祉施策 | 15 |
| 4 | 自然環境の保全 | 14 |
| 5 | 消融雪施設の充実 | 12 |

■中仙地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 38 |
| 2 | 空き家の適正管理と利活用 | 27 |
| 3 | 自然環境の保全 | 22 |
| 4 | 交通安全、防犯体制の強化 | 21 |
| 5 | 消融雪施設の充実 | 19 |
| | 交通弱者への福祉施策 | 19 |

■南外地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------|-----|
| 1 | 自然環境の保全 | 8 |
| | 除排雪体制の充実 | 7 |
| 2 | 河川とその周辺環境の保全・整備 | 7 |
| | 地域防災体制の整備・強化 | 7 |
| 5 | 交通弱者への福祉施策 | 6 |
| | 消費者トラブル対策 | 6 |

■太田地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 27 |
| | 空き家の適正管理と利活用 | 19 |
| 3 | 自然環境の保全 | 18 |
| 4 | 交通弱者への福祉施策 | 17 |
| 5 | 交通安全、防犯体制の強化 | 15 |

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

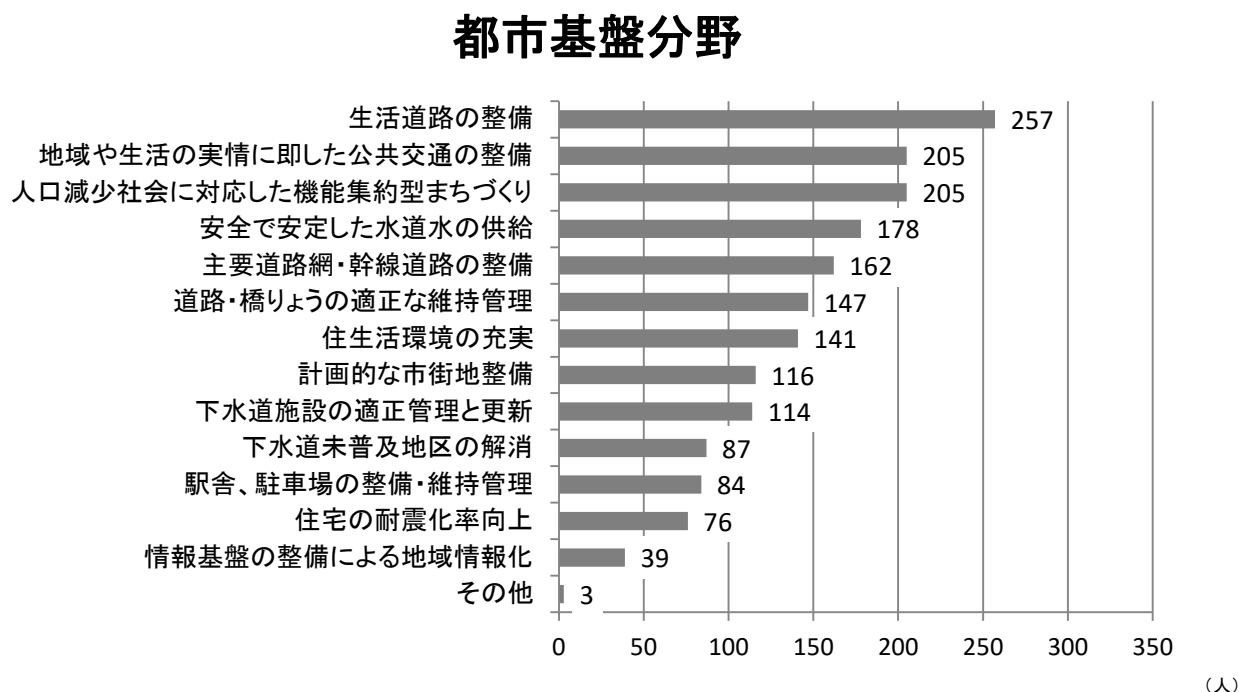
さらに推進すべき取組の上位は、「生活道路の整備」に次ぎ、同数で「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」の順となっている。

一方、下位は、「情報基盤の整備による地域情報化」「住宅の耐震化率向上」「駅舎、駐車場の整備・維持管理」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」が上位に入っており、80代以外で最も多くなっている。20代以外で「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」、80代以外で「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っている。また、20代と50代を除いた年代で「安全で安定した水道水の供給」、20代以下と70代以上で「道路・橋りょうの適正な維持管理」、30代から50代と80代で「住生活環境の充実」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生活道路の整備」「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」が上位に入っている。また、神岡・西仙北・中仙・南外・太田地域で「道路・橋りょうの適正な維持管理」、神岡・協和地域で「下水道施設の適正管理と更新」が上位に入っている。

図表 34 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 7 |
| 2 | 安全で安定した水道水の供給 | 6 |
| 3 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 5 |
| | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 5 |
| | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 5 |

■20代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 18 |
| 2 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 14 |
| | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 14 |
| 4 | 主要道路網・幹線道路の整備 | 13 |
| 5 | 駅舎、駐車場の整備・維持管理 | 11 |

■30代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 24 |
| 2 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 18 |
| 3 | 安全で安定した水道水の供給 | 17 |
| 4 | 主要道路網・幹線道路の整備 | 15 |
| 5 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 13 |
| | 住生活環境の充実 | 13 |
| | 計画的な市街地整備 | 13 |

■40代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 52 |
| 2 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 47 |
| | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 47 |
| 4 | 安全で安定した水道水の供給 | 41 |
| 5 | 住生活環境の充実 | 34 |

■50代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 35 |
| 2 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 31 |
| 3 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 29 |
| 4 | 主要道路網・幹線道路の整備 | 28 |
| 5 | 住生活環境の充実 | 25 |

■60代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 53 |
| 2 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 40 |
| 3 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 38 |
| 4 | 安全で安定した水道水の供給 | 36 |
| 5 | 主要道路網・幹線道路の整備 | 32 |

■70代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 48 |
| 2 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 37 |
| 3 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 36 |
| 4 | 安全で安定した水道水の供給 | 32 |
| | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 32 |

■80代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 14 |
| 2 | 住生活環境の充実 | 11 |
| 3 | 生活道路の整備 | 10 |
| | 安全で安定した水道水の供給 | 10 |
| 5 | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 8 |
| | 下水道施設の適正管理と更新 | 8 |

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 119 |
| 2 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 99 |
| 3 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 87 |
| 4 | 安全で安定した水道水の供給 | 86 |
| 5 | 主要道路網・幹線道路の整備 | 79 |

■西仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 17 |
| 2 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 16 |
| 3 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 15 |
| 4 | 安全で安定した水道水の供給 | 13 |
| 5 | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 11 |

■協和地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 安全で安定した水道水の供給 | 17 |
| 2 | 生活道路の整備 | 15 |
| | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 15 |
| 4 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 14 |
| 5 | 下水道施設の適正管理と更新 | 9 |
| | 住生活環境の充実 | 9 |

■仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 22 |
| 2 | 安全で安定した水道水の供給 | 18 |
| 3 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 17 |
| | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 17 |
| 5 | 主要道路網・幹線道路の整備 | 16 |

■神岡地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 15 |
| 2 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 11 |
| 3 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 10 |
| | 下水道施設の適正管理と更新 | 10 |
| 5 | 住生活環境の充実 | 7 |
| | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 7 |

■中仙地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 33 |
| 2 | 主要道路網・幹線道路の整備 | 25 |
| 3 | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 23 |
| 4 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 22 |
| 5 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 21 |

■南外地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 生活道路の整備 | 9 |
| 2 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 8 |
| 3 | 安全で安定した水道水の供給 | 6 |
| 4 | 下水道未普及地区の解消 | 5 |
| 5 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 4 |
| | 主要道路網・幹線道路の整備 | 4 |
| | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 4 |
| | 情報基盤の整備による地域情報化 | 4 |

■太田地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 18 |
| 2 | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 17 |
| 3 | 生活道路の整備 | 16 |
| | 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 16 |
| 5 | 主要道路網・幹線道路の整備 | 13 |

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

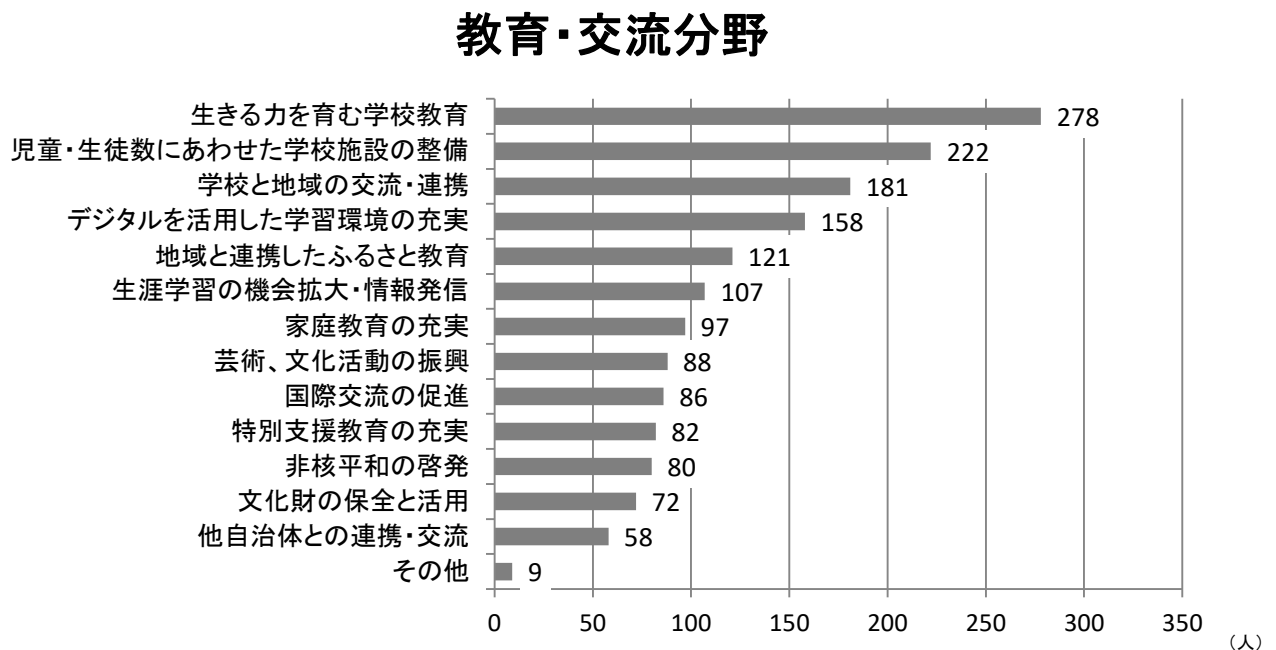
さらに推進すべき取組の上位は、「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」「文化財の保全と活用」「非核平和の啓発」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生きる力を育む学校教育」「学校と地域の交流・連携」、10代以外で「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」、80代以外で「デジタルを活用した学習環境の充実」が上位に入っている。また、20代、40代、60代、80代で「地域と連携したふるさと教育」、10代と70代で「生涯学習の機会拡大・情報発信」が上位に入っている。

地域別で見ると、神岡地域以外で「生きる力を育む学校教育」が最も多くなっており、神岡地域でも2番目に多くなっている。なお、神岡地域では「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」が最も多くなっており、全ての地域で上位に入っている。また、神岡地域以外で「学校と地域の交流・連携」、中仙地域以外で「デジタルを活用した学習環境の充実」、西仙北・協和地域以外で「地域と連携したふるさと教育」が上位に入っている。そのほか、西仙北・中仙・南外地域で「生涯学習の機会拡大・情報発信」、神岡・南外地域で「非核平和の啓発」が上位に入っている。

図表 37 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 7 |
| 2 | 学校と地域の交流・連携 | 6 |
| | 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 6 |
| 4 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 5 |
| | 特別支援教育の充実 | 5 |
| | 国際交流の促進 | 5 |
| | 他自治体との連携・交流 | 5 |

■20代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 17 |
| 2 | 生きる力を育む学校教育 | 13 |
| | 学校と地域の交流・連携 | 13 |
| 4 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 9 |
| | 地域と連携したふるさと教育 | 9 |

■30代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 26 |
| 2 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 23 |
| 3 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 18 |
| 4 | 学校と地域の交流・連携 | 15 |
| 5 | 家庭教育の充実 | 10 |

■40代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 62 |
| 2 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 61 |
| 3 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 38 |
| 4 | 学校と地域の交流・連携 | 27 |
| 5 | 地域と連携したふるさと教育 | 24 |

■50代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 41 |
| 2 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 26 |
| 3 | 学校と地域の交流・連携 | 24 |
| 4 | 芸術、文化活動の振興 | 22 |
| 5 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 18 |

■60代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 53 |
| 2 | 学校と地域の交流・連携 | 41 |
| 3 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 35 |
| | デジタルを活用した学習環境の充実 | 35 |
| 5 | 地域と連携したふるさと教育 | 29 |

■70代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 57 |
| 2 | 学校と地域の交流・連携 | 42 |
| 3 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 41 |
| 4 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 25 |
| | 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 25 |

■80代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 学校と地域の交流・連携 | 11 |
| 2 | 生きる力を育む学校教育 | 10 |
| 3 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 7 |
| | 地域と連携したふるさと教育 | 7 |
| 5 | 非核平和の啓発 | 6 |

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 124 |
| 2 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 102 |
| 3 | 学校と地域の交流・連携 | 83 |
| 4 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 78 |
| 5 | 地域と連携したふるさと教育 | 55 |

■神岡地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 15 |
| 2 | 生きる力を育む学校教育 | 14 |
| 3 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 9 |
| 4 | 地域と連携したふるさと教育 | 8 |
| | 非核平和の啓発 | 8 |

■西仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 20 |
| 2 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 16 |
| 3 | 学校と地域の交流・連携 | 13 |
| 4 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 12 |
| 5 | 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 9 |

■中仙地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 29 |
| 2 | 学校と地域の交流・連携 | 24 |
| 3 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 23 |
| 4 | 地域と連携したふるさと教育 | 19 |
| 5 | 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 16 |

■協和地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 14 |
| | 学校と地域の交流・連携 | 14 |
| 3 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 11 |
| 4 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 8 |
| | 文化財の保全と活用 | 8 |

■南外地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 13 |
| | 学校と地域の交流・連携 | 5 |
| 2 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 5 |
| | 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 5 |
| | デジタルを活用した学習環境の充実 | 4 |
| 5 | 地域と連携したふるさと教育 | 4 |
| | 非核平和の啓発 | 4 |

■仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 29 |
| 2 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 21 |
| 3 | 学校と地域の交流・連携 | 18 |
| 4 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 15 |
| 5 | 地域と連携したふるさと教育 | 10 |

■太田地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 24 |
| 2 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 20 |
| 3 | 学校と地域の交流・連携 | 18 |
| 4 | デジタルを活用した学習環境の充実 | 11 |
| | 地域と連携したふるさと教育 | 11 |

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

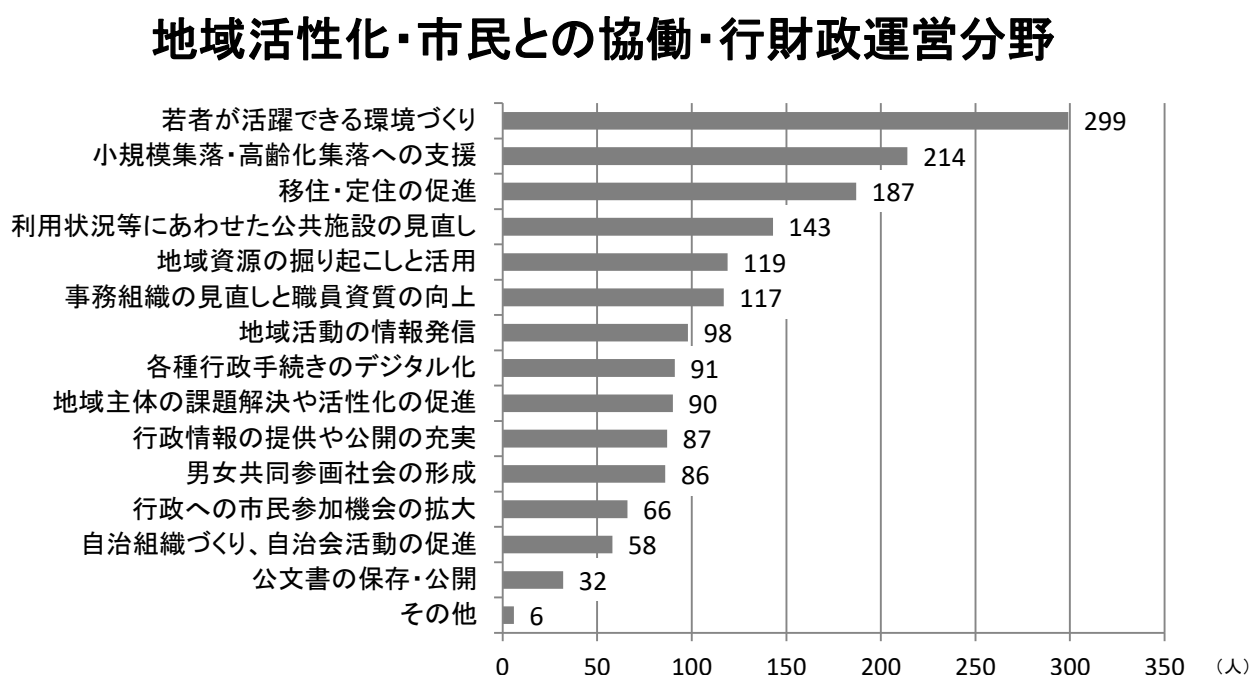
さらに推進すべき取組の上位は、「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」の順となっている。

一方、下位は、「公文書の保存・公開」「自治組織づくり、自治会活動の促進」「行政への市民参加機会の拡大」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」も上位に入っている。また、80代以外で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、20代、40代、60代、70代で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。そのほか、30代以下で「男女共同参画社会の形成」、50代、60代、80代で「事務組織の見直しと職員資質の向上」、20代と30代で「各種行政手続きのデジタル化」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」も上位に入っている。また、南外・太田地域以外で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、大曲・神岡・南外・仙北地域で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。そのほか、西仙北・中仙・協和地域で「事務組織の見直しと職員資質の向上」、中仙・南外・太田地域で「行政情報の提供や公開の充実」上位に入っている。

図表 40 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 8 |
| 2 | 地域活動の情報発信 | 5 |
| | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 5 |
| | 移住・定住の促進 | 5 |
| | 男女共同参画社会の形成 | 5 |
| | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 5 |

■20代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 21 |
| 2 | 移住・定住の促進 | 13 |
| 3 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 9 |
| 4 | 各種行政手続きのデジタル化 | 8 |
| 5 | 地域資源の掘り起こしと活用 | 7 |
| | 男女共同参画社会の形成 | 7 |
| | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 7 |

■30代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 28 |
| 2 | 移住・定住の促進 | 19 |
| 3 | 各種行政手続きのデジタル化 | 13 |
| 4 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 12 |
| | 男女共同参画社会の形成 | 12 |
| | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 12 |

■40代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 59 |
| 2 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 43 |
| 3 | 移住・定住の促進 | 42 |
| 4 | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 39 |
| 5 | 地域資源の掘り起こしと活用 | 31 |

■50代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 47 |
| 2 | 移住・定住の促進 | 32 |
| 3 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 23 |
| 4 | 事務組織の見直しと職員資質の向上 | 20 |
| 5 | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 18 |

■60代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 64 |
| 2 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 47 |
| 3 | 移住・定住の促進 | 35 |
| 4 | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 27 |
| 5 | 地域資源の掘り起こしと活用 | 26 |
| | 事務組織の見直しと職員資質の向上 | 26 |

■70代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 48 |
| 2 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 46 |
| 3 | 移住・定住の促進 | 32 |
| 4 | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 25 |
| 5 | 地域資源の掘り起こしと活用 | 23 |

■80代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 14 |
| | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 14 |
| 3 | 行政への市民参加機会の拡大 | 7 |
| | 自治組織づくり、自治会活動の促進 | 7 |
| 5 | 移住・定住の促進 | 6 |
| | 事務組織の見直しと職員資質の向上 | 6 |

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 147 |
| 2 | 移住・定住の促進 | 92 |
| 3 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 86 |
| 4 | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 69 |
| 5 | 地域資源の掘り起こしと活用 | 61 |

■神岡地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 13 |
| 2 | 移住・定住の促進 | 12 |
| 3 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 10 |
| 4 | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 7 |
| | 地域資源の掘り起こしと活用 | 7 |
| | 各種行政手続きのデジタル化 | 7 |

■西仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 23 |
| 2 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 15 |
| 3 | 移住・定住の促進 | 13 |
| 4 | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 12 |
| 5 | 自治組織づくり、自治会活動の促進 | 7 |
| | 事務組織の見直しと職員資質の向上 | 7 |

■中仙地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 29 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 29 |
| 3 | 移住・定住の促進 | 17 |
| | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 17 |
| 5 | 自治組織づくり、自治会活動の促進 | 14 |
| | 事務組織の見直しと職員資質の向上 | 14 |
| | 行政情報の提供や公開の充実 | 14 |

■協和地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 16 |
| 2 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 13 |
| 3 | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 11 |
| 4 | 移住・定住の促進 | 9 |
| 5 | 事務組織の見直しと職員資質の向上 | 8 |

■南外地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 9 |
| 2 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 8 |
| 3 | 地域資源の掘り起こしと活用 | 5 |
| | 移住・定住の促進 | 5 |
| 5 | 地域活動の情報発信 | 4 |
| | 行政情報の提供や公開の充実 | 4 |

■仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 28 |
| 2 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 19 |
| 3 | 移住・定住の促進 | 18 |
| 4 | 地域資源の掘り起こしと活用 | 12 |
| | 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 12 |

■太田地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|------------------|-----|
| 1 | 若者が活躍できる環境づくり | 24 |
| 2 | 移住・定住の促進 | 18 |
| 3 | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 17 |
| 4 | 地域主体の課題解決や活性化の促進 | 14 |
| 5 | 地域活動の情報発信 | 11 |
| | 行政情報の提供や公開の充実 | 11 |

2.5.8 さらに推進すべき取組の総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取組の上位となっているのは、「除排雪体制の充実」「雇用の安定と就労環境の充実」「農業の担い手確保、育成」「子育てに関わる経済的負担の軽減」「若者が活躍できる環境づくり」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「除排雪体制の充実」「雇用の安定と就労環境の充実」「若者が活躍できる環境づくり」が上位に挙げられている。また、70代以下で「子育てに関わる経済的負担の軽減」、60代以下で「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、30代以下で「妊娠中から切れ目のない子育て支援」が上位に入るなど、幅広い年代で子育てに関する項目が挙げられており、特に30代以下では「子育てに関わる経済的負担の軽減」が最も多くなっている。

50代で「雇用の安定と就労環境の充実」、60代以上で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっているほか、10代以外で「農業の担い手確保、育成」、20代で「中小企業の振興」、40代から60代と80代で「企業誘致の強化」が上位に入るなど、産業に関する項目も上位となっている。

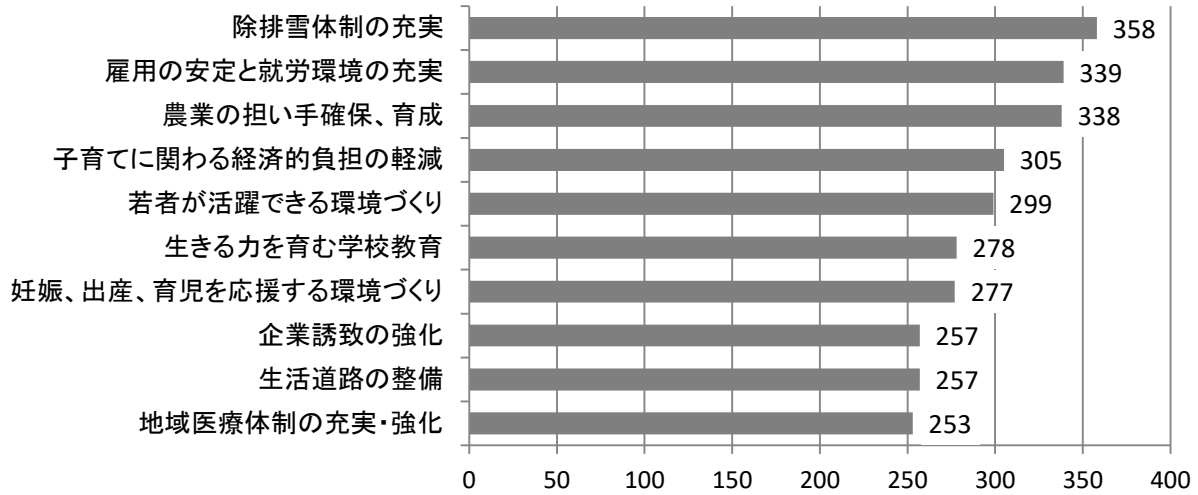
10代では「子育てに関わる経済的負担の軽減」のほか「若者が活躍できる環境づくり」「妊娠中からの切れ目のない子育て支援」「夜間・休日保育の充実」、40代では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、「除排雪体制の充実」は20代と50代以上でも2番目に多くなっている。

10代と30代から70代では「生きる力を育む学校教育」、30代以下と60代、70代で「生活道路の整備」が上位に入っている。

地域別で見ると、大曲・西仙北地域では「除排雪体制の充実」が最も多く、中仙・協和・太田地域でも2番目に多くなっているほか、南外地域以外で上位となっている。神岡・中仙・仙北・太田地域では「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっており、西仙北地域で2番目に多く、全ての地域で上位に入っている。協和地域では「雇用の安定と就労環境の充実」が最も多くなっており、大曲・仙北地域では2番目に多く、全ての地域で上位に入っている。南外地域では「生きる力を育む学校教育」が最も多く、協和地域以外で上位に入っている。また、年代別同様、妊娠や出産、子育てに関する項目や産業に関する項目、若者の活躍や起業に関する項目が全ての地域で上位に入っている。

図表 43 さらに推進すべき取組（回答数順）

すべての分野



図表 44 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 8 |
| | 夜間・休日保育の充実 | 8 |
| | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 8 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 8 |
| 5 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 7 |
| | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 7 |
| | からだの健康づくり | 7 |
| | こころの健康づくり | 7 |
| | スポーツ活動の活性化 | 7 |
| | 除排雪体制の充実 | 7 |
| | 空き家の適正管理と利活用 | 7 |
| | 生活道路の整備 | 7 |
| | 生きる力を育む学校教育 | 7 |

■20代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 25 |
| 2 | 除排雪体制の充実 | 22 |
| 3 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 21 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 21 |
| 5 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 20 |
| 6 | 農業の担い手確保、育成 | 19 |
| 7 | 中小企業の振興 | 18 |
| | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 18 |
| | 生活道路の整備 | 18 |
| 10 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 17 |

■30代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 34 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 33 |
| | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 33 |
| 4 | 除排雪体制の充実 | 29 |
| 5 | 若者が活躍できる環境づくり | 28 |
| 6 | 農業の担い手確保、育成 | 27 |
| | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 26 |
| 7 | 消融雪施設の充実 | 26 |
| | 生きる力を育む学校教育 | 26 |
| 10 | 空き家の適正管理と利活用 | 24 |
| | 生活道路の整備 | 24 |

■50代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 56 |
| 2 | 除排雪体制の充実 | 53 |
| 3 | 若者が活躍できる環境づくり | 47 |
| 4 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 46 |
| 5 | 農業の担い手確保、育成 | 44 |
| 6 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 43 |
| 7 | 地域医療体制の充実・強化 | 42 |
| | 消融雪施設の充実 | 42 |
| 9 | 企業誘致の強化 | 41 |
| | 生きる力を育む学校教育 | 41 |

■70代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 66 |
| 2 | 除排雪体制の充実 | 57 |
| | 生きる力を育む学校教育 | 57 |
| | 結婚を応援する環境づくり | 50 |
| 4 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 50 |
| | 介護サービス基盤等の強化 | 50 |
| 7 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 49 |
| | からだの健康づくり | 48 |
| 8 | 生活道路の整備 | 48 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 48 |

■40代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 80 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 72 |
| 3 | 農業の担い手確保、育成 | 66 |
| 4 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 65 |
| 5 | 生きる力を育む学校教育 | 62 |
| 6 | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 61 |
| 7 | 地域医療体制の充実・強化 | 60 |
| 8 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 59 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 59 |
| 10 | 企業誘致の強化 | 57 |

■60代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 76 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 72 |
| | 除排雪体制の充実 | 72 |
| 4 | 若者が活躍できる環境づくり | 64 |
| 5 | 空き家の適正管理と利活用 | 57 |
| 6 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 56 |
| 7 | 企業誘致の強化 | 54 |
| | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 54 |
| 9 | 生活道路の整備 | 53 |
| | 生きる力を育む学校教育 | 53 |

■80代

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 22 |
| 2 | 結婚を応援する環境づくり | 18 |
| | 除排雪体制の充実 | 18 |
| 4 | からだの健康づくり | 17 |
| | 稲作・畑作等複合経営 | 16 |
| 5 | 企業誘致の強化 | 16 |
| | 介護サービス基盤等の強化 | 16 |
| 8 | 若者の起業促進 | 15 |
| | 地域医療体制の充実・強化 | 15 |
| | 雇用の安定と就労環境の充実 | 14 |
| | 交通安全、防犯体制の強化 | 14 |
| 10 | 交通弱者への福祉施策 | 14 |
| | 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | 14 |
| | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 14 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 14 |

図表 45 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 170 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 157 |
| 3 | 農業の担い手確保、育成 | 148 |
| 4 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 147 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 147 |
| 6 | 消融雪施設の充実 | 134 |
| 7 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 132 |
| 8 | 生きる力を育む学校教育 | 124 |
| 9 | 地域医療体制の充実・強化 | 122 |
| 10 | 企業誘致の強化 | 120 |

■神岡地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 19 |
| 2 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 17 |
| 3 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 16 |
| | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 16 |
| | 除排雪体制の充実 | 16 |
| 6 | 交通弱者への福祉施策 | 15 |
| | 空き家の適正管理と利活用 | 15 |
| | 生活道路の整備 | 15 |
| | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 15 |
| 10 | 若者の起業促進 | 14 |
| | 地域医療体制の充実・強化 | 14 |
| | 自然環境の保全 | 14 |
| | 生きる力を育む学校教育 | 14 |

■西仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 除排雪体制の充実 | 31 |
| 2 | 農業の担い手確保、育成 | 24 |
| 3 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 23 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 23 |
| 5 | 介護サービス基盤等の強化 | 22 |
| 6 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 21 |
| | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 21 |
| 8 | 生きる力を育む学校教育 | 20 |
| 9 | 若者の起業促進 | 19 |
| 10 | 企業誘致の強化 | 18 |
| | 空き家の適正管理と利活用 | 18 |

■中仙地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|------------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 42 |
| 2 | 除排雪体制の充実 | 38 |
| 3 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 36 |
| 4 | 介護サービス基盤等の強化 | 34 |
| 5 | 生活道路の整備 | 33 |
| 6 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 31 |
| 7 | 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 30 |
| 8 | からだの健康づくり | 29 |
| | 地域医療体制の充実・強化 | 29 |
| | 生きる力を育む学校教育 | 29 |
| | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 29 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 29 |

■協和地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 26 |
| 2 | 除排雪体制の充実 | 24 |
| 3 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 22 |
| 4 | 空き家の適正管理と利活用 | 19 |
| 5 | 若者の起業促進 | 18 |
| | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 18 |
| 7 | 農業の担い手確保、育成 | 17 |
| | 企業誘致の強化 | 17 |
| | 安全で安定した水道水の供給 | 17 |
| 10 | 若者が活躍できる環境づくり | 16 |

■南外地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|---------------------|-----|
| 1 | 生きる力を育む学校教育 | 13 |
| 2 | こころの健康づくり | 12 |
| 3 | 農業の担い手確保、育成 | 11 |
| | からだの健康づくり | 11 |
| 5 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 10 |
| | 結婚を応援する環境づくり | 10 |
| | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 10 |
| 8 | 生活道路の整備 | 9 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 9 |
| 10 | 企業誘致の強化 | 8 |
| | 特産品の振興 | 8 |
| | 結婚相談会・出会いイベントの充実 | 8 |
| | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 8 |
| | 生活支援サービスの充実 | 8 |
| | 自然環境の保全 | 8 |
| | 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 8 |
| | 小規模集落・高齢化集落への支援 | 8 |

■仙北地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|-----------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 33 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 31 |
| 3 | 生きる力を育む学校教育 | 29 |
| 4 | 若者が活躍できる環境づくり | 28 |
| 5 | 除排雪体制の充実 | 27 |
| 6 | 企業誘致の強化 | 26 |
| | 空き家の適正管理と利活用 | 26 |
| 8 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 24 |
| | からだの健康づくり | 24 |
| 10 | 自然環境の保全 | 23 |

■太田地域

| 順位 | 項目 | 回答数 |
|----|--------------------|-----|
| 1 | 農業の担い手確保、育成 | 31 |
| 2 | 雇用の安定と就労環境の充実 | 27 |
| | 除排雪体制の充実 | 27 |
| 4 | 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 26 |
| 5 | 生きる力を育む学校教育 | 24 |
| | 若者が活躍できる環境づくり | 24 |
| 7 | 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 23 |
| | 地域医療体制の充実・強化 | 23 |
| 9 | 生活支援サービスの充実 | 21 |
| 10 | 若者の起業促進 | 20 |
| | 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 20 |
| | 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 20 |

2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

- ◆ 調査目的： 市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めており、その一環として、令和4年度から窓口での手数料支払いのキャッシュレス化やオンライン申請による各種証明書の送付サービスを開始している。

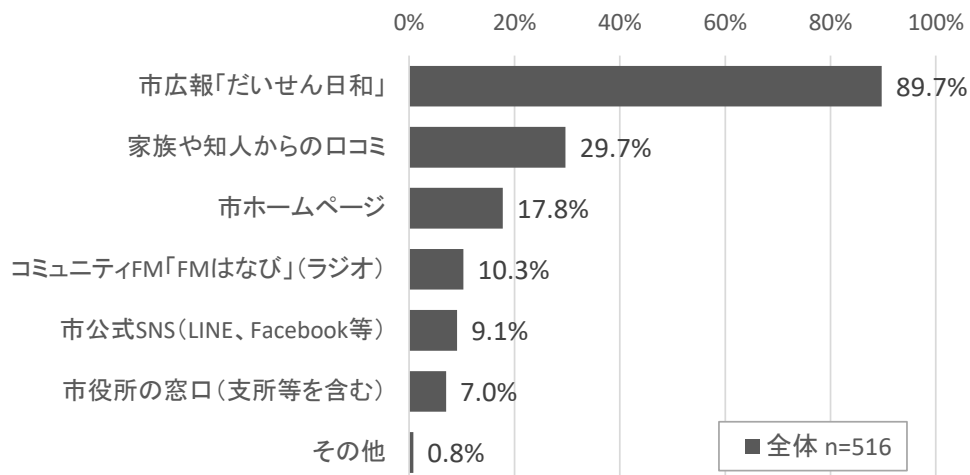
本調査では、市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に関する意見を伺い、今後、様々な行政サービスのデジタル化を推進するにあたっての参考とする。

2.6.1 市政情報の入手手段に関する設問について

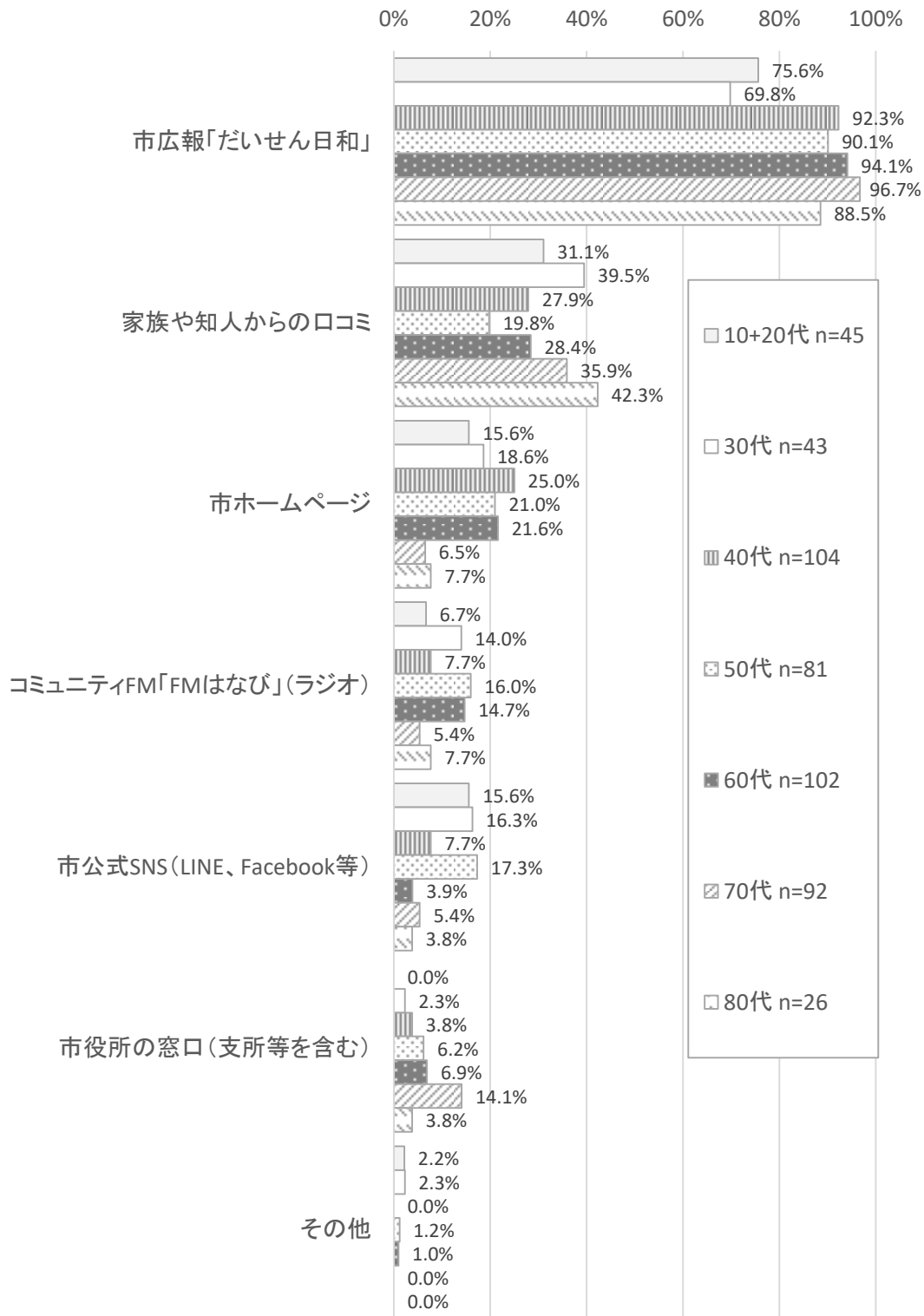
【問1】市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するために主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

- 全体では、「市広報『だいせん日和』」（以下、「広報紙」）の割合が89.7%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」（以下、「口コミ」）が29.7%、「市ホームページ」が17.8%となっている。
- 年代別で見ると全ての年代で「広報紙」が最も高く、40代以上は8割を超えており、非常に高くなっている。「市公式SNS（LINE、Facebook等）」は30代以下と50代、「市ホームページ」は60代以下が高くなっている。「口コミ」は50代以外で2番目に高くなっており、30代以下と70代以上では3割を超え、80代の42.3%が最も高くなっている。70代では「市役所の窓口（支所等を含む）」が14.1%で、他の年代よりも高くなっている。

図表 46 「市政情報入手手段」（全体）



図表 47 年代別による「市政情報入手手段」

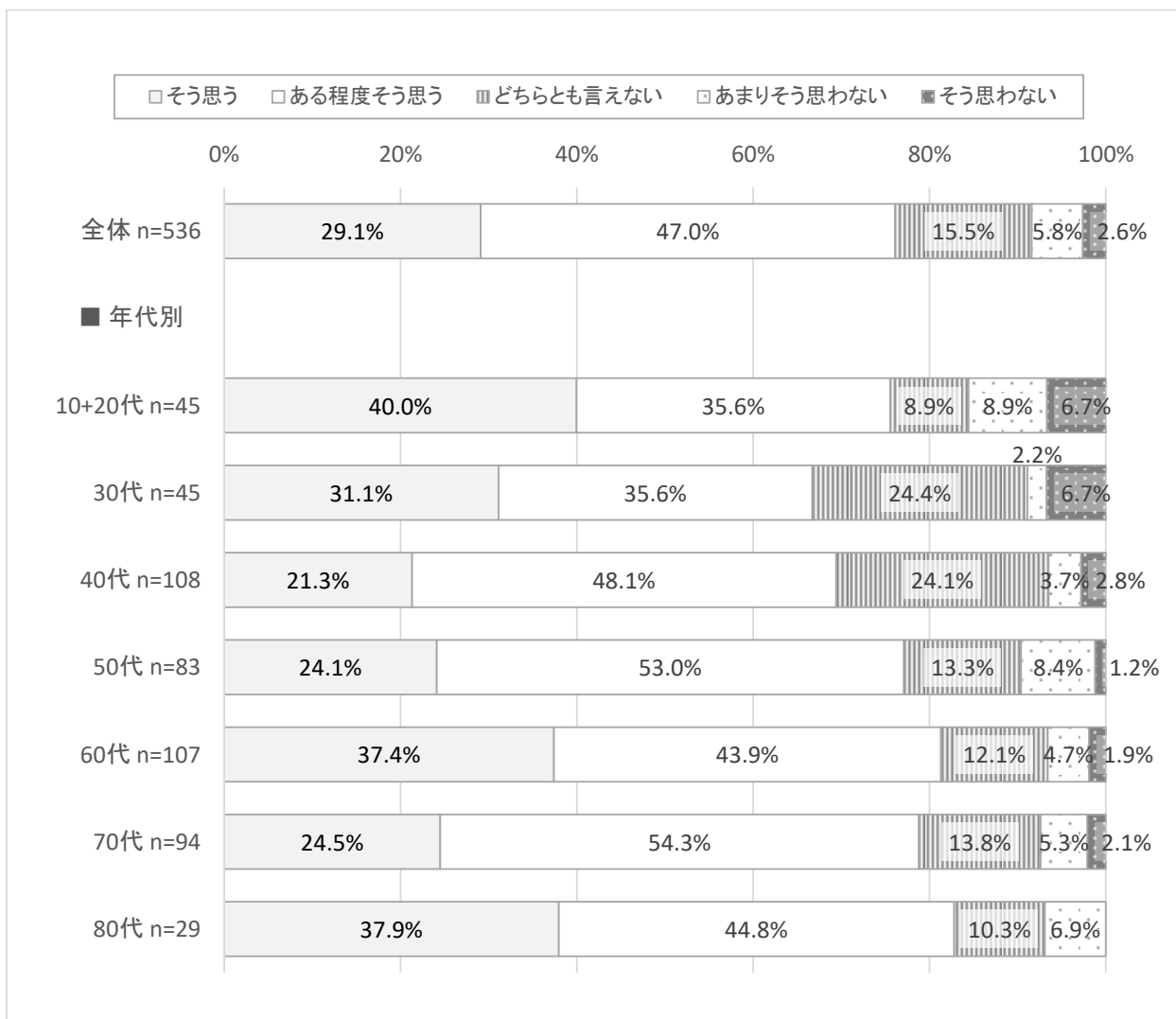


【問2】あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。

(情報の入手しやすさ)

- 全体では、「そう思う（入手しやすい）」が 29.1%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が 47.0%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、76.1%と8割近くになっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も高いのは80代で82.7%、最も低いのは30代で66.7%となっており、16.0ポイントの差がある。「あまりそう思わない（あまり入手しやすいとは思わない）」「そう思わない（入手しやすいとは思わない）」を合わせた割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で15.6%、最も低いのは40代で6.5%となっており、その差は9.1ポイントとなっている。

図表 48 市政情報の入手しやすさ

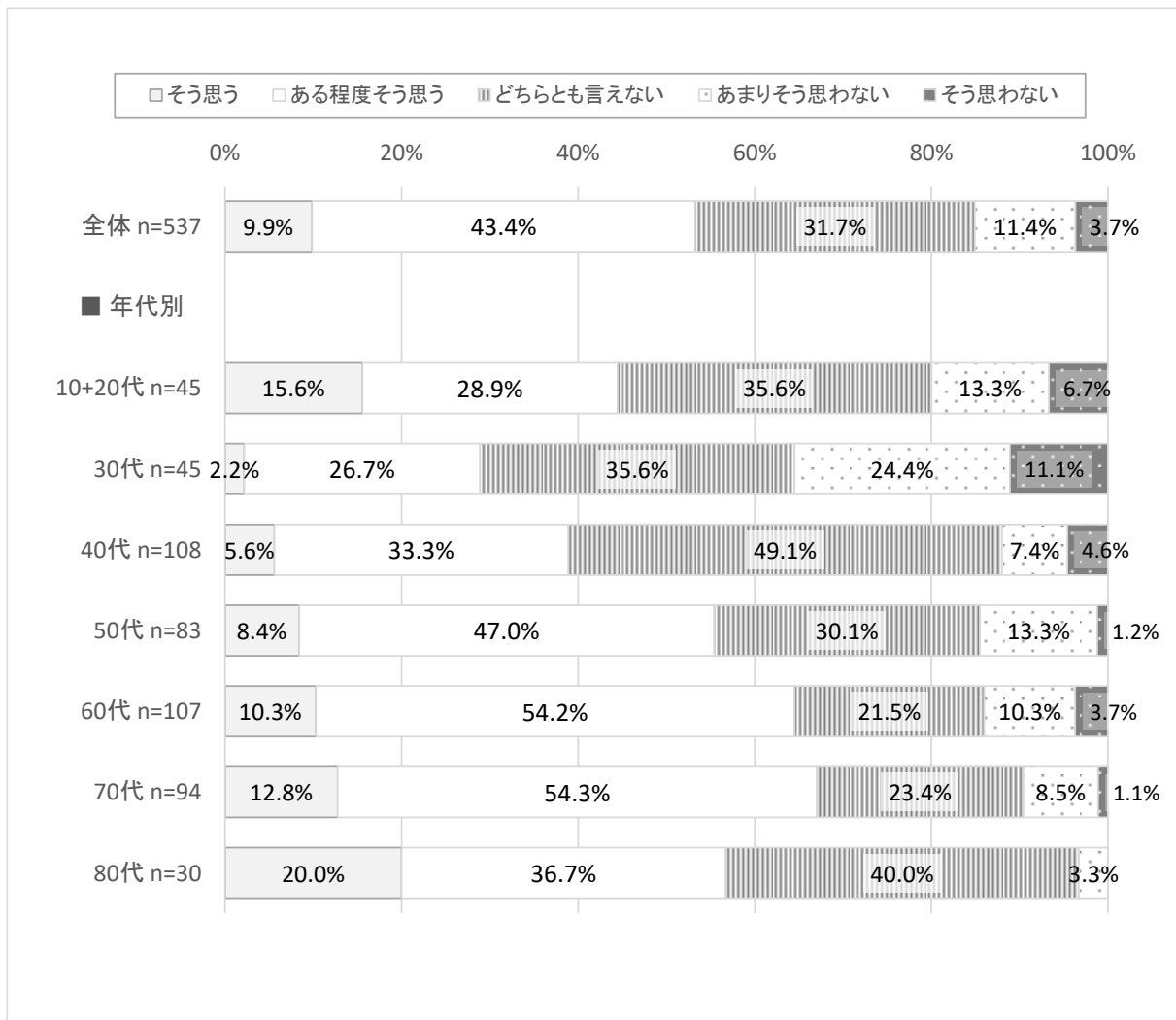


2.6.2 市が行っている行政サービスに関する設問について

【問3】あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。

- 全体では、「そう思う（利用しやすい）」が9.9%、「ある程度そう思う（ある程度利用しやすい）」が43.4%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は53.3%と約5割となっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は70代が67.1%で最も高くなっている。一方で「あまりそう思わない（あまり利用しやすいとは思わない）」「そう思わない（利用しやすいとは思わない）」を合わせた割合は30代が35.5%で最も高く、次いで10代と20代を合わせた年代が20.0%となっており、市のサービスを利用しにくいと感じている方の割合は、若い世代で多くなっている。

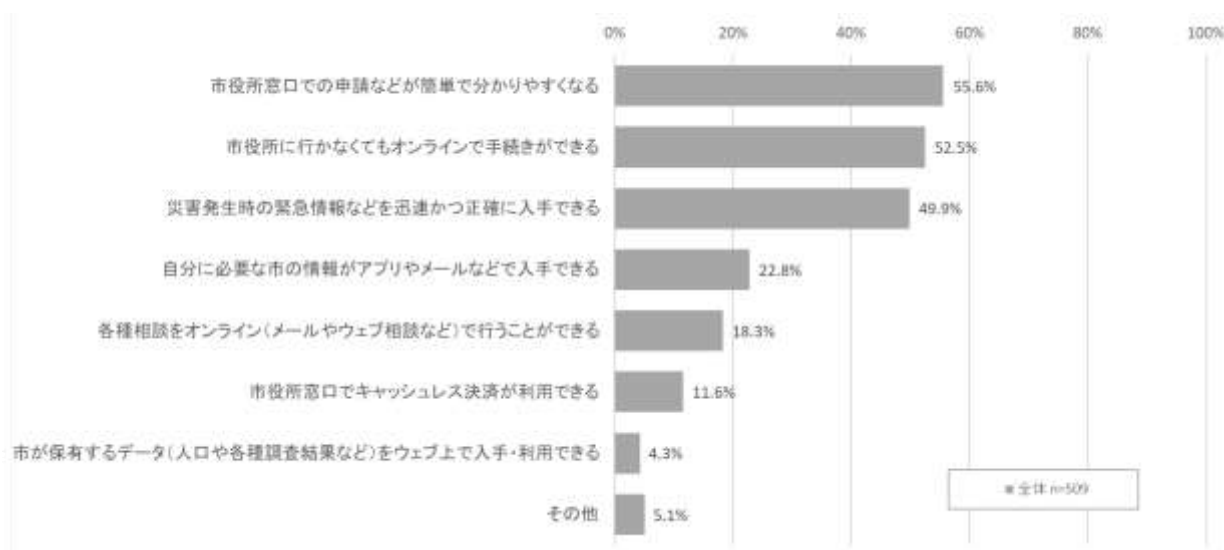
図表 49 「市のサービスの利用しやすさ」



【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

- 全体では、「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」（以下、「申請が簡単になる」）の割合が 55.6%で最も高く、次いで「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」（以下、「オンライン手続き」）が 52.5%、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」（以下、「緊急情報」）が 49.9%となっている。
- 年代別にみると、40代と70代以上では「申請が簡単になる」が最も高く、6割を超えている。30代以下と50代では「オンライン手続き」が最も高く、30代以下では7割を超えている。60代と70代では「緊急情報」が最も高く（70代は「申請が簡単になる」と同率）、6割以上となっている。また、70代以上では「その他」が他の年代と比べて高くなっており、その内容としてデジタル化への不安が多く挙げられている。

図表 50 「行政サービスのデジタル化に期待すること」

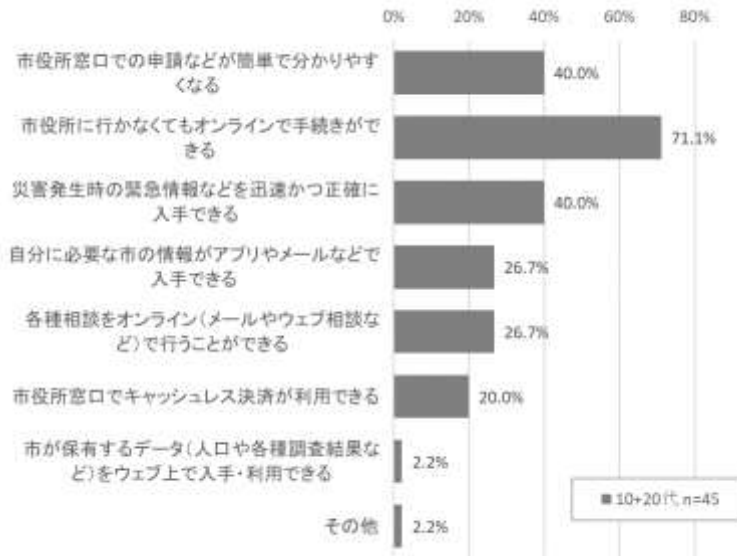


■その他の回答

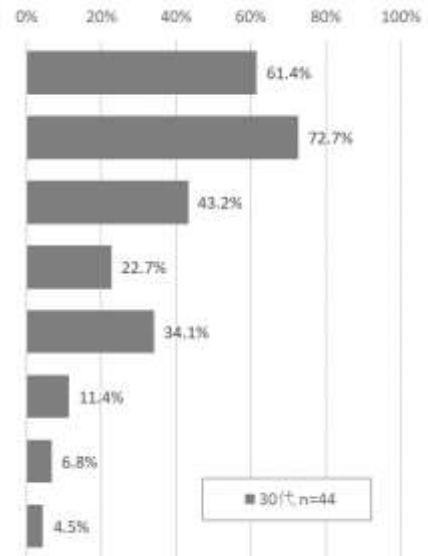
- ・ アナログ世代なので何でもデジタル化されても理解できない。(70代/男性/自営業・家族従業者(農林業含む))
- ・ 急速にデジタル化が進み、高齢者にとって取り残されないよう計らいをお願いします。(70代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 高齢者がついてこられるようにしてほしい。置いてきぼりの高齢者がいます。(40代/女性/正規社員・職員)
- ・ デジタル化が進む一方で、不得意とする市民への対応策も合わせて期待します。(30代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 老人にとってデジタル化することに抵抗を感じることもある。(70代/女性/専業主婦・主夫)
- ・ デジタル化についていけない人の事も考えてほしい。(50代/女性/専業主婦・主夫)
- ・ 高齢者はデジタル化だけだと戸惑う(60代/女性/無職)
- ・ お年寄りにはスマホもつかえなければネット環境もない所がたくさんあります。なんでもかんでもデジタル化はどうかと思います。高齢者にスマホやネットの使い方や環境整備が必要です。(40代/男性/正規社員・職員)
- ・ 年なのでデジタル化はむずかしい。(80代/女性/無職)
- ・ 何曜日でも窓口が開いていること。デジタル必要？(40代/男性/正規社員・職員)
- ・ 今のままで不便を感じない。(60代/女性/自営業・家族従業者(農林業含む))
- ・ 完全デジタル化は反対。特に期待していない。(50代/無職)
- ・ デジタル化反対なので。(60代/男性/無職)
- ・ 期待していない。(70代/男性/無職)
- ・ デジタル化は好きではないです。人間対応が良い。(40代/女性/派遣・契約社員)
- ・ 携帯もっていないので、わからない。(70代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 無理です。(60代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 自分ではなにもできない。(70代/女性/無職)
- ・ デジタルわかりません。(50代/男性/無職)
- ・ サービス等細かい内容までホームページに書かれており、ホームページを見れば内容が把握できる(今は大体の内容しか分からない)。(30代/女性/正規社員・職員)
- ・ 受付などが円滑に進む。(10代/男性/学生(高校生含む))
- ・ 在宅で電子決済が出来る。(40代/女性/正規社員・職員)

図表 51 年代別による「行政サービスのデジタル化に期待すること」

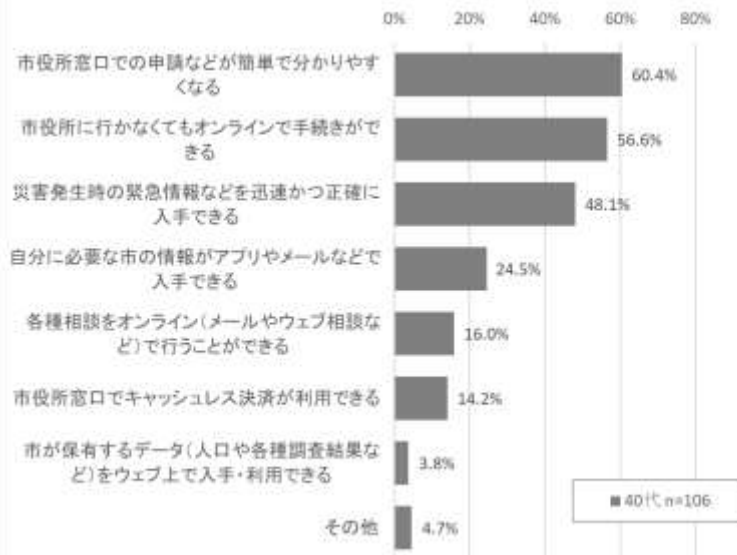
■10代+20代



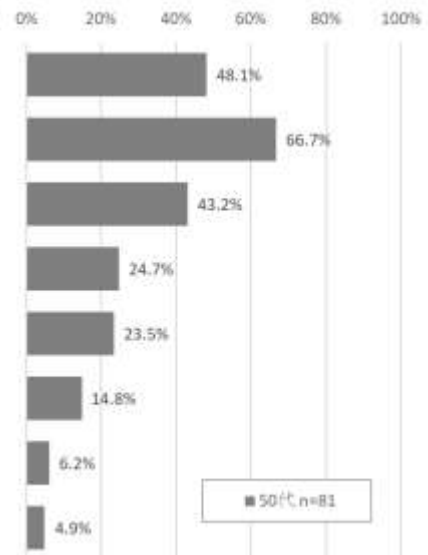
■30代



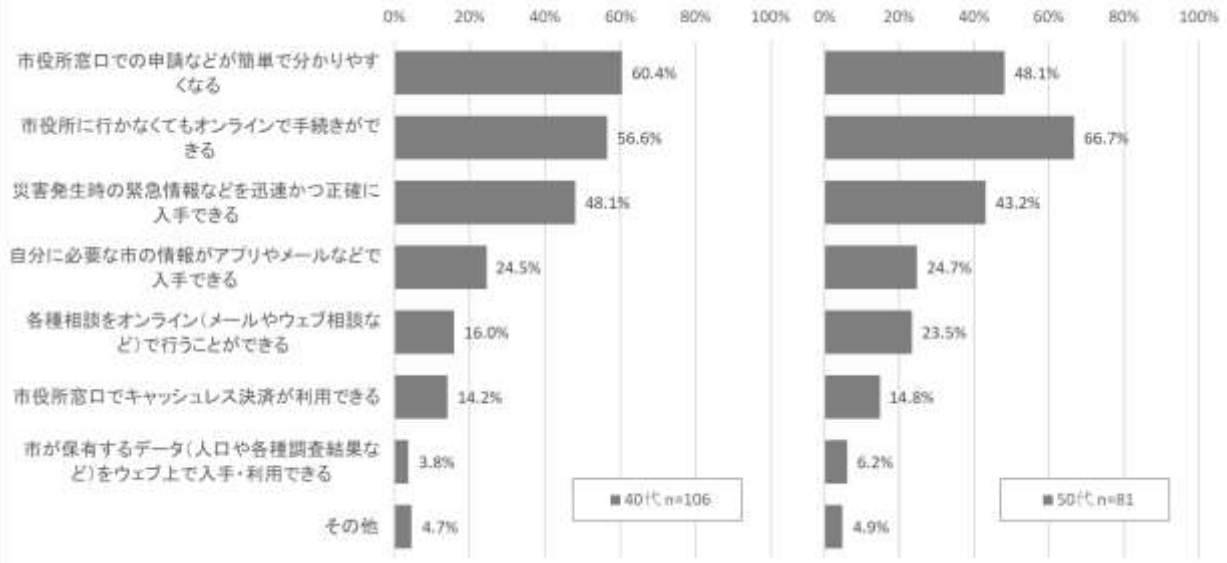
■40代



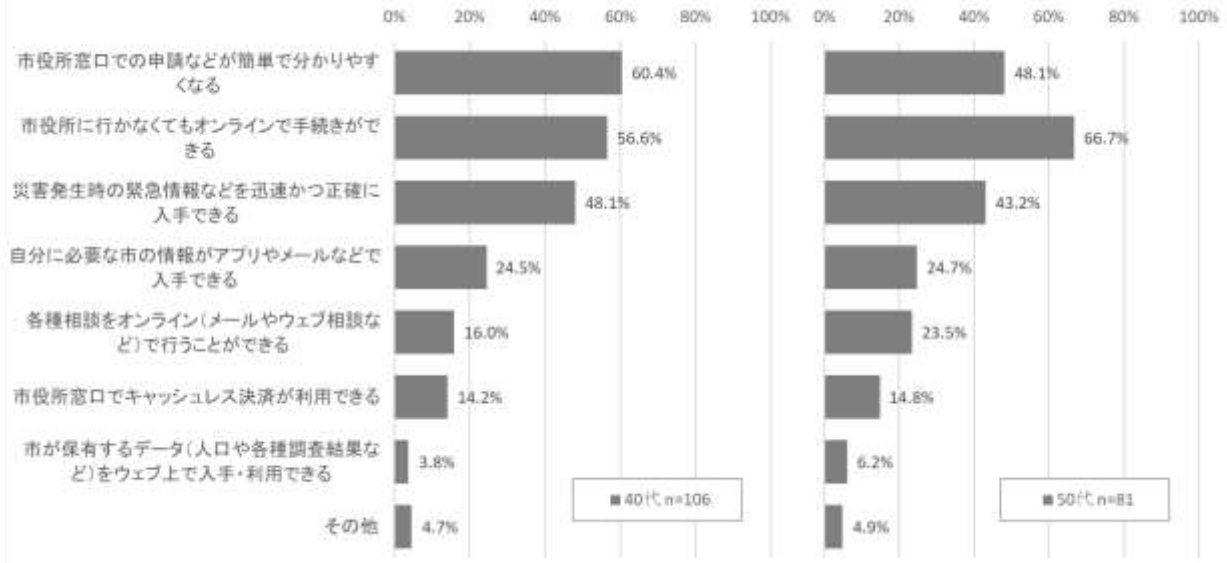
■50代



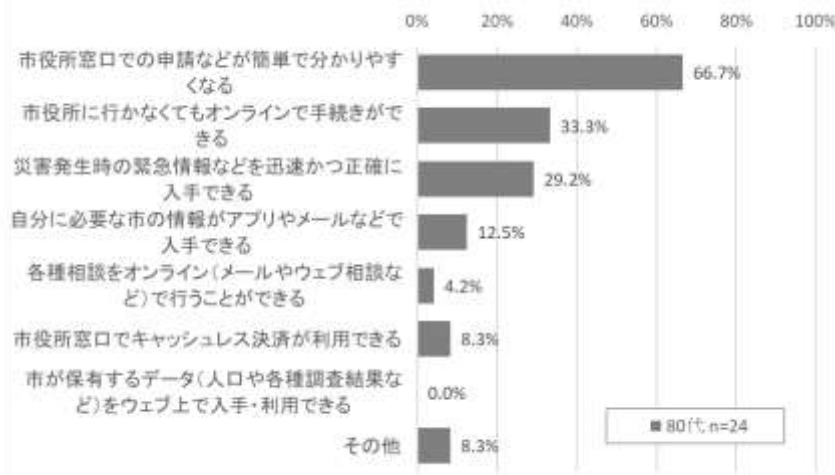
■60代



■70代



■80代



2.7 あなたが思う大仙市について

2.7.1 市内在住の経緯に関する設問について

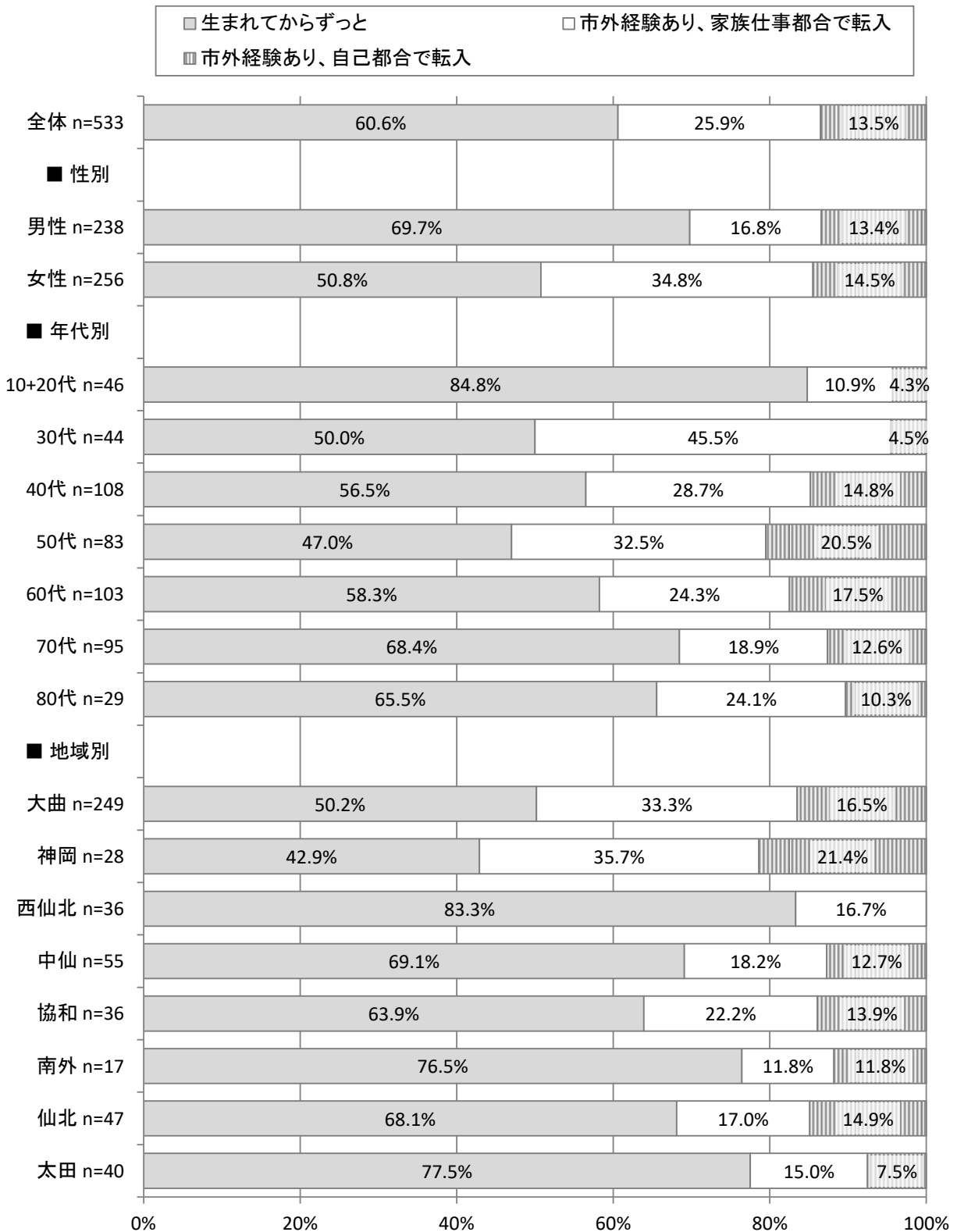
現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」が60.6%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が25.9%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が13.5%となっている。

性別で見ると、「生まれてからずっと」は男性が69.7%となっており、女性の50.8%より18.9ポイント高くなっている。一方、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」は男性が16.8%となっており、女性は18.0ポイント高い34.8%となっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは10代と20代合わせた年代で84.8%となっており、次いで70代が68.4%で2番目に高くなっている。一方、最も低いのは50代で47.0%となっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」が最も高いのは30代で45.5%、「市外経験あり、自己都合で転入」が最も高いのは50代の20.5%となっており、50代を境に年代が上下するにつれて低くなる傾向にある。

地域別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは西仙北地域で83.3%となっており、最も低いのは神岡地域で42.9%となっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が最も高いのは神岡地域でそれぞれ35.7%、21.4%となっている。

図表 52 大仙市に住んでいる経緯



2.7.2 「住みやすさ」に関する設問について

■住みやすいか

大仙市は住みやすいまちだと思うか、という設問については、「どちらかといえば住みやすい」が61.4%で最も高く、次いで「住みやすい」が24.0%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は85.4%で、昨年度(87.7%)から2.3ポイント低下している。

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異は見られないが、「住みやすい」は男性が23.4%、女性が25.9%となっており、女性が2.5ポイント高くなっている。また、「どちらかといえば住みやすい」は男性が63.6%、女性が58.9%となっており、男性が4.7ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、70代が91.7%で最も高く、10代と20代を合わせた年代が80.5%で最も低くなっているものの、全ての年代で8割を超えている。また、「住みにくい」の割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で8.7%となっており、他の年代よりも比較的高くなっている。

地域別で見ると、「住みやすい」は協和地域が33.3%で最も高くなっているが、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、仙北地域が91.5%で最も高くなっている。「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」はどちらも南外地域が最も高く、それぞれ23.5%、5.9%となっており、合計すると約3割となっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「生まれてからずっと」と回答した方が最も高くなっている。また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方の割合が最も高くなっている。

■住み続けたいか

これからも大仙市に住み続けたいと思うか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」が昨年度(77.3%)から3.6ポイント低下し、73.7%となっている。

性別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は男性が75.6%、女性が72.4%で男性が3.2ポイント高くなっており、女性は「市内の別の場所へ移りたい」と「市外に移りたい」が男性より高くなっている。

年代別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は、60代以上が比較的高くなっており、70代以上では8割以上となっている。一方で「市外に移りたい」は、30代を除いて年代が下がるにつれて高くなる傾向となっており、10代と20代を合わせた年代では、26.1%となっている。また、「市内の別の場所へ移りたい」は、30代が13.3%で最も高くなっている。

地域別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は中仙地域が83.9%、「市内の別の場所へ移りたい」は南外地域が29.4%、「市外に移りたい」は協和地域が25.0%で最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は「生まれてからずっと」と回答した方が79.4%で最も高くなっている。「今の場所に住み続けたい」が最も低い一方で、「市外に移りたい」が最も高くなっているのは「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方となっている。

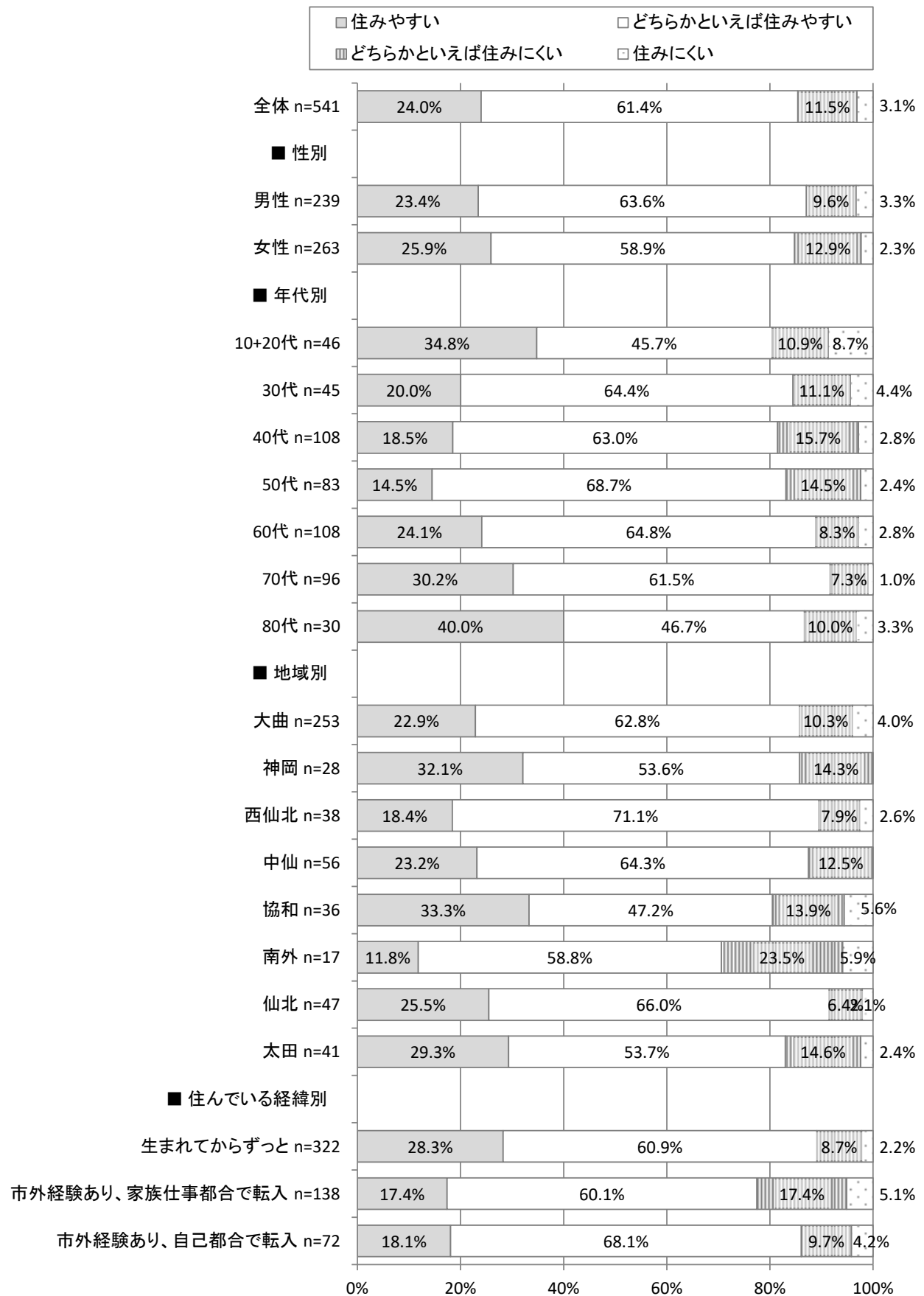
■「住みやすいか」と「住み続けたいか」の比較

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、概ね同様の傾向となっているが、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内に住み続けたいと思っている方の割合は、男性がやや高くなっている。

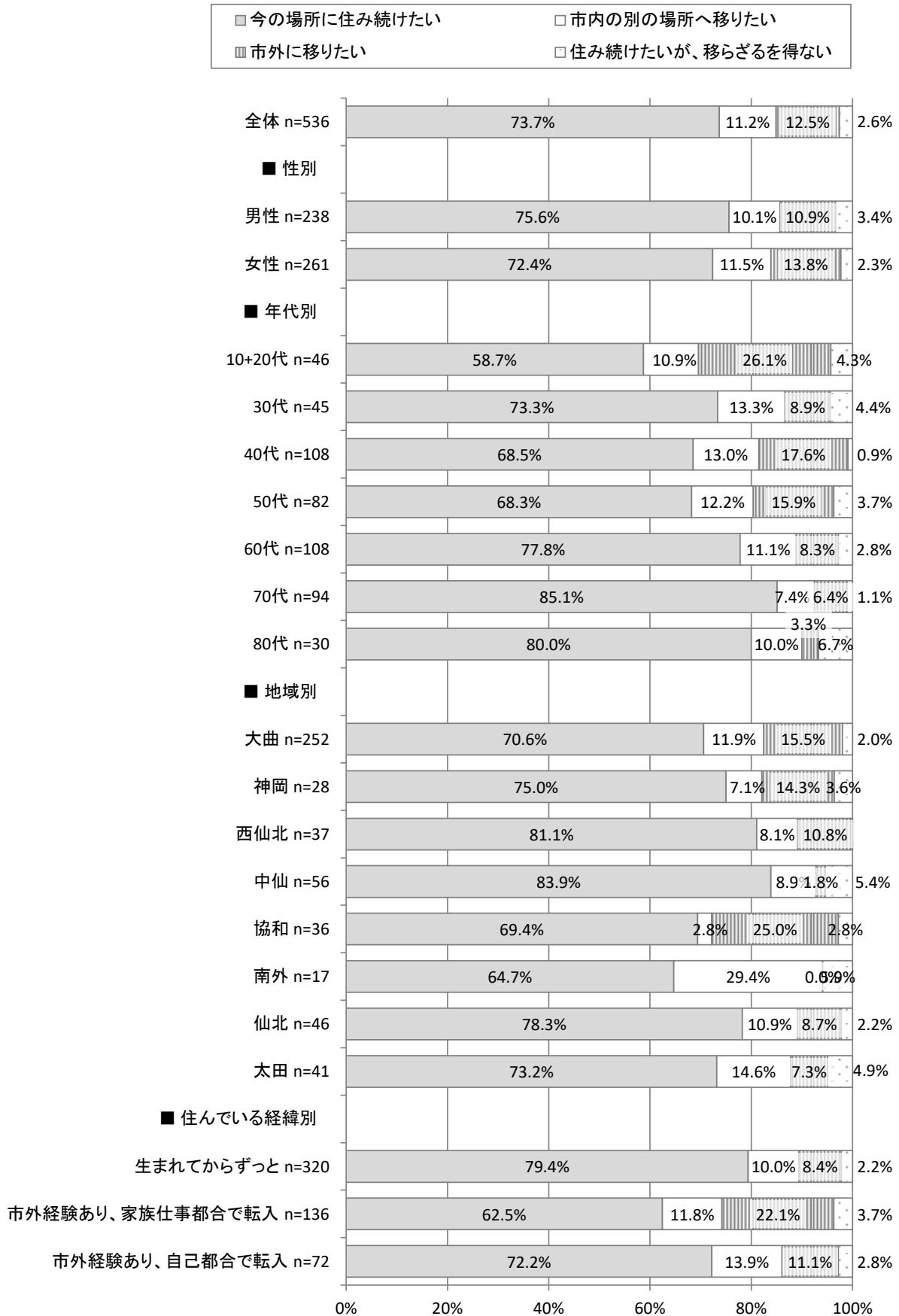
年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」の割合は、概ね同様の傾向となっており、60代以上が比較的高い傾向となっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」の割合が最も低く、一方で「市外に移りたい」は高くなっている。

図表 53 大仙市は住みやすいか



図表 54 大仙市に住み続けたいか



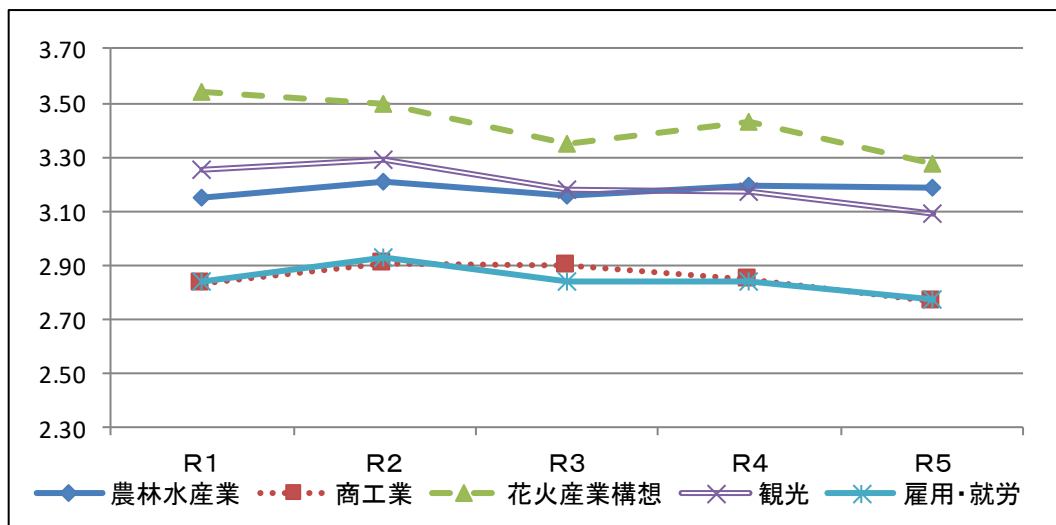
2.8 経年比較

令和元年度から令和5年度までの5年間における満足度、重要度、要望度の推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての8年間の推移をまとめた。

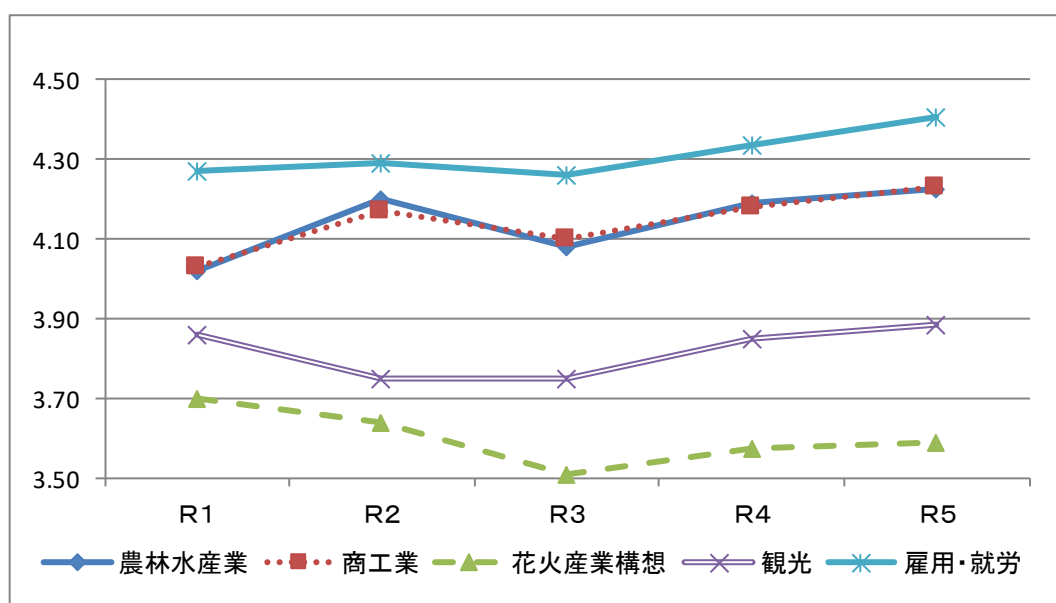
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度は「農林水産業」がほぼ横ばいだが、その他の4項目は、令和元年度ないし令和2年度から低下傾向となっている。重要度は令和3年度以降、全ての項目が上昇傾向となっている。要望度は満足度の低下傾向と重要度の上昇傾向に合わせて、全ての項目で上昇傾向となっている。

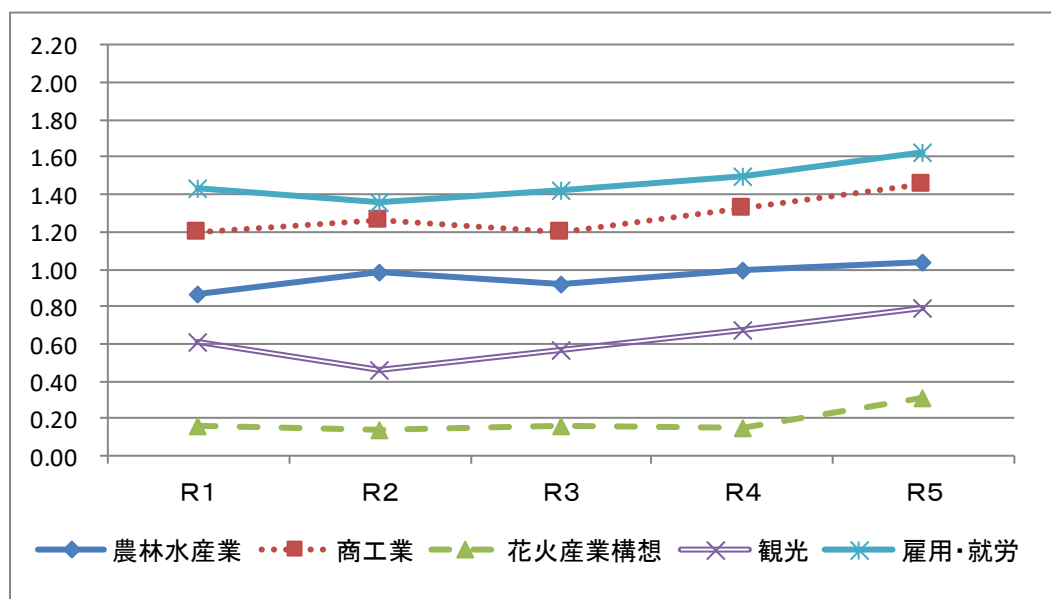
| 満足度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 農林水産業 | 3.15 | 3.21 | 3.16 | 3.19 | 3.19 |
| 商工業 | 2.83 | 2.91 | 2.90 | 2.85 | 2.77 |
| 花火産業構想 | 3.54 | 3.50 | 3.35 | 3.43 | 3.28 |
| 観光 | 3.25 | 3.29 | 3.18 | 3.17 | 3.09 |
| 雇用・就労 | 2.84 | 2.93 | 2.84 | 2.84 | 2.78 |



| 重要度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 農林水産業 | 4.02 | 4.20 | 4.08 | 4.19 | 4.23 |
| 商工業 | 4.03 | 4.17 | 4.10 | 4.18 | 4.23 |
| 花火産業構想 | 3.70 | 3.64 | 3.51 | 3.58 | 3.59 |
| 観光 | 3.86 | 3.75 | 3.75 | 3.85 | 3.88 |
| 雇用・就労 | 4.27 | 4.29 | 4.26 | 4.34 | 4.41 |



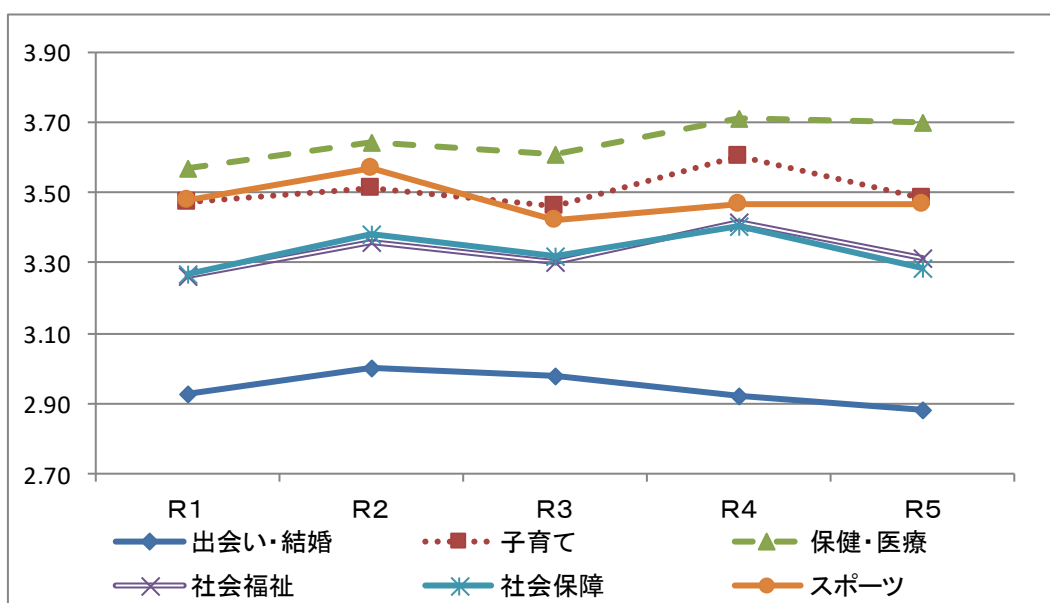
| 要望度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 農林水産業 | 0.87 | 0.99 | 0.92 | 1.00 | 1.04 |
| 商工業 | 1.20 | 1.26 | 1.20 | 1.33 | 1.46 |
| 花火産業構想 | 0.16 | 0.14 | 0.16 | 0.15 | 0.31 |
| 観光 | 0.61 | 0.46 | 0.57 | 0.68 | 0.79 |
| 雇用・就労 | 1.43 | 1.36 | 1.42 | 1.50 | 1.63 |



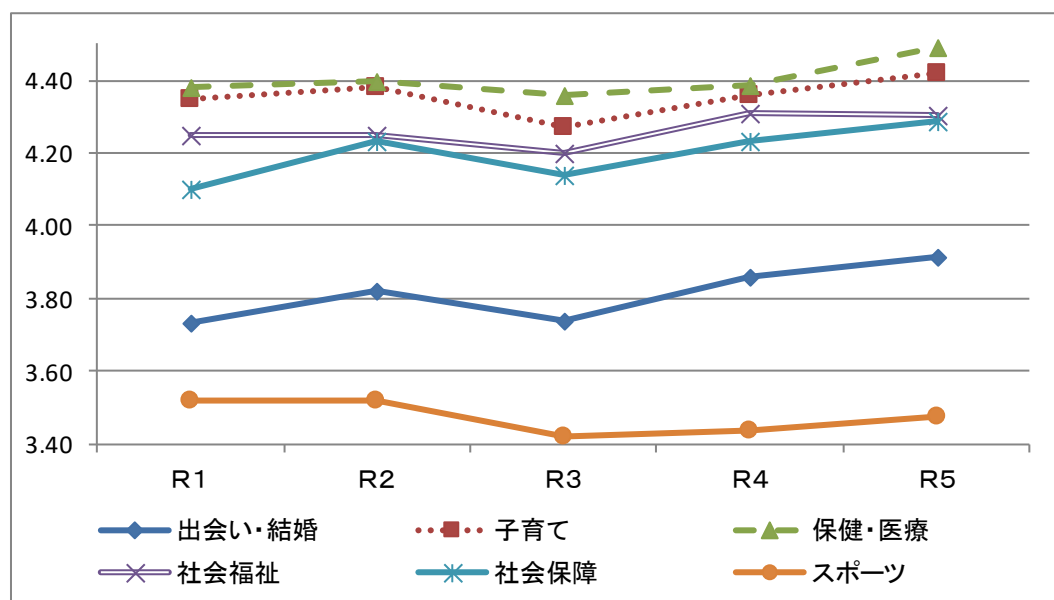
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は昨年度と比較すると「保健・医療」「スポーツ」が横ばい、その他の項目は低下している。中でも「出会い・結婚」は令和2年度から低下傾向となっている。重要度は令和3年度以降、全ての項目が上昇傾向となっている。要望度は「出会い・結婚」を除き令和元年度から横ばいまたは低下傾向で推移していたが、今年度は全ての項目で上昇している。また、満足度については「出会い・結婚」、重要度・要望度については「スポーツ」が他の項目に比べて低い値で推移している。

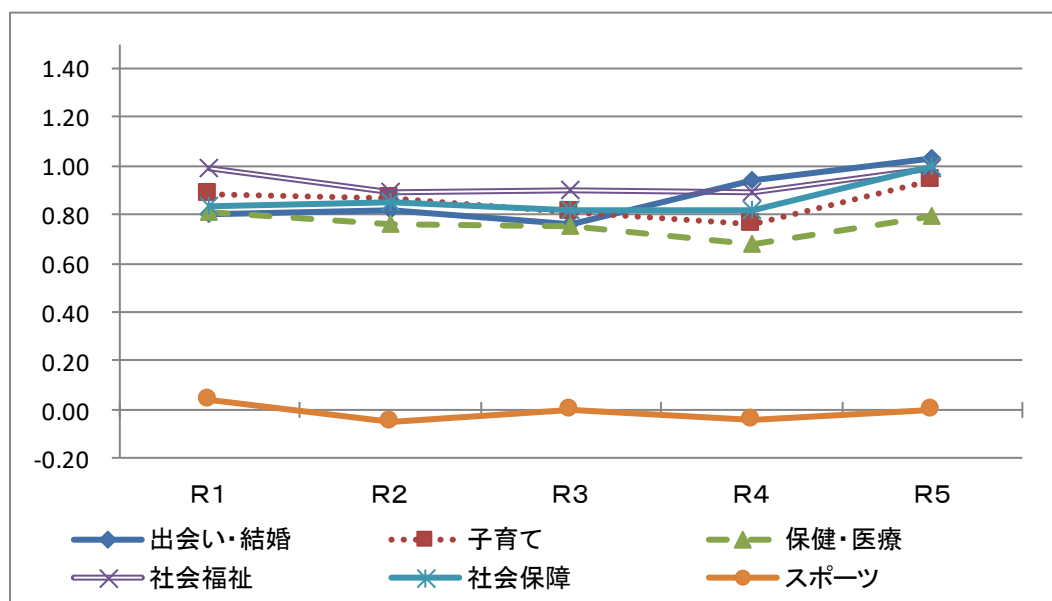
| 満足度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 出会い・結婚 | 2.93 | 3.00 | 2.98 | 2.92 | 2.88 |
| 子育て | 3.47 | 3.51 | 3.46 | 3.60 | 3.48 |
| 保健・医療 | 3.57 | 3.64 | 3.61 | 3.71 | 3.70 |
| 社会福祉 | 3.26 | 3.36 | 3.30 | 3.42 | 3.31 |
| 社会保障 | 3.27 | 3.38 | 3.32 | 3.41 | 3.29 |
| スポーツ | 3.48 | 3.57 | 3.42 | 3.47 | 3.47 |



| 重要度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 出会い・結婚 | 3.73 | 3.82 | 3.74 | 3.86 | 3.91 |
| 子育て | 4.35 | 4.38 | 4.27 | 4.36 | 4.42 |
| 保健・医療 | 4.38 | 4.40 | 4.36 | 4.39 | 4.49 |
| 社会福祉 | 4.25 | 4.25 | 4.20 | 4.31 | 4.30 |
| 社会保障 | 4.10 | 4.23 | 4.14 | 4.23 | 4.29 |
| スポーツ | 3.52 | 3.52 | 3.42 | 3.43 | 3.47 |



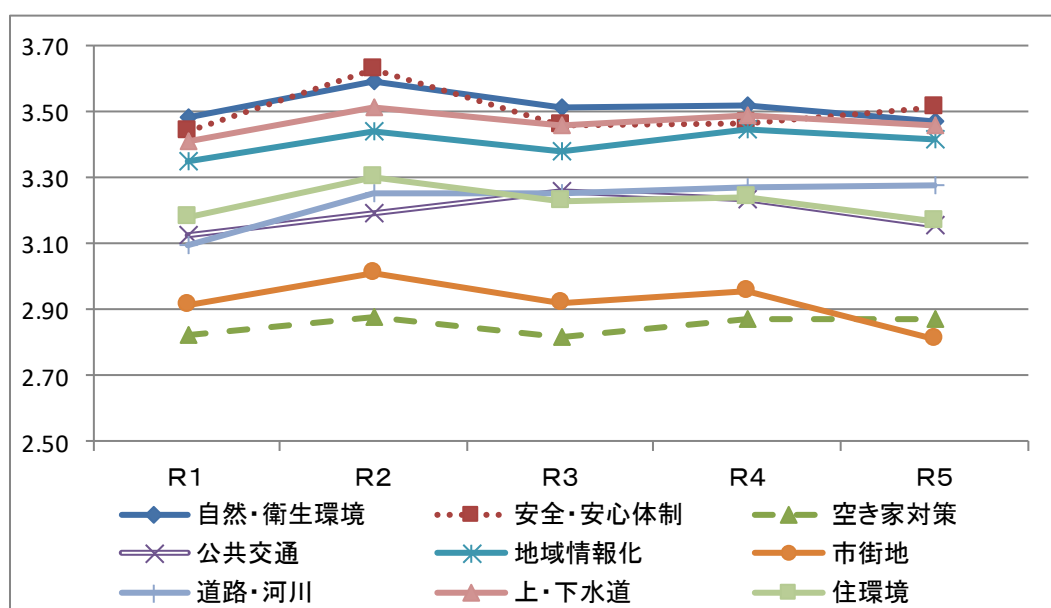
| 要望度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|-------|------|-------|------|
| 出会い・結婚 | 0.80 | 0.82 | 0.76 | 0.94 | 1.03 |
| 子育て | 0.88 | 0.87 | 0.81 | 0.76 | 0.94 |
| 保健・医療 | 0.81 | 0.76 | 0.75 | 0.68 | 0.79 |
| 社会福祉 | 0.99 | 0.89 | 0.90 | 0.89 | 0.99 |
| 社会保障 | 0.83 | 0.85 | 0.82 | 0.82 | 1.00 |
| スポーツ | 0.04 | -0.05 | 0.00 | -0.04 | 0.00 |



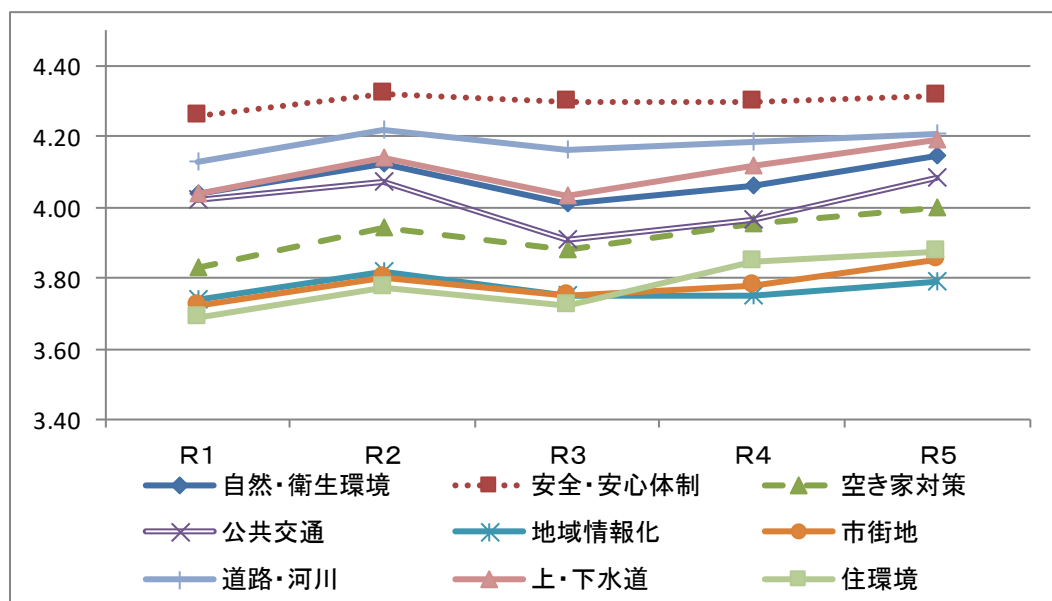
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は今年度「市街地」が大きく低下しているほか、「公共交通」と「住環境」の低下幅も大きくなっている。重要度は令和3年度以降上昇傾向にあり、今年度は全ての項目で上昇している。要望度も重要度と同様に、令和3年度から全体的に上昇傾向で推移しているが、「安全・安心体制」「地域情報化」「道路・河川」は横ばいとなっている。

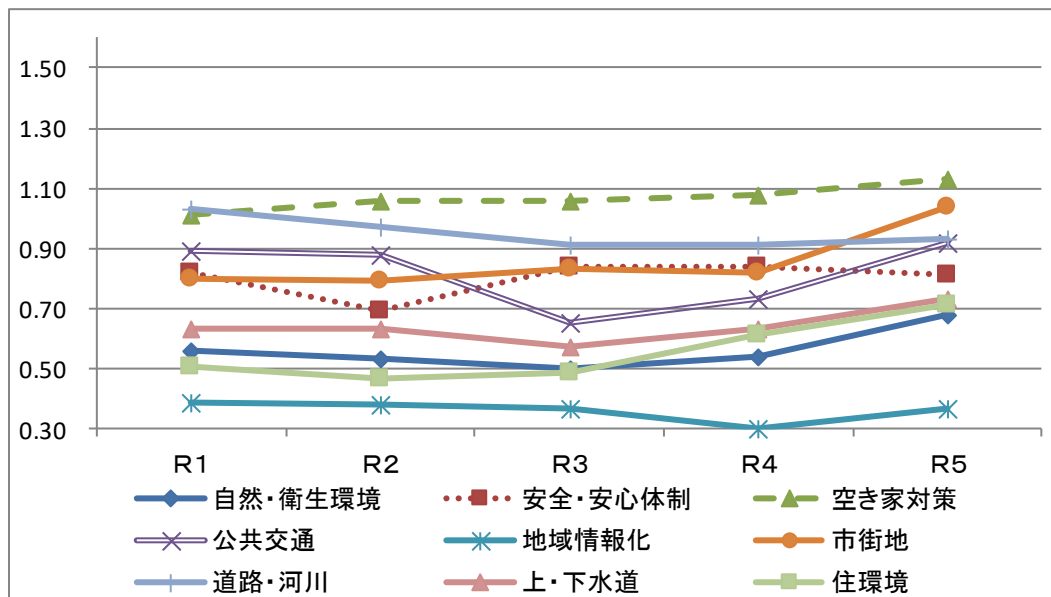
| 満足度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|---------|------|------|------|------|------|
| 自然・衛生環境 | 3.48 | 3.59 | 3.51 | 3.52 | 3.47 |
| 安全・安心体制 | 3.44 | 3.63 | 3.46 | 3.46 | 3.51 |
| 空き家対策 | 2.82 | 2.88 | 2.82 | 2.87 | 2.87 |
| 公共交通 | 3.13 | 3.19 | 3.26 | 3.23 | 3.16 |
| 地域情報化 | 3.35 | 3.44 | 3.38 | 3.45 | 3.42 |
| 市街地 | 2.92 | 3.01 | 2.92 | 2.96 | 2.81 |
| 道路・河川 | 3.10 | 3.25 | 3.25 | 3.27 | 3.28 |
| 上・下水道 | 3.41 | 3.51 | 3.46 | 3.49 | 3.46 |
| 住環境 | 3.18 | 3.30 | 3.23 | 3.24 | 3.17 |



| 重要度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|---------|------|------|------|------|------|
| 自然・衛生環境 | 4.04 | 4.12 | 4.01 | 4.06 | 4.15 |
| 安全・安心体制 | 4.26 | 4.32 | 4.30 | 4.30 | 4.32 |
| 空き家対策 | 3.83 | 3.94 | 3.88 | 3.95 | 4.00 |
| 公共交通 | 4.02 | 4.07 | 3.91 | 3.96 | 4.08 |
| 地域情報化 | 3.74 | 3.82 | 3.75 | 3.75 | 3.79 |
| 市街地 | 3.72 | 3.80 | 3.75 | 3.78 | 3.85 |
| 道路・河川 | 4.13 | 4.22 | 4.16 | 4.18 | 4.21 |
| 上・下水道 | 4.04 | 4.14 | 4.03 | 4.12 | 4.19 |
| 住環境 | 3.69 | 3.77 | 3.72 | 3.85 | 3.88 |



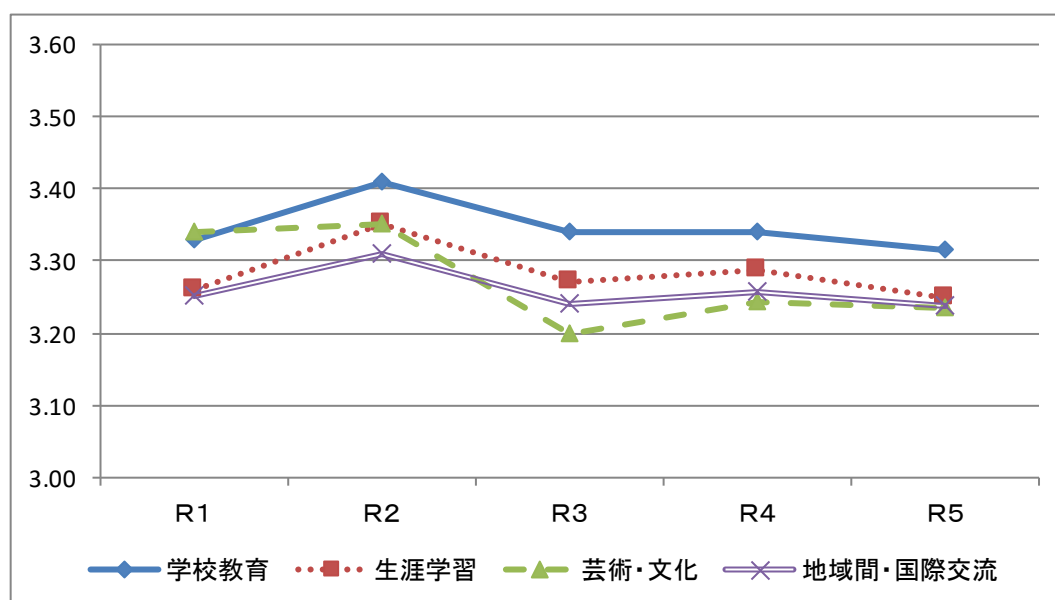
| 要望度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|---------|------|------|------|------|------|
| 自然・衛生環境 | 0.56 | 0.53 | 0.50 | 0.54 | 0.68 |
| 安全・安心体制 | 0.82 | 0.69 | 0.84 | 0.84 | 0.81 |
| 空き家対策 | 1.01 | 1.06 | 1.06 | 1.08 | 1.13 |
| 公共交通 | 0.89 | 0.88 | 0.65 | 0.73 | 0.92 |
| 地域情報化 | 0.39 | 0.38 | 0.37 | 0.30 | 0.37 |
| 市街地 | 0.80 | 0.79 | 0.83 | 0.82 | 1.04 |
| 道路・河川 | 1.03 | 0.97 | 0.91 | 0.91 | 0.93 |
| 上・下水道 | 0.63 | 0.63 | 0.57 | 0.63 | 0.73 |
| 住環境 | 0.51 | 0.47 | 0.49 | 0.61 | 0.71 |



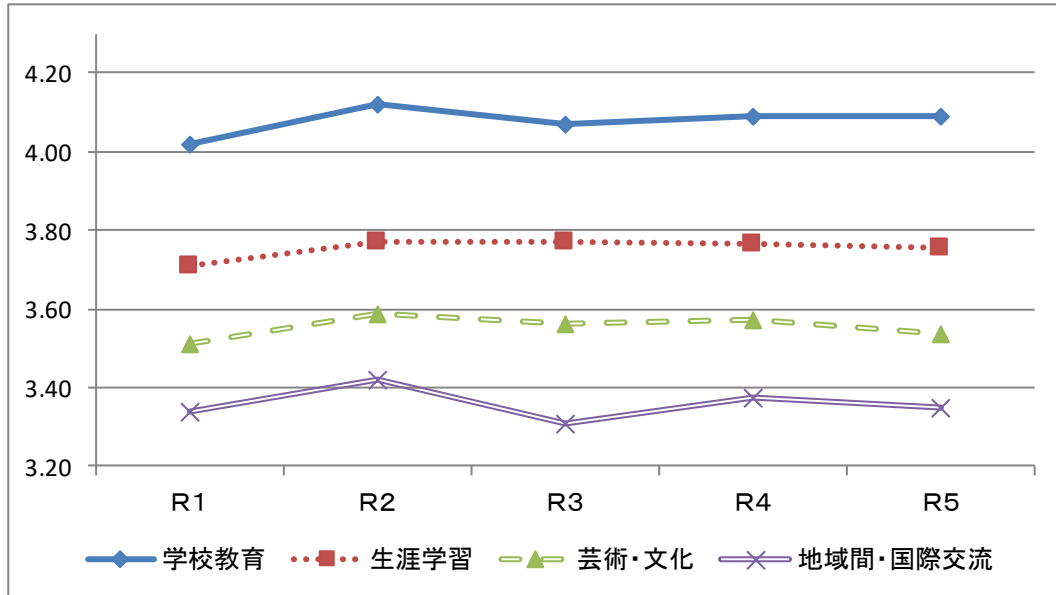
IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は令和3年度に全ての項目で低下し、それ以降は概ね横ばいで推移している。重要度は令和2年度に全ての項目が上昇したものの、令和元年度から見るとほぼ横ばいとなっている。要望度は「学校教育」が毎年度上昇しており、「生涯学習」も上昇傾向で推移している。「芸術・文化」は令和3年度を境に上昇傾向から低下傾向へ転じており、「地域間・国際交流」は横ばいとなっている。また、「地域間・国際交流」は他の項目に比べて低い水準で、「学校教育」は高い水準で推移している。

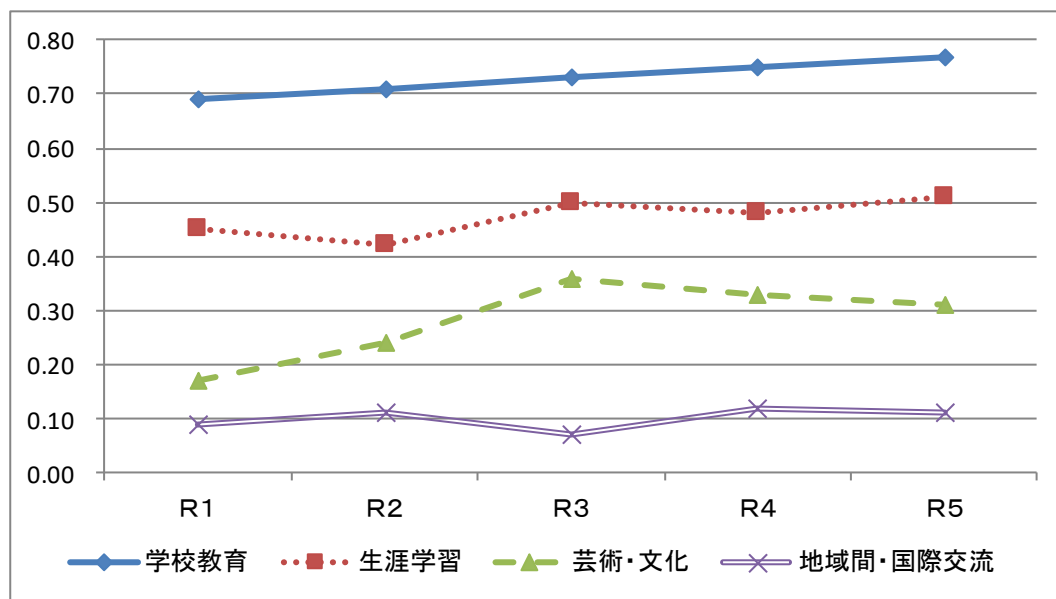
| 満足度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 学校教育 | 3.33 | 3.41 | 3.34 | 3.34 | 3.32 |
| 生涯学習 | 3.26 | 3.35 | 3.27 | 3.29 | 3.25 |
| 芸術・文化 | 3.34 | 3.35 | 3.20 | 3.24 | 3.23 |
| 地域間・国際交流 | 3.25 | 3.31 | 3.24 | 3.26 | 3.24 |



| 重要度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 学校教育 | 4.02 | 4.12 | 4.07 | 4.09 | 4.09 |
| 生涯学習 | 3.71 | 3.77 | 3.77 | 3.77 | 3.76 |
| 芸術・文化 | 3.51 | 3.59 | 3.56 | 3.57 | 3.54 |
| 地域間・国際交流 | 3.34 | 3.42 | 3.31 | 3.38 | 3.35 |



| 要望度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 学校教育 | 0.69 | 0.71 | 0.73 | 0.75 | 0.77 |
| 生涯学習 | 0.45 | 0.42 | 0.50 | 0.48 | 0.51 |
| 芸術・文化 | 0.17 | 0.24 | 0.36 | 0.33 | 0.31 |
| 地域間・国際交流 | 0.09 | 0.11 | 0.07 | 0.12 | 0.11 |

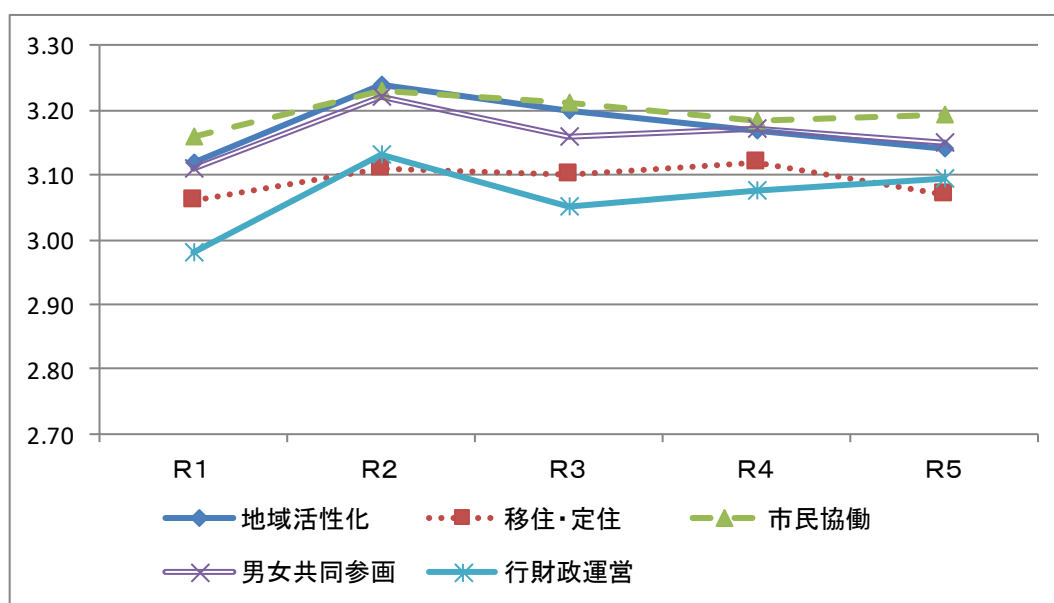


V 時代に合った地域を創ります！

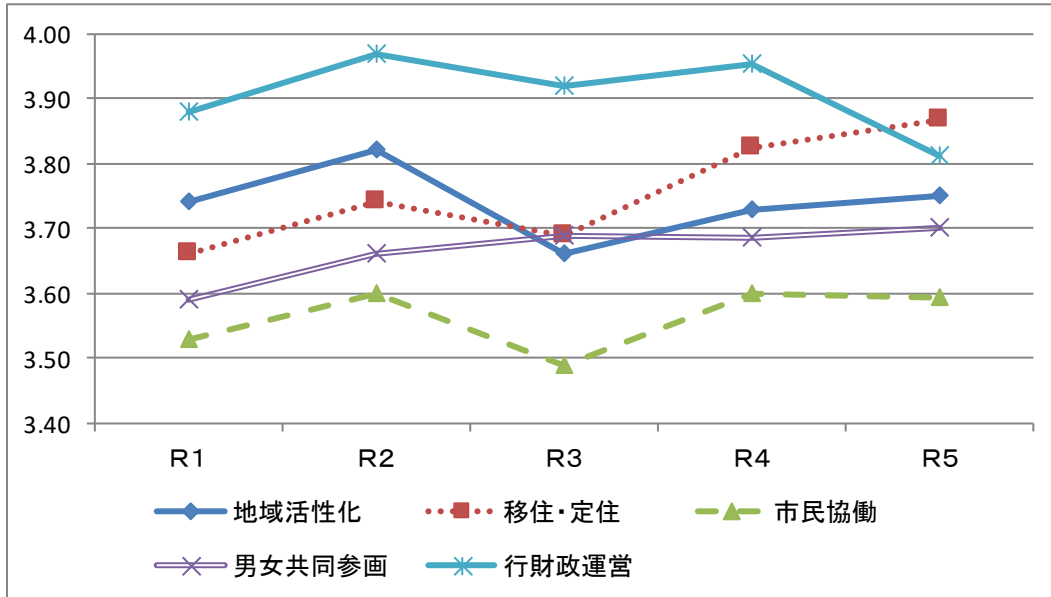
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は令和2年度に全ての項目で上昇した後、令和3年度に再び低下した。その後は「地域活性化」のみ低下傾向となっており、その他の項目はほぼ横ばいとなっている。重要度は「男女共同参画」が令和元年度から上昇傾向となっており、その他の項目は令和3年度に低下した後、昨年度は再び上昇したものの、今年度は「行財政運営」のみ大きく低下している。要望度は「地域活性化」「市民協働」が令和3年度まで低下傾向で推移し、その後上昇傾向に転じている。「移住・定住」「男女共同参画」は令和元年度から上昇傾向となっており、「行財政運営」は今年度重要度が低下したことに伴い、要望度も低下している。

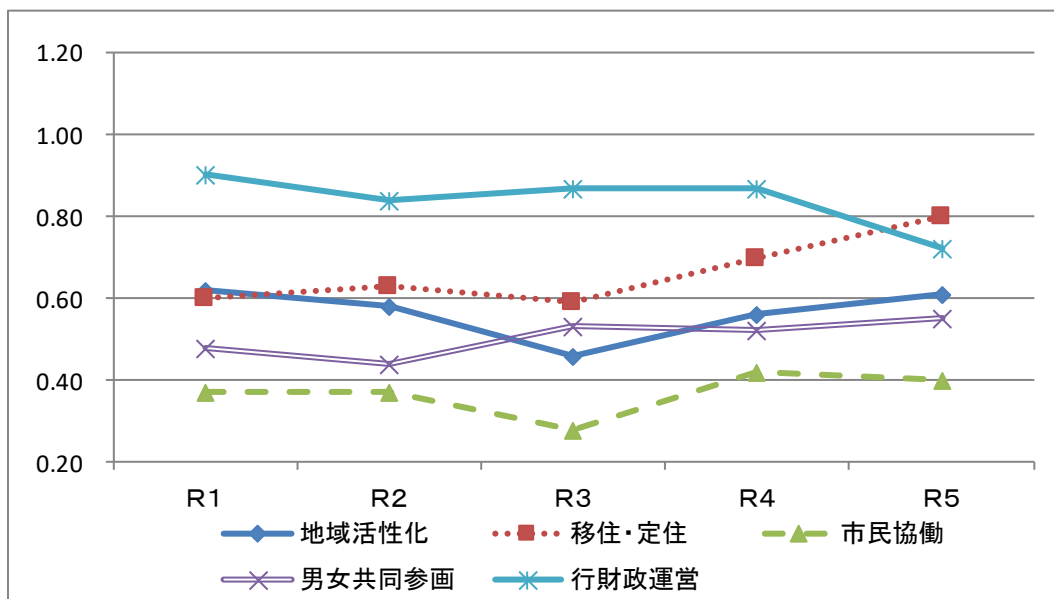
| 満足度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 地域活性化 | 3.12 | 3.24 | 3.20 | 3.17 | 3.14 |
| 移住・定住 | 3.06 | 3.11 | 3.10 | 3.12 | 3.07 |
| 市民協働 | 3.16 | 3.23 | 3.21 | 3.18 | 3.19 |
| 男女共同参画 | 3.11 | 3.22 | 3.16 | 3.17 | 3.15 |
| 行財政運営 | 2.98 | 3.13 | 3.05 | 3.08 | 3.09 |



| 重要度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 地域活性化 | 3.74 | 3.82 | 3.66 | 3.73 | 3.75 |
| 移住・定住 | 3.66 | 3.74 | 3.69 | 3.82 | 3.87 |
| 市民協働 | 3.53 | 3.60 | 3.49 | 3.60 | 3.59 |
| 男女共同参画 | 3.59 | 3.66 | 3.69 | 3.69 | 3.70 |
| 行財政運営 | 3.88 | 3.97 | 3.92 | 3.95 | 3.81 |



| 要望度 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 地域活性化 | 0.62 | 0.58 | 0.46 | 0.56 | 0.61 |
| 移住・定住 | 0.60 | 0.63 | 0.59 | 0.70 | 0.80 |
| 市民協働 | 0.37 | 0.37 | 0.28 | 0.42 | 0.40 |
| 男女共同参画 | 0.48 | 0.44 | 0.53 | 0.52 | 0.55 |
| 行財政運営 | 0.90 | 0.84 | 0.87 | 0.87 | 0.72 |



大仙市の住みやすさについて

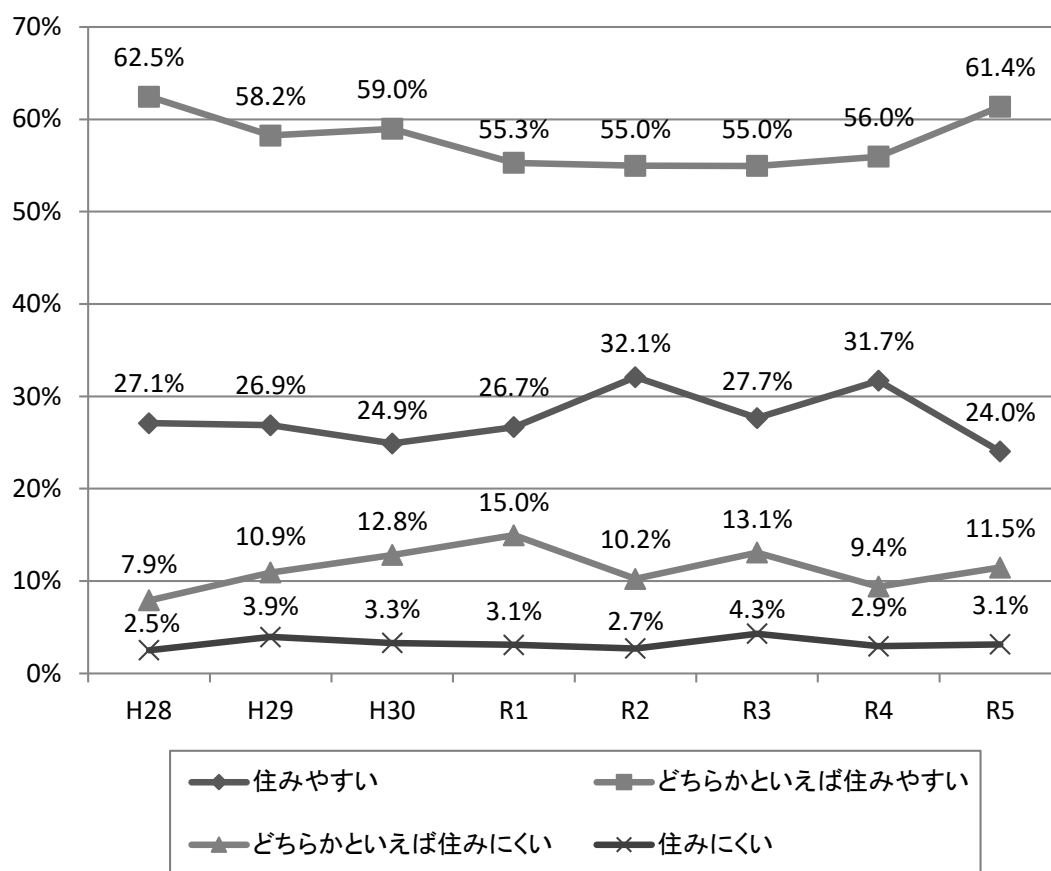
「大仙市は住みやすいか」について

「住みやすい」は昨年度から大きく低下し、過去8年間で最も低い数値となったものの、「どちらかといえば住みやすい」は昨年度から上昇し、過去8年間で2番目に高い数値となっている。住みにくいに関する項目は横ばいで推移しているものの、昨年度と比較すると割合が若干上昇している。

| 大仙市は住みやすいか | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 住みやすい | 27.1% | 26.9% | 24.9% | 26.7% | 32.1% | 27.7% | 31.7% | 24.0% |
| どちらかといえば | 62.5% | 58.2% | 59.0% | 55.2% | 55.0% | 55.0% | 56.0% | 61.4% |
| 住みやすい | (89.6%) | (85.1%) | (83.9%) | (81.9%) | (87.1%) | (82.7%) | (87.7%) | (85.4%) |
| どちらかといえば | 7.9% | 10.9% | 12.8% | 15.0% | 10.2% | 13.1% | 9.4% | 11.5% |
| 住みにくい | | | | | | | | |
| 住みにくい | 2.5% | 3.9% | 3.3% | 3.1% | 2.7% | 4.3% | 2.9% | 3.1% |

※()内の数値は「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値

※経年比較のため、H28, H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した



「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は昨年度大幅に上昇したが、今年度は低下している。「市内の別の場所へ移りたい」は令和元年度以降、低下傾向で推移していたものの、今年度は上昇している。「市外に移りたい」は、上昇傾向で推移しており、昨年度は低下したものの、今年度は再び上昇し、過去8年間でも最も高い数値となっている。「住み続けたいが、移らざるを得ない」は横ばいで推移している。

| 大仙市に住み続けたいか | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 今の場所に住み続けたい | 78.7% | 76.3% | 73.3% | 71.8% | 75.2% | 71.9% | 77.3% | 73.7% |
| 市内の別の場所へ移りたい | 10.1% | 12.4% | 11.9% | 14.0% | 13.3% | 12.9% | 9.8% | 11.2% |
| 市外に移りたい | (88.8%) | (88.7%) | (85.2%) | (85.8%) | (88.5%) | (84.8%) | (87.1%) | (84.9%) |
| 住み続けたいが、移らざるを得ない | 6.9% | 8.8% | 10.7% | 10.4% | 8.1% | 11.2% | 9.8% | 12.5% |
| 住み続けたいが、移らざるを得ない | 4.4% | 2.5% | 4.1% | 3.8% | 3.4% | 3.9% | 3.1% | 2.6% |

※()内の数値は「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」の合計値

※経年比較のため、H28、H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した

